

## Ⅱ 施策評価・進捗管理調書

## 京丹後市教育振興計画 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
子ども未来課	服部 智昭

重点目標	1	就学前の子どもの教育・保育環境を充実します
基本の方針	就学前の子どもの健やかな育ちを確保するため、保育ニーズに応じた保育環境の整備はもとより、保育士や教員の資質向上及び専門性を高めるために研修機会を設けるとともに、幼稚園と保育所の連携を深め、教育・保育を総合的に提供できる環境づくりに取り組みます。また、小学校への円滑な接続を目指し、保幼小の連携を強化します。 地域や家庭で安心して子育てができるよう、地域の実情や保護者のニーズを的確に把握しサービス情報の周知徹底を図るとともに、子育てや就学前教育についての情報交換や気軽に相談する場の確保に努めます。	

### 1. 施策の方向性 PLAN

1. 就学前教育の環境整備	①「京丹後市保育所再編等推進計画」に基づき、旧6町域すべてにおいて、保護者の就労状況等の家庭環境に関わらず、就学前の教育・保育を総合的に提供できる環境整備を進めます。 ②子育て家庭の子育ての不安に寄り添いサポートする体制の強化を図ります。 ③職員自身の自主的な資質向上を促すため、保育所・幼稚園の全職員を対象とした研修の充実を図るとともに、公開保育や職員の交流機会の充実を図ります。
2. 保幼小の連携強化	①保幼小の円滑な接続のためのカリキュラムを開発し、すべての保育所、幼稚園及び小学校で実施します。

#### 【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市保育所再編等推進計画	将来にわたり子どもたちにとってより良い保育を保障するため、地域の特性に配慮しながら、小規模保育所等の統廃合及び社会福祉法人への運営委託等を具体的に進めるために策定	平成23年3月	平成23年度～平成27年度	第2次京丹後市保育所再編等推進計画を策定(平成29年度～平成33年度)
京丹後市子ども・子育て支援事業計画	市における子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境づくりを一層進めるため策定	平成27年3月	平成27年度～平成31年度	第2期京丹後市子ども・子育て支援事業計画を策定(令和2年度～令和6年度)

### 2. 主な取組と構成事務事業一覧

PLAN
DO

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

CHECK
ACT

1. 就学前教育の環境整備		決算額(単位:千円)			事務の改善		
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性		
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課					
①「京丹後市保育所再編等推進計画」に基づき、旧6町域すべてにおいて、保護者の就労状況等の家庭環境に関わらず、就学前の教育・保育を総合的に提供できる環境整備を進めます。 ② 子育て家庭の子育ての不安に寄り添いサポートする体制の強化を図ります。 ③ 職員自身の自主的な資質向上を促すため、保育所・幼稚園の全職員を対象とした研修の充実を図るとともに、公開保育や職員の交流機会の充実を図ります。							
1	保育所管理運営事業	子ども未来課		211,907	139,778	162,573	縮小
児童の健康管理や臨時職員の雇用を行うほか、給食調理業務、幼児送迎業務等を実施し、円滑な保育所運営を行う。							
2	保育業務委託事業	子ども未来課		528,526	522,635	533,438	現状維持
保育ニーズに対応するため、民間保育所等に保育業務を委託することで、効率的に子育て支援を推進する。							
3	保育所保育事業等補助金	子ども未来課		32,805	21,861	29,042	現状維持
民間保育所が行う事業に対して補助金を交付し、円滑な運営実施のための体制づくり等を推進するとともに、保育所における新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図る。							
4	子育て支援センター事業	子ども未来課		13,967	15,100	20,449	現状維持
保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場の提供等の育児支援活動を通して、地域に密着した子育ての環境を整える。							
5	保育支援事業	子ども未来課		3,123	2,812	9,669	拡大
保護者の疾病等の理由により家庭での養育が一時的に困難となった児童や、病気の回復期にある児童を一時的に保育し、保護者の子育てと就労を支援する。							
	子育て短期支援事業	子ども未来課		/	/	/	統合(整理)
地域の子育て支援の拠点として市内8か所に子育て支援センターを設置し、育児相談や子育て情報の提供等、在宅で子育てをしている保護者とその子どもたちを支援する。				/	/	/	/

1. 就学前教育の環境整備		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
	病後児保育事業	子ども未来課			統合(整理)	
	病気の回復期にあり、集団保育が困難な児童を一時的に保育することにより、保護者の子育てと就労の両立等を支援するとともに、児童の福祉の向上を図る。					
	保育所一般経費	子ども未来課			統合(整理)	
	保育所入所児童の健康管理、臨時職員の雇用、職員等の研修、児童の送迎バス運行、給食調理業務等により保育所の円滑な運営を図る。					
6	園児等健康管理事業	子ども未来課	53		終了・廃止	
	幼稚園における円滑な教育活動を実施するため、専門医による検診や保健衛生管理を行い、園児の健康保持と増進を図る。					
7	幼稚園スクールサポーター等設置事業	子ども未来課	5,574		終了・廃止	
	幼稚園に介護職員及び預かり保育職員を配置することで、適正かつ円滑な幼稚園運営を行う。					
8	幼稚園管理運営事業	子ども未来課	2,623		終了・廃止	
	適正な幼稚園運営や教育環境の充実に取り組み、就学時前教育の充実に図る。					
9	幼稚園施設管理事業	子ども未来課	1,061		終了・廃止	
	幼稚園施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。					
10	教育利用管理運営事業	子ども未来課	43,745	59,281	79,446	現状維持
	児童の健康管理や臨時職員の雇用により、円滑な認定こども園(1号認定児)運営を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。					
11	保育利用管理運営事業	子ども未来課	484,751	587,361	724,566	拡大
	児童の健康管理や臨時職員の雇用により、円滑な認定こども園(2号・3号認定児)運営を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。					
2. 保幼小の連携強化		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 保幼小の円滑な接続のためのカリキュラムを開発し、すべての保育所、幼稚園及び小学校で実施します。						
12	小中一貫教育推進事業【再掲】	学校教育課	-	-	-	現状維持
	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向けて協議会及び専門部会で調査研究を行い、小中一貫教育を推進する。					
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
事務事業名称・事業内容(実績)		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	担当課					
13	保育所整備事業	子ども未来課	87,163	-		休止
	平成31年度開設予定の網野こども園への移行をスムーズに行うため、網野みなみ保育所の環境整備工事を実施する。また、統廃合により空き施設となっている老朽化した旧保育所施設について2施設を解体する。					
14	保育所整備事業【繰越】	子ども未来課	-	32,832	-	
	建物に基礎杭があることが判明し、杭の撤去に時間を要することから、平成30年度からの繰越事業としていた旧田村保育所除却事業を実施する。					
15	保育所施設管理事業	子ども未来課	8,951	6,492	17,899	拡大
	適切な維持管理のもと、必要な点検・整備を実施し、施設を利用する児童、職員が安全かつ快適に過ごすことができる環境を整える。					
16	認定こども園施設管理事業	子ども未来課	7,877	41,864	7,435	現状維持
	適切な維持管理のもと、必要な点検・整備を実施し、施設を利用する児童、職員が安全かつ快適に過ごすことができる環境を整える。					
17	ファミリーサポートセンター事業	子ども未来課	67	56	64	現状維持
	子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月～小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育て支援を図る。					
18	子ども未来まちづくり審議会事業	子ども未来課	38	147	143	現状維持
	すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画、保育所再編等推進計画、特定教育・保育施設の利用定員の設定等について審議する。					
計		1,432,231	1,430,219	1,584,724		

### 3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本の方針	就学前の子どもの健やかな育ちを確保するため、保育ニーズに応じた保育環境の整備はもとより、保育士や教員の資質向上及び専門性を高めるために研修機会を設けるとともに、幼稚園と保育所の連携を深め、教育・保育を総合的に提供できる環境づくりに取り組みます。また、小学校への円滑な接続を目指し、保幼小の連携を強化します。 地域や家庭で安心して子育てができるよう、地域の実情や保護者のニーズを的確に把握しサービス情報の周知徹底を図るとともに、子育てや就学前教育についての情報交換や気軽に相談する場の確保に努めます。					
	目標指標	単位	計画作成時	実績値(現状)	目標値	
主な目標指標			年度	年度	年度	
	幼稚園の数	園	4 H25	0 R1	0 R6	
	病後児保育の実施事業所数	事業所	0 H25	1 R1	1 R6	
	子育て支援センター数	か所	7 H25	8 R1	8 R6	
	一時預かり実施事業所数	事業所	6 H25	10 R1	9 R6	
	保育所・幼稚園職員の全体研修数	回	3 H25	3 R1	5 R6	

### 4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本の方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

**CHECK** **ACT**

進捗状況区分	評価	令和元年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>《幼稚園の数》 第2次京丹後市保育所再編等推進計画を策定し、令和3年度(平成33年度)までの5か年を期間として、①保育所の再編、②民営化の検討、③認定こども園への移行などを定めている。6町すべての町域において認定こども園に移行することができた。</p> <p>《病後児保育の実施事業所数》 保護者の就労支援のため、子どもが病気の後であっても安心して預けられる環境が整えられている。課題としては、特に子育て世代に、この制度の存在を伝える広報活動の推進がある。</p> <p>《子育て支援センター数》 市内8か所で開設しており、保健師、助産師など専門職が子育て相談に対応するとともに、子育て世代間の友達づくり、情報共有など居場所を提供することができた。スペースの関係で児童の年齢に応じたクラス編成により、利用の曜日を定めるという調整をせざるを得ない点が課題となっていることから、網野地域子育て支援センターを旧保育所へ移転し、市内他地域からの受け入れも行っている。</p> <p>《一時預かり実施事業所数》 平成28年度から、大宮北保育所とこうりゅう保育所を公設民営に移行させたことに伴い、両施設とも一時預かりを開始して、サービスの向上を図ることができている。</p> <p>《保育所・幼稚園職員の全体研修数》 計画どおり全体研修を実施することができた。職員の資質向上は、教育・保育を提供する上で課題でもあり、担任会や園長・所長研修、園内研修など身近なところで研修の機会を設けて研鑽している状況である。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

### 5. 今後の施策展開の考え方(令和2年～令和4年度までの主な取組)

**ACT**

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	保育所の利用において、0～2歳の低年齢児の利用が増える傾向にあり、このニーズに応える保育所の運営を続けるとともに、令和2年3月に策定した第2期京丹後市子ども・子育て支援事業計画と整合性を図りつつ、今後も子育て支援の施策の充実を図る。
	2	「京丹後市小中一貫教育保幼小接続モデルプラン」を参考に、各学園で保幼小の情報共有や教職員の交流と相互理解を深めるなど、小学校教育への円滑な接続を図るための取組みの充実を図る。

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	02 児童福祉費						139,778千円	143,734千円	3,956千円	97.2%	子ども未来課	
	目	03 保育事業費											
	事	05 保育所事業											
細事	01 保育所管理運営事業												
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進												
目的	児童の健康管理や臨時職員の雇用を行うほか、給食調理業務、幼児送迎業務等を実施し、円滑な保育所運営を行う。		主な財源										
主要な事務・事業の概要	○健康管理実施経費 2,497千円 医師報酬・費用弁償、児童検診委託料、大腸菌等検査手数料等		負担金 保育認定児保育料、日本赤十字振興センター保護者負担金 22,064千円										
	○臨時職員の任用関連経費 80,388千円 共済費（社会保険料等）、賃金、傷害保険料		国補 子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金（1/2） 59千円										
	○職員研修実施経費 440千円 報償費（研修講師謝金）、職員旅費、研修参加負担金		府補 第3子以降保育料無償化事業費補助金、子ども・子育て支援事業費府補助金 4,682千円										
	○給食調理業務経費 15,213千円 調理業務委託料（島津、たちばな、宇川）		府補 園児等交通安全緊急対策事業費補助金、きょうと地域連携交付金（完全給食準備事業） 433千円										
	○保育所送迎車両関連経費 8,833千円 業務委託経費、修理費、重量税等		諸収入 広域入所児童受託保育料、職員給食費、保育施設給食調理機器類賃付料 7,700千円										
	○広域入所関連経費（業務委託経費） 336千円		諸収入 延長保育料、保育所等職員研修事業補助金、市有自動車損害共済金 417千円										
	○入所児童の保育に要する経費 16,079千円 保育材料費、脂材料費、医薬材料費												
	○保育所運営に要する経費 11,789千円 光熱水費、通信運搬費、備品購入費、ピアノ調律等												
	○完全給食実施準備経費 318千円 消耗品費（幼児椀、保温食缶等）、備品購入費（ガス炊飯器1台）												
	○園児等交通安全緊急対策経費 652千円 消耗品費（誘導リング2個）、備品購入費（お散歩車4台）												
		○幼児教育・保育無償化対応経費 1,745千円 京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金											
		○その他必要経費（共通物品、保育協会負担金等） 1,488千円											
		(参考)京丹後市内の保育所（R2.3.31現在）											
		・公立（公設公営）：島津、たちばな、宇川、久美浜保育所											
		・公立（公設民営）：大宮北保育所											
		・私立：あみの夢保育園、こうりゅう虹保育園、ゆうかり乳児保育所											
		<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>143,529千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>97.4%</td> </tr> </table>		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	143,529千円		実質的な予算執行率	97.4%				
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	143,529千円											
	実質的な予算執行率	97.4%											
		■令和2年度への繰越事業 205千円											
		・保育所等新型コロナウイルス感染症対策用品購入事業 令和2年9月完了予定											
		成果・課題											
		○職員確保、児童・職員の健康管理、給食提供、送迎バスの運行管理などの業務を適切に行うことにより円滑な保育所運営を行うことができた。											
		○完全給食実施に向けた準備を行い、令和2年4月からの完全給食をスムーズに開始することができた。											
		○お散歩車等を購入し、園外活動における児童の安全を確保した。											
		○京都府自治体情報化推進協議会のシステム改修により、10月1日からの幼児教育・保育無償化に対応した。											
		○乳児利用の増加に対応するため、職員体制の確保が必要である。											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	02 児童福祉費						522,635千円	522,637千円	2千円	99.9%	子ども未来課
	目	03 保育事業費										
	事	05 保育所事業										
細事	02 保育業務委託事業											
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進											
目的	保育ニーズに対応するため、民間保育所等に保育業務を委託することで、効率的に子育て支援を推進する。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	民間認可保育所の「ゆうかり乳児保育所」に2か月児から2歳児まで、「ゆうかり子ども園」「あみの夢保育園」「こうりゅう虹保育園」に6か月児から5歳児までの保育を委託し、また、市立保育所のうち「大宮北保育所」の運営を社会福祉法人に委託することにより、産休明け・育休明けの保育所利用、保育時間の延長や休日保育等、保護者の保育ニーズに対応した。		負担金 保育認定児保育料 59,433千円									
	○乳児保育委託料 70,046千円 ・ゆうかり乳児保育所 定員30人 令和2年3月末入所児童数：35人		国員・国補 子ども・子育て支援交付金、子どものための教育・保育給付交付金 117,192千円									
	○公立保育所運営委託料 223,519千円 ・大宮北保育所 定員230人 令和2年3月末入所児童数：233人		府員・府補 子ども・子育て支援交付金、子どものための教育・保育給付交付金 50,606千円									
	○保育所運営委託料 229,070千円 ・あみの夢保育園 定員90人 令和2年3月末入所児童数：102人		諸収入 延長保育料 152千円									
	・こうりゅう虹保育園 定員120人 令和2年3月末入所児童数：142人		繰入金 ふるさと応援基金繰入金 20,000千円									
			成果・課題									
			保育を委託することで、保育時間の延長や休日保育など保護者の保育ニーズに対応した保育を実施し、保護者の子育てと仕事の両立支援につなげることができた。									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	02 児童福祉費	21,861千円	23,890千円	2,029千円	91.5%							
	目	03 保育事業費				(参考)当初予算額							
	事	05 保育所事業				49,774千円							
課	子ども未来課												
細事	03 保育所保育事業等補助金	国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	2,821千円									
		国補	子育てのための施設等利用給付交付金	573千円									
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進	府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	2,821千円									
		府補	子育てのための施設等利用給付交付金	286千円									
目的	民間保育所が行う事業に対して補助金を交付し、円滑な運営実施のための体制づくり等を推進するとともに、保育所における新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図る。	府補	保育対策総合支援事業費補助金(10/10)	641千円									
主要な事務・事業の概要	○私立保育所保育事業補助金		20,288千円	○新型コロナウイルス感染症対策事業補助金		641千円							
	・ゆうかり乳児保育所		1,200千円	・ゆうかり乳児保育所(消毒液)		16千円							
	・障害児保育事業(加配職員の人件費)			・大宮北保育所(電子体温計)		15千円							
	・あみの夢保育園		1,776千円	・こうりゅう虹保育園(空気清浄機、手消毒液、A'-P-カール)		433千円							
	延長保育事業(人件費、光熱水費、おやつ代等)		300千円	・あみの夢保育園(ペーパータオル、ハンドソープ)		72千円							
	一時預かり事業(配置保育士の人件費)		276千円	・市立弥栄病院 院内保育所(マスク、加湿空気清浄機)		105千円							
	障害児保育事業(加配職員の人件費)		1,200千円										
	・こうりゅう虹保育園		8,997千円										
	延長保育事業(人件費、光熱水費、おやつ代等)		300千円										
	一時預かり事業(配置保育士の人件費)		465千円										
	障害児保育事業(加配職員の人件費)		5,964千円										
	通所バス運行費補助金(189千円×12月)		2,268千円										
	・ゆうかり子ども園		8,315千円										
	延長保育事業(人件費、光熱水費、おやつ代等)		3,298千円										
	一時預かり事業(配置保育士の人件費)		457千円										
障害児保育事業(加配職員の人件費)		4,560千円											
○認可外保育施設等給付費		932千円											
認可外保育施設:3人(10月~3月)、未移行幼稚園:2人(11月~3月)													
				<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>22,288千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>98.1%</td> </tr> </table>		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	22,288千円		実質的な予算執行率	98.1%		
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	22,288千円											
	実質的な予算執行率	98.1%											
				■令和2年度への繰越事業		1,602千円							
				・保育所等新型コロナウイルス感染症対策用品購入事業		令和2年9月完了予定							
				成果・課題		<p>○延長保育や障害児保育、一時預かりなどを推進し、子育て支援と仕事の両立支援を図った。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のための支援を行った。</p> <p>○認可外保育施設等の施設等利用費を対象者に給付し、10月1日からの幼児教育・保育無償化に対応した。</p>							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 児童福祉費	15,100千円	15,483千円	383千円	97.5%			
	目	03 保育事業費				(参考)当初予算額			
	事	03 子育て支援ワ-事業				17,980千円			
課	子ども未来課								
細事	01 子育て支援ワ-事業	国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	6,266千円					
		府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	6,266千円					
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進	諸収入	網野地域子育て支援ワ-光熱水費等負担金	25千円					
目的	地域の子育て支援の拠点として市内8か所に子育て支援センターを設置し、育児相談や子育て情報の提供等、在宅で子育てをしている保護者とその子どもたちを支援する。								
主要な事務・事業の概要	保育所及びこども園の入所、入園前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士のふれあいの場として、8か所の支援センターを設置し、地域に密着した子育て支援を推進した。								
	11月6日に開催した子育て講演会は、保護者60人、子ども74人、計134人の参加があった。								
	また、新型コロナウイルス感染症対策として、3月3日から3月24日まで閉鎖した。								
	○支援センター利用人数								
	支援センター	児童	保護者						
	峰山	1,389人	1,197人						
	大宮北	1,609人	1,475人						
	大宮南	1,058人	895人						
	網野	2,201人	1,972人						
	丹後	1,218人	1,191人						
	弥栄	992人	995人						
	かぶと山	1,227人	1,056人						
	こうりゅう	1,344人	1,202人						
	合計	11,038人	9,983人						
	○なかよし広場								
毎月1回	延べ利用人数								
	児童	保護者							
合計	338人	304人							
会場: 峰山総合福祉センター(健康館2階ちびっこルーム)									
				<p>○臨時職員賃金及び共済費</p> <p>10,571千円</p> <p>○通信運搬費(電話代)</p> <p>238千円</p> <p>○光熱水費</p> <p>769千円</p> <p>○網野地域子育て支援センター浄化槽維持管理業務委託</p> <p>233千円</p> <p>○支援センター運営委託料(こうりゅう虹保育園)</p> <p>2,352千円</p> <p>○その他経費(消耗品費等)</p> <p>937千円</p>					
				成果・課題		<p>○保育所及びこども園の入所、入園前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより、子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進を図ることができた。</p> <p>○平成31年4月1日から、旧浅茂川保育所施設を活用して網野地域子育て支援センターを開設し、年齢に関わらずいつでも利用できる運営を取り入れるなど、利便性の向上を図った。</p>			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	2,812千円	2,950千円	138千円	95.3%	(参考)当初予算額	3,370千円				
	目	03 保育事業費										
	事	04 保育支援事業										
細事	01 保育支援事業	国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	936千円	府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	936千円					
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進											
目的	保護者の疾病等の理由により家庭での養育が一時的に困難となった児童や、病気の回復期にある児童を一時的に保育し、保護者の子育てと就労を支援する。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	<p>保護者の疾病や就労などの理由により、養育することが一時的に困難となった家庭の児童(小学4年生まで)及び、病気やけがの回復期にあり、集団保育や登校が困難な児童(小学6年生まで)を一時的に保育・看護し、保護者の子育てと就労を支援する事業を社会福祉法人みねやま福祉会に委託した。</p> <p>○委託料 2,812千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て短期支援事業委託料 452千円 (延べ利用児童数等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・0、1歳児 生活保護・ひとり親非課税世帯 10人 非課税・ひとり親課税世帯 2人 その他の世帯 16人</li> <li>・2歳児以上 生活保護・ひとり親非課税世帯 15人 非課税・ひとり親課税世帯 7人 その他の世帯 46人</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・病後児保育事業委託料 2,360千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>申請件数 9件 (利用予定日 10日)</li> <li>利用実績 9件 (利用日数 10日)</li> <li>(延べ利用児童数) 10人</li> </ul> </li> </ul>									
			<p>○保護者の冠婚葬祭・就労・就学・傷病・学校等行事への参加による一時的な利用があり、養育を必要とする児童及びその家庭の福利向上につなげることができた。</p> <p>○病気の回復期にある児童の子育てと保護者の就労の両立を支援することができた。</p> <p>○事業の円滑な利用のため、家庭とも相談室との連携が必要なほか、委託先であるみねやま福祉会との連絡・調整が必要である。</p>									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局				
	項	02 児童福祉費	59,281千円	60,120千円	839千円	98.6%	(参考)当初予算額	75,680千円								
	目	03 保育事業費														
	事	06 認定こども園事業														
細事	01 教育利用管理運営事業	負担金	教育認定児保育料	6,710千円	国員	子どものための教育・保育給付交付金(1/2)	7,416千円	府員	子どものための教育・保育給付交付金(1/4)	6,508千円	府補	第3子以降保育料無償化事業費補助金	1,412千円	諸収入	教育認定児預かり保育料	3,436千円
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進															
目的	児童の健康管理や臨時職員の雇用により、円滑な認定こども園(1号認定児)運営を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。		主な財源													
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康管理実施経費 1,122千円 医師・薬剤師報酬、児童検診委託料、幼児健康診断票印刷代</li> <li>○臨時職員の任用関連経費 37,141千円 共済費(社会保険料等)、賃金</li> <li>○こども園運営に要する経費 118千円 備品購入費(絵本)</li> <li>○日本スポーツ振興センター負担金 46千円</li> <li>○認定こども園施設給付費 20,854千円 ゆうかり子ども園:3歳以上児の幼児教育業務(1号認定児) 定員12人 令和2年3月末入園児童数:13人</li> </ul>		<p>(参考)京丹後市内の幼保連携型認定こども園(R2.3.31現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立:峰山、大宮、網野、丹後、弥栄、かふと山こども園</li> <li>・私立:ゆうかり子ども園</li> </ul>													
			<p>職員確保、児童・職員の健康管理などの業務を適切に行うことにより、円滑なこども園運営を行うことができた。</p>													



予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	02 児童福祉費						6,492千円	6,658千円	166千円	97.5%	課	子ども未来課
	目	03 保育事業費											12,037千円
	事	05 保育所事業											
細事	05 保育所施設管理事業	負担金	保育認定児保育料	983千円									
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		府補	第3子以降保育料無償化事業費補助金	163千円	府補	きょうと地域連携交付金（完全給食準備事業）	73千円	市債	児童福祉施設整備事業費（過疎対策債）	600千円		
目的	適切な維持管理のもと、必要な点検・整備を実施し、施設を利用する児童、職員が安全かつ快適に過ごすことができる環境を整える。												
主要な事務・事業の概要	○報償費		3千円	○完全給食実施準備経費		168千円							
	土地使用謝金（たちばな保育所園庭入口）			施設修繕費（たちばな、久美浜）		157千円							
	○需用費		2,163千円	配線用差込接続器設置手数料（島津、宇川）		11千円							
	消耗品費		101千円										
	修繕費		2,062千円										
	○役務費		617千円										
	通信運搬費		32千円										
	貯水槽法定検査、消防設備点検、浄化槽法定検査等手数料		69千円										
	火災保険料（13施設分）※旧施設含む		516千円										
	○委託料		1,598千円										
施設警備、グリストラップ収集・処理、浄化槽維持管理等													
○使用料及び賃借料		105千円											
土地借上料（たちばな保育所駐車場等用地）		10千円											
清掃用具借上料		95千円											
○工事設計委託料・工事請負費		1,838千円											
島津保育所下水道接続及び浄化槽解体撤去工事設計委託		636千円											
大宮北保育所 園児用プール改修工事		499千円											
島津保育所 保育室及び職員室エアコン設置工事		703千円											
			成果・課題	○老朽化等に伴う施設の修繕及び工事を実施し、施設の安全管理を適切に行うことができた。 ○完全給食実施に向けた準備を行い、令和2年4月からの完全給食をスムーズに開始することができた。 ○施設や設備が老朽化していることから、大規模な改修等が必要となるものがあり、計画的に行っていく必要がある。									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局						
	項	02 児童福祉費						41,864千円	42,045千円	181千円	99.5%	課	子ども未来課	
	目	03 保育事業費											39,114千円	
	事	06 認定こども園事業												
細事	03 認定こども園施設管理事業	負担金	保育認定児保育料	1,263千円										
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		負担金	教育認定児保育料	1,180千円	府補	第3子以降保育料無償化事業費補助金	692千円	府補	きょうと地域連携交付金（完全給食準備事業）	149千円	市債	児童福祉施設整備事業費（過疎対策債）	33,900千円
目的	適切な維持管理のもと、必要な点検・整備を実施し、施設を利用する児童、職員が安全かつ快適に過ごすことができる環境を整える。													
主要な事務・事業の概要	○需用費		2,415千円	○完全給食実施準備経費		343千円								
	消耗品費		351千円	施設修繕費（峰山、大宮、網野、弥栄、かぶと山）		323千円								
	修繕費		2,064千円	給湯貯湯タンク処分料（網野）		20千円								
	○役務費		866千円											
	貯水槽法定検査、消防設備点検、浄化槽法定検査等手数料		38千円											
	火災保険料（6施設分）		828千円											
	○委託料		3,603千円											
	施設警備、グリストラップ収集・処理、自動ドア保守点検		2,954千円											
	消防設備点検、自家用電気工作物保安管理、害虫駆除等													
	丹後こども園FRPプール撤去・処分業務		649千円											
○使用料及び賃借料		247千円												
重機借上料（峰山・網野こども園園庭整備）		37千円												
清掃用具借上料		210千円												
○工事請負費		34,390千円												
大宮こども園中央監視設備・空調自動制御設備更新工事		33,990千円												
網野こども園2歳児保育室フローリング化工事		400千円												
			成果・課題	○突発的な事案に伴う施設の修繕等を実施し、施設の安全管理を適切に行うことができた。 ○完全給食実施に向けた準備を行い、令和2年4月からの完全給食をスムーズに開始することができた。 ○建設してから年数が経過している施設もあることから、大規模な改修等が必要となるものがあり、計画的に行っていく必要がある。										

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	56千円	56千円	0千円	100.0%		
	目	01 児童福祉総務費				(参考)当初予算額		
	事	04 ファミリーサポートセンター事業				56千円		
細事	01 ファミリーサポートセンター事業	課				子ども未来課		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	18千円		
目的	子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月から小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育て支援を図る。			府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	18千円		
主要な事務・事業の概要	新規及び登録済みのまかせて会員を対象に、援助活動に必要な専門的な知識の取得やスキルアップを目的とした講習会を実施した。							
	<p>○実施事業内容</p> <p>・新規登録会員及び登録更新会員講習会 参加者 2人</p> <p>○会員数(令和2年3月末) 前年度</p> <p>・依頼(おねがい)会員 42人 53人</p> <p>・援助(まかせて)会員 16人 22人</p> <p>・両方会員 1人 2人</p> <p>※活動延べ件数 5件 9人</p> <p>※利用者実人数 おねがい会員:1人 4人 まかせて会員:2人 1人</p> <p>○事業費</p> <p>・役務費(補償保険料) 56千円</p>			<p>成果・課題</p> <p>○援助会員の講習会で、受講者に子どもの世話や看病の仕方を再確認する機会を提供し、援助技能の向上を図った。</p> <p>○援助会員による子どもの一時的な預かりにより子育て支援をすることができた。</p> <p>○より一層円滑に運営するためには、援助会員の確保が課題である。</p>				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局												
	項	02 児童福祉費	147千円	184千円	37千円	79.8%														
	目	01 児童福祉総務費				(参考)当初予算額														
	事	06 子ども未来まちづくり審議会事業				184千円														
細事	01 子ども未来まちづくり審議会事業	課				子ども未来課														
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源																	
目的	すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画、保育所再編等推進計画、特定教育・保育施設の利用定員の設定等について審議する。																			
主要な事務・事業の概要	平成27年度に策定した第1期子ども子育て支援事業計画を見直し、第2期京丹後市子ども・子育て支援事業計画を策定するため、審議会を開催した。																			
	<p>○報酬(審議会委員) 委員:10人 4回開催 124千円</p> <p>○旅費(費用弁償) 23千円</p> <p>※審議会開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日程</th> <th>審議内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>令和元年5月30日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>令和元年8月7日</td> <td rowspan="3">・京丹後市子ども・子育て支援事業計画について ・幼児教育・保育の無償化について</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>令和元年9月10日</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>令和元年10月8日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※審議会への諮問: 令和元年5月30日</p> <p>※審議会からの答申: 令和元年10月9日</p>				日程	審議内容	第1回	令和元年5月30日		第2回	令和元年8月7日	・京丹後市子ども・子育て支援事業計画について ・幼児教育・保育の無償化について	第3回	令和元年9月10日	第4回	令和元年10月8日	<p>成果・課題</p> <p>○審議会での審議・答申していただき、第2期京丹後市子ども・子育て支援事業計画を策定することができた。</p> <p>○今後も、多様化する子育て支援ニーズへの対応、子どもや子育てに関し審議していただき、子育て世帯やすべての子どもたちが健康で幸せに暮らせるまちづくりを推進していく必要がある。</p>			
	日程	審議内容																		
第1回	令和元年5月30日																			
第2回	令和元年8月7日	・京丹後市子ども・子育て支援事業計画について ・幼児教育・保育の無償化について																		
第3回	令和元年9月10日																			
第4回	令和元年10月8日																			

## 京丹後市教育振興計画

### 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	小坂 貴寛

重点目標	2	確かな学力・生き抜く力を育みます
基本の方針	小中一貫教育を柱とする学校教育改革の推進により子どもの成長に応じた指導の一貫性を確保する体制を充実することで「確かな学力」を育み、あわせて、学校園、家庭及び地域が協働し、相互に連携しながら教育力の向上を図ります。 一人ひとりの個性や能力、確かな学力を育むとともに、地域社会への理解と関心を高め、グローバル化等の社会の変化に対応するなど、将来への夢と希望を基盤として未来を切り拓くことのできる「生き抜く力」を育みます。	

#### 1. 施策の方向性

#### PLAN

<b>1. 小中一貫教育の推進</b>	①「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの「確かな学力」と「社会を生き抜く力」を育む小中一貫教育を着実に進めます。 ②中学校区を単位とした共通の目指す子ども像を設定し、その実現に向けて系統的で一貫性のある学校園の教育活動を進めます。 ③小中一貫教育等について保護者や地域の理解を得るとともに連携を深めるため、教育フォーラムを開催するなど、学校教育改革に関する情報提供の機会を拡充します。 ④学識経験者や市民、保護者及び学校園関係者等が、学校教育改革を適切に検証、評価し、取り組みの改善を進めます。 ⑤小中一貫教育等における目標の実現状況や教育活動の成果が明らかになるよう、学校評価を充実します。
<b>2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上</b>	①子どもの発達や学習の特性等に応じた保幼小中一貫の教育課程により、すべての学校園で就学前から中学校修了までの系統的な指導を実施するとともに、小中学校の接続期の指導を充実します。 ②教職員の授業実践力や生徒指導力を高める研修を充実します。 ③加配教職員やスクールサポーターを効果的に配置し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を整えます。 ④京丹後市への理解を深め、郷土への愛着と誇り、地域生活への意欲を系統的に育む「丹後学」を、地域の人々の協力と参画により、すべての小中学校で実施します。 ⑤子どもたちの基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立等について、学校園と家庭が連携した取り組みを充実します。 ⑥中学校区を単位として学校園、家庭及び地域が育みたい子ども像や課題を共有し、連携・協力して進める地域の教育環境づくりを推進します。 ⑦市民が学校の教育活動を積極的に支援する学校支援ボランティアの取り組みを拡充します。 ⑧放課後における学習や体験活動の充実に向け、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみの学習環境の体制づくりを進めます。
<b>3. 確かな学力の育成</b>	①小中一貫教育により校種間を円滑に接続し、就学前から中学校卒業までの10年間の系統的な学習指導を実現します。 ②全国学力・学習状況調査の結果が、現在、全国・府平均を上回っている学力についても、診断結果をもとに児童生徒の学力状況をきめ細かく把握するとともに、分析結果を活用した指導改善により、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を継続的に行います。 ③すべての教科や特別活動に「言語活動」や「コミュニケーション活動」の充実を位置付け、系統的・継続的な指導を行います。 ④「丹後学」において京丹後市の学習素材を活かした体験的な学習や問題解決的な学習を行うなど、児童生徒が目的意識を持って主体的に取り組む学習を充実します。 ⑤自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等、習得した知識や技能を活用する力を育成するため、教育実践モデル校等を指定し、その実践と成果をすべての学校園に普及します。 ⑥家庭学習が定着するよう、学校と家庭が連携して児童生徒の主体的な学習習慣を育成します。 ⑦学校支援ボランティアや大学のもつ専門性を活用したり、小中学校、高等学校が積極的に連携・交流したりするなど、児童生徒の知的好奇心や学習意欲を育むための取り組みを充実します。
<b>4. 社会を生き抜く力の育成</b>	①子どもたちが将来、社会的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力を身に付けるため、就学前教育から義務教育修了時まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。 ②「丹後学」において、郷土とそこに生きる人々を通じた探究活動を充実し、自己の生き方・あり方について深く考える力を育てるとともに、児童生徒の将来への夢や希望を育みます。 ③児童生徒の学習に対する興味・関心や意欲を高めるため、情報通信ネットワークやコンピュータなどのICT環境を整備します。 ④小学校低学年から英語に親しむ活動を充実するなど、国際社会に生きる日本人としての基礎的な能力を系統的に育成します。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力をすべての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

2. 主な取組と構成事務事業一覧 **PLAN** **DO** ※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照 **CHECK** **ACT**

1. 小中一貫教育の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
①「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの「確かな学力」と「社会を生き抜く力」を育む小中一貫教育を着実に進めます。 ② 中学校区を単位とした共通の目指す子ども像を設定し、その実現に向けて系統的で一貫性のある学校園の教育活動を進めます。 ③ 小中一貫教育等について保護者や地域の理解を得るとともに連携を深めるため、教育フォーラムを開催するなど、学校教育改革に関する情報提供の機会を拡充します。 ④ 学識経験者や市民、保護者及び学校園関係者等が、学校教育改革を適切に検証、評価し、取り組みの改善を進めます。 ⑤ 小中一貫教育等における目標の実現状況や教育活動の成果が明らかになるよう、学校評価を充実します。						
1	小中一貫教育推進事業	学校教育課	309	540	252	現状維持
「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向けて協議会及び専門部会で調査研究を行い、小中一貫教育を推進する。						
2	小中一貫教育実践事業	学校教育課	5,777	5,640	5,705	現状維持
「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の推進に向け、市内全域で小中一貫教育を実践する。						
2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 子どもの発達や学習の特性等に応じた保幼小中一貫の教育課程により、すべての学校園で就学前から中学校修了までの系統的な指導を実施するとともに、小中学校の接続期の指導を充実します。 ② 教職員の授業実践力や生徒指導力を高める研修を充実します。 ③ 加配教職員やスクールサポーターを効果的に配置し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を整えます。 ④ 京丹後市への理解を深め、郷土への愛着と誇り、地域生活への意欲を系統的に育む「丹後学」を、地域の人々の協力と参画により、すべての小中学校で実施します。 ⑤ 子どもたちの基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立等について、学校園と家庭が連携した取り組みを充実します。 ⑥ 中学校区を単位として学校園、家庭及び地域が育みたい子ども像や課題を共有し、連携・協力して進める地域の教育環境づくりを推進します。 ⑦ 市民が学校の教育活動を積極的に支援する学校支援ボランティアの取り組みを拡充します。 ⑧ 放課後における学習や体験活動の充実に向け、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみの学習環境の体制作りを進めます。						
	授業実践力向上対策事業	学校教育課				統合(整理)
授業実践力開発講座、小中一貫検証講座及び教育実践力サポート講座を開設し、教員の資質向上を図る。						
3	学習支援体制整備事業	学校教育課	1,242	985	1,574	現状維持
「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後を活用した教育活動を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。						
4	学校支援地域本部事業《再掲》	生涯学習課	-	-	-	現状維持
「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。						
3. 確かな学力の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 小中一貫教育により校種間を円滑に接続し、就学前から中学校卒業までの10年間の系統的な学習指導を実現します。 ② 全国学力・学習状況調査の結果が、現在、全国・府平均を上回っている学力についても、診断結果をもとに児童生徒の学力状況をきめ細かく把握するとともに、分析結果を活用した指導改善により、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を継続的に進めます。 ③ すべての教科や特別活動に「言語活動」や「コミュニケーション活動」の充実を位置付け、系統的・継続的な指導を行います。 ④ 「丹後学」において京丹後市の学習素材を活かした体験的な学習や問題解決的な学習を行うなど、児童生徒が目的意識を持って主体的に取り組む学習を充実します。 ⑤ 自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等、習得した知識や技能を活用する力を育成するため、教育実践モデル校等を指定し、その実践と成果をすべての学校園に普及します。 ⑥ 家庭学習が定着するよう、学校と家庭が連携して児童生徒の主体的な学習習慣を育成します。 ⑦ 学校支援ボランティアや大学のもつ専門性を活用したり、小中学校、高等学校が積極的に連携・交流したりするなど、児童生徒の知的好奇心や学習意欲を育むための取り組みを充実します。						
5	教科用図書採択事業	学校教育課	25	150	71	現状維持
丹後教科用図書採択地区協議会において教科用図書の調査・研究を行い、市立小中学校で使用する教科用図書の公正かつ適正な採択を行う。						

3. 確かな学力の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
6	小学校教育振興事業 副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。	学校教育課	22,438	52,116	26,047	現状維持
7	小学校教育振興備品整備事業 授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、児童の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。	学校教育課	11,347	10,850	10,085	現状維持
8	小学校就学援助事業 要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。	学校教育課	18,452	17,937	20,578	現状維持
9	中学校教育振興事業 副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。	学校教育課	29,511	26,247	37,416	現状維持
10	中学校教育振興備品整備事業 授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。	学校教育課	7,953	7,741	8,538	現状維持
11	中学校就学援助事業 要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。	学校教育課	20,771	19,403	17,443	現状維持
4. 社会を生き抜く力の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 子どもたちが将来、社会的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力を身に付けるため、就学前教育から義務教育修了時まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。</p> <p>② 「丹後学」において、郷土とそこに生きる人々を通じた探究活動を充実し、自己の生き方・あり方について深く考える力を育てるとともに、児童生徒の将来への夢や希望を育みます。</p> <p>③ 児童生徒の学習に対する興味・関心や意欲を高めるため、情報通信ネットワークやコンピュータなどのICT環境を整備します。</p> <p>④ 小学校低学年から英語に親しむ活動を充実するなど、国際社会に生きる日本人としての基礎的な能力を系統的に育成します。</p>						
12	学校情報化推進事業 小中学校の情報通信ネットワークの整備・維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と学校情報化を行う。また、ICTを活用した学習環境を推進する。	学校教育課	18,161	71,121	30,638	現状維持
13	小・中学校情報教育環境整備事業【再編交付金活用事業】《再掲》 平成26年度に整備した市内の全小中学校27校(小学校20校、中学校7校)の情報教室パソコン等について、平成30年度分のリース料を支出する。	学校教育課	-	-	-	統合(整理)
14	児童生徒国際交流事業 国際交流事業を推進することにより、語学力の向上はもとより、国際感覚をもちグローバル社会で活躍できる人材を育成する。	学校教育課	2,977	1,224	5,570	現状維持
15	外国語指導助手招致事業 自治体国際化協会(JETプログラム)の斡旋を受け、6人の外国語指導助手(ALT)を招致・任用し、小中学校で授業等の補助を行うことで、外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。	教育総務課	26,626	25,853	27,212	現状維持
16	国際交流員招致事業 一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。	学校教育課	3,079	4,198	5,553	現状維持
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性
17	奨学金事業 経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。	教育総務課	11,492	8,029	12,564	改善・効率化
18	奨学基金 経済的理由により大学等への修学が困難な者に対し、奨学金を給付することを目的とした奨学基金への積立金	教育総務課	10,607	727	23	改善・効率化
19	谷口謙・未来応援基金 経済的理由により大学等への進学及び修学が困難な者に対し、奨学金を貸し付けることを目的とした谷口謙・未来応援基金への積立金	教育総務課	21	208	762	改善・効率化
		計	190,788	252,969	210,031	

### 3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本の方針	<p>小中一貫教育を柱とする学校教育改革の推進により子どもの成長に応じた指導の一貫性を確保する体制を充実することで「確かな学力」を育み、あわせて、学校園、家庭及び地域が協働し、相互に連携しながら教育力の向上を図ります。</p> <p>一人ひとりの個性や能力、確かな学力を育むとともに、地域社会への理解と関心を高め、グローバル化等の社会の変化に対応するなど、将来への夢と希望を基盤として未来を切り拓くことのできる「生き抜く力」を育みます。</p>
-------	--

	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		
主な目標指標	学校関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)	中学校区	0	H25	6学園	R1	6(全中学校区で実施)	R6
	学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童の割合<小学生>	%	73.2	H25	77.6	R1	80%以上	R6
	学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の生徒の割合<中学生>	%	50.6	H25	62.3	R1	70%以上	R6
	一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着	%	小中学校各教科の全国平均正答率		小学校算数を除く全教科全国平均以上	R1	市平均の全教科全国平均以上	R6
	将来の夢や目標を持っている生徒の割合<中学生>	%	70.0	H25	71.9	R1	90%以上	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

ACT

進捗状況区分	評価	令和元年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>《学校関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)》</p> <p>各学校の関係者評価は、小中一貫教育の諸計画及び各学園の重点等を基盤に作成している。また、各学園の学校関係者評価の必須項目に「小中一貫教育の推進」を設定することで、学園の取組み等の検証・評価を各校園単位でPDCAサイクルにより進めることができた。令和2年度よりいよいよ学校運営協議会をすべての学園に設置し、学校の関係者評価とともに、学園全体の方針の承認や評価・検証を確実に進めていくことを目指していく。</p> <p>《学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合》</p> <p>学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合は、前年度と比べて小学生では2.0%減少したが中学生は4.5%増加した。各学園で「家庭学習の手引き」を作成・配布するなど、学習習慣の定着に向けた取組や指導の効果は表れてきているものの、小中学生とも目標値にはあと一歩届いていない状況である。引き続き、家庭学習の充実に向けた家庭との連携を日常的に進め、家庭学習習慣の定着をより図っていく必要がある。</p> <p>《一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着》</p> <p>全国学力・学習状況調査結果は、小学校において一部の教科で全国平均を下回ったものの、おおむね全国平均以上の学力を付けている。各校園が学力調査の結果を分析し、授業改善や個に応じた支援を丁寧に行っていることや、一貫性のある系統的な指導が確実に進んでいる成果ととらえている。引き続き、児童生徒の学力向上を図るため、各校園の授業改善や授業研究等を推進していく必要がある。</p> <p>《将来の夢や目標を持っている生徒の割合》</p> <p>将来の夢や目標を持っていると回答した生徒の割合は、ほぼ前年度同様で、おおむね全国平均と同じ状況となっている。引き続き、キャリア教育の視点も入った「丹後学」のモデルカリキュラムを積極的に活用するとともに、生徒の自己肯定感を高める取組や小中一貫教育によるキャリア教育のより一層の推進・充実を図っていく必要がある。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和2年～令和4年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	28年度からの小中一貫教育の全市展開を踏まえ、学園単位によるPDCAサイクルの確立とその検証・評価に基づく小中一貫教育推進基本計画等の適切な改訂を行う。また、各学園を会場とした市教育フォーラム等の啓発活動により、教職員・保護者・地域住民への成果の明確化を図る。
	2	学園コーディネーター等の配置を継続するとともに、各学園に設置された学校・地域連携協議会の学園運営協議会(コミュニティ・スクール)への移行を令和2年度に実施し、学校、家庭、地域が連携した学習環境の体制作り、目指す子ども像に基づく学校・地域が連携した取組を推進する。
	3	保幼小中一貫教育モデルカリキュラム及び保幼小接続モデルプラン等を活用した各学園での系統的で一貫性のある指導を充実させるため、授業改善・授業研究を更に推進するとともに、全国学力・学習状況調査の学園分析結果を活用し個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。
	4	総合的な学習の時間を活用した「丹後学モデルカリキュラム」の自校園化に向けた取組と興味・関心・意欲を高めるICT機器の整備推進を図るとともに、中学生の海外派遣や児童生徒の国際交流等を推進することにより、国際社会を生きる日本人としての基礎的な能力の育成を図る。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	540千円	585千円	45千円	92.3%						
	目	02 事務局費										
	事	11 小中一貫教育推進事業										
細事	01 小中一貫教育推進事業				1,066千円	課	学校教育課					
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源										
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向けて協議会及び専門部会で調査研究を行い、小中一貫教育を推進する。											
主要な事務・事業の概要	○小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償） 77千円 ・協議会委員 13人（大学教授、学識経験者、PTA、学校教職員等） ・協議会の開催 2回 ・調査研究事業 小中一貫教育実施校における効果と課題の整理		○授業実践力向上研修会（講師謝金、消耗品費） 65千円 ・授業実践力向上研修会（参加者：41人） 開催日：令和元年10月10日（木） 場 所：大宮中学校									
	○学校教育連携専門部会 ・専門部会 学校運営部員 6人 ・開催回数 学校運営部会 2回		○教育フォーラムの開催 ・教育フォーラム（参加者：122人） 開催日：令和元年11月20日（水） 場 所：丹後小学校									
	○保幼小中一貫教育モデルカリキュラム第3版作成（印刷製本費） 277千円 ・作成部数：600部											
	○小中一貫教育全国サミットへの参加（旅費、燃料費等） 121千円 開催日 令和元年11月7日（木）・8日（金） 開催地 大阪府堺市 市小学校、大泉学園、さつき野学園ほか（参加者：13人）		成果・課題 ○京丹後市保幼小中一貫教育モデルカリキュラム第3版を作成し、小中一貫教育を具体的に進めるための適時性と一貫性・連続性に着目した授業改善に向け、各学校に配布、活用した。 ○小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による研究と検証を積み重ね、小中一貫教育推進基本計画に基づくより良い教育体制の整備を推進することができた。 ○引き続き、小中一貫教育を推進するための研究及び検証を進める必要がある。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	5,640千円	6,197千円	557千円	91.0%						
	目	02 事務局費										
	事	11 小中一貫教育推進事業										
細事	02 小中一貫教育実践事業				6,197千円	課	学校教育課					
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源										
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の推進に向け、市内全域で小中一貫教育を実践する。											
主要な事務・事業の概要	○小中一貫教育の実践（報償費、消耗品費、印刷製本費等） 3,705千円 ・峰山学園（授業研究会、合唱祭、部活動体験、リーフレット作成等） ・大宮学園（小中合同研修会、講演会、体験学習、リーフレット作成等） ・網野学園（SNS講演会、部活動体験、授業体験、リーフレット作成等） ・丹後学園（合同避難訓練、合唱祭、部活動体験、リーフレット作成等） ・弥栄学園（授業研究会、保幼小中行事交流、部活動体験等） ・久美浜学園（あいさつ運動、部活動体験、リーフレット作成等）											
	○特色ある学校づくりの支援（報償費、消耗品費、委託料等） 1,935千円 実施校：小学校16校、中学校6校 主な取組内容：郷土学習、環境学習、農業体験、ものづくり体験、キャリア教育、図書館教育、人権学習等		成果・課題 ○小中一貫教育の実施により、各学園が教育目標「目指す子ども像」を設定し、カリキュラムや指導方法を統一することで、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。 ○合唱祭等の小中連携、合同授業等の小中連携、合同避難訓練等の保幼小中連携等、学園内の小中学校が連携した教育活動の充実を図ることができた。 ○今般流行の新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、可能な範囲で活動を行っていく必要がある。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																					
	項	01 教育総務費	985千円	987千円	2千円	99.7%																							
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額																							
	事	12 教育のまちづくり推進事業				2,078千円																							
	細事	02 学習支援体制整備事業	主な財源	府補 地域で支える学校教育推進事業費補助金(2/3) 650千円																									
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実																												
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後を活用した教育活動を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。																												
主要な事務・事業の概要	<p>○中学生の放課後学習支援（講師謝金、消耗品費） 982千円</p> <p>学習が遅れがちな中学3年生を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中学校</td> <td>36回</td> <td>452人</td> </tr> <tr> <td>大宮中学校</td> <td>37回</td> <td>585人</td> </tr> <tr> <td>網野中学校</td> <td>20回</td> <td>660人</td> </tr> <tr> <td>丹後中学校</td> <td>48回</td> <td>949人</td> </tr> <tr> <td>弥栄中学校</td> <td>41回</td> <td>908人</td> </tr> <tr> <td>久美浜中学校</td> <td>59回</td> <td>2,269人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○職員出張旅費 3千円</p>		学校名	回数	参加人数	峰山中学校	36回	452人	大宮中学校	37回	585人	網野中学校	20回	660人	丹後中学校	48回	949人	弥栄中学校	41回	908人	久美浜中学校	59回	2,269人						
	学校名	回数	参加人数																										
峰山中学校	36回	452人																											
大宮中学校	37回	585人																											
網野中学校	20回	660人																											
丹後中学校	48回	949人																											
弥栄中学校	41回	908人																											
久美浜中学校	59回	2,269人																											
		成果・課題		中学生の学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。また、ICT機器を活用し、個々の学習進度に応じた学習支援を行うことができた。																									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	150千円	154千円	4千円	97.4%			
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額			
	事	09 教科用図書採択事業				154千円			
	細事	01 教科用図書採択事業	主な財源						
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実								
目的	丹後教科用図書採択地区協議会において教科用図書の調査・研究を行い、市立小中学校で使用する教科用図書の公正かつ適正な採択を行う。								
主要な事務・事業の概要	<p>令和2年度から使用する小中学校の教科用図書について、公正かつ適正な採択を行うために、丹後教科用図書採択地区協議会において文部科学省の教科書目録に掲載された教科用図書を調査・研究した。</p> <p>○負担金、補助及び交付金</p> <p>丹後教科用図書採択地区協議会分担金 150千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構成団体（2市2町1組合） <ul style="list-style-type: none"> <li>京丹後市・宮津市・伊根町・与謝野町教育委員会</li> <li>与謝野町宮津市中学校組合教育委員会</li> </ul> </li> <li>委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会教育長 4人</li> <li>教育委員会委員 16人</li> </ul> </li> <li>採択教科 <ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領に基づく小学校全科</li> <li>現学習指導要領に基づく中学校全科（道徳を除く）</li> </ul> </li> </ul>								
			成果・課題		丹後教科用図書採択地区協議会の調査・研究結果に基づき、令和2年度から市立小中学校で使用する教科用図書について、公正かつ適正な採択を行うことができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費						94.2%				
	目	02 教育振興費	52,116千円	55,311千円	3,195千円	(参考)当初予算額						
	事	01 小学校教育振興事業				47,156千円				課	学校教育課	
細事	01 小学校教育振興事業		府補	きょうと地域連携交付金(教育振興事業)					14,830千円			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。											
主要な事務・事業の概要	<p>教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動に取り組んだ。</p> <p>○報償費 1,329千円 ・入学記念品(395人分) 299千円 ・卒業記念品(445人分) 1,030千円</p> <p>○旅費 1千円 ・費用弁償(大地の学習講師費用弁償) 1千円</p> <p>○消耗品費 43,065千円 学用品、理科実験費、学力検査、指導書(教職員用)ほか</p> <p>○印刷製本費 192千円 社会科副読本「わたしたちのきょうたんご」400部 ※3年生用</p>		<p>○委託料 5,173千円 ・スクールバス定期外運行運転委託料 5,173千円</p> <p>○使用料及び賃借料 2,351千円 ・自動車借上料 2,107千円 ・有料道路通行料 219千円 ・駐車場使用料 25千円</p> <p>○負担金、補助及び交付金 5千円 ・大会参加負担金 5千円 第6回山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会：出場校 橋小学校 開催日：令和元年10月26日(土) 場所：但馬ドーム周辺駅低コース</p>		<p>成果・課題</p> <p>学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。</p>							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費						95.8%				
	目	02 教育振興費	10,850千円	11,316千円	466千円	(参考)当初予算額						
	事	02 小学校教育振興備品整備事業				10,055千円				課	学校教育課	
細事	01 小学校教育振興備品整備事業		国補	理科教育設備整備費等補助金(1/2)					737千円			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	寄附金	ふるさと応援寄附金					700千円		
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、児童の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。			繰入金	ふるさと応援基金繰入金					3,000千円		
主要な事務・事業の概要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。</p> <p>○需用費 157千円 ・修繕料(教材備品の修繕)</p> <p>○役務費 5千円 ・家電リサイクル料(テレビ1台)</p> <p>○使用料及び賃借料 724千円 ・ソフトウェア使用料(全小学校分) (学校図書室蔵書管理システム用)</p>		<p>○備品購入費 9,964千円 ・教材備品整備 5,175千円 (内、ふるさと応援寄附金充当額 540千円) ・学校図書整備 3,315千円 (内、ふるさと応援寄附金充当額 160千円) ・理科教育等設備整備(理科・算数備品) 1,474千円</p>		<p>成果・課題</p> <p>新学習指導要領の実施に向け、計画的な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科(算数)教育設備については、国の補助金を活用し計画的に整備を行うことで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。</p>							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	17,937千円	18,086千円	149千円	99.1%	(参考)当初予算額					
	目	02 教育振興費						21,315千円				
	事	03 小学校就学援助事業										
細事	01 小学校就学援助事業	国補 就学援助費補助金(1/2) 101千円 国補 特別支援教育就学奨励費補助金(1/2) 533千円										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。											
主要な事務・事業の概要	○就学援助費 16,869千円 ・要保護認定者 19人(H30:21人) 202千円 修学旅行費 96千円 医療費 106千円 ・準要保護認定者 235人(H30:239人) 14,835千円 学用品費等 4,038千円 給食費 9,552千円 修学旅行費 988千円 医療費 257千円 ・準要保護認定者(被災児童) 2人(H30:2人) 112千円 学用品費等 32千円 給食費 80千円 ※申請者数 291人(H30:296人) 認定者数 256人(H30:262人) ・令和2年度新入学児童生徒学用品費入学前支給分 1,720千円 支給者数 34人 ※令和2年2月21日支給		○特別支援教育就学奨励費 1,068千円 ・対象者 34人(H30:37人) 学用品費等 370千円 給食費 648千円 修学旅行費 50千円									
			○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。		成果・課題							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	26,247千円	26,687千円	440千円	98.3%	(参考)当初予算額					
	目	02 教育振興費						30,367千円				
	事	01 中学校教育振興事業										
細事	01 中学校教育振興事業	府補 きょうと地域連携交付金(教育振興事業) 7,470千円										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。											
主要な事務・事業の概要	教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動や異なった学年が参加する部活動に取り組んだ。 ○報償費 1,084千円 ・入学記念品(446人分) 249千円 ・卒業記念品(460人分) 835千円 ○需用費 9,455千円 ・消耗品費 9,114千円 学用品、理科実験費、学力検査、指導書(教職員用)ほか ・印刷製本費 341千円 社会科副読本「京丹後市の歴史」500部 ※令和2年度入学の新中学1年生用 ○役務費 58千円 ・楽器運搬手数料(峰山、大宮中学校吹奏楽部) 58千円		○委託料 11,054千円 ・スクールバス定期外運行運転委託料 11,054千円 ○負担金、補助及び交付金 4,596千円 ・体育大会等選手派遣費補助金 4,596千円									
			学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、生徒の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。		成果・課題							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	7,741千円	8,029千円	288千円	96.4%		
	目	02 教育振興費				(参考)当初予算額		
	事	02 中学校教育振興備品整備事業				7,531千円	課	学校教育課
	細事	01 中学校教育振興備品整備事業	国補	理科教育設備整備費等補助金(1/2)	122千円			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	寄附金	ふるさと応援寄附金	300千円		
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。		繰入金	ふるさと応援基金繰入金	2,000千円			
主要な事務・事業の概要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。 また、音楽備品については、適正な維持管理を行うとともに計画的に整備した。</p>		<p>○備品購入費 6,806千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材備品整備 3,092千円 (内、ふるさと応援寄附金充当額 210千円)</li> <li>学校図書整備 1,505千円 (内、ふるさと応援寄附金充当額 90千円)</li> <li>理科教育等設備整備(理科・数学備品) 245千円</li> <li>音楽備品整備 1,964千円</li> </ul>					
	<p>○需用費 351千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修繕料(教材備品の修繕)</li> </ul> <p>○役務費 328千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽器調整手数料(峰山、網野、弥栄中学校分) 324千円</li> <li>家電リサイクル料(テレビ1台) 4千円</li> </ul> <p>○使用料及び賃借料 256千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトウェア使用料(全中学校分) (学校図書室蔵書管理システム用)</li> </ul>		<p>成果・課題</p> <p>○計画的な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科(数学)教育設備については、国の補助金を活用し計画的に整備を行うことで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。 ○新学習指導要領の実施を見据え、学習教材や教育設備・備品については、より一層の整備・充実が必要である。</p>					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	19,403千円	19,702千円	299千円	98.4%		
	目	02 教育振興費				(参考)当初予算額		
	事	03 中学校就学援助事業				23,391千円	課	学校教育課
	細事	01 中学校就学援助事業	国補	就学援助費補助金(1/2)	130千円			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補	特別支援教育就学奨励費補助金(1/2)	759千円		
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。							
主要な事務・事業の概要	<p>○就学援助費 17,808千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>要保護認定者 14人(H30:19人) 329千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>修学旅行費 287千円</li> <li>医療費 42千円</li> </ul> </li> <li>準要保護認定者 127人(H30:143人) 15,240千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>学用品費等 5,970千円</li> <li>給食費 5,702千円</li> <li>修学旅行費 3,539千円</li> <li>医療費 29千円</li> </ul> </li> </ul> <p>※申請者数 169人(H30:188人) 認定者数 141人(H30:162人)</p> <p>・令和2年度新入学児童生徒学用品費入学前支給分 支給者数 39人 ※令和2年2月21日支給</p>		<p>○特別支援教育就学奨励費 1,595千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者 32人(H30:29人) <ul style="list-style-type: none"> <li>学用品費等 541千円</li> <li>給食費 634千円</li> <li>修学旅行費 420千円</li> </ul> </li> </ul>					
			<p>成果・課題</p> <p>○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。</p>					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	71,121千円	71,156千円	35千円	99.9%	(参考)当初予算額					
	目	02 事務局費										
	事	07 学校情報化推進事業						71,556千円				
細事	01 学校情報化推進事業	繰入金		再編交付金事業基金繰入金		35,369千円						
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源									
目的	小中学校の情報通信ネットワークの整備・維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と学校情報化を行う。また、ICTを活用した学習環境を推進する。											
主要な事務・事業の概要	<p>市内小中学校に整備した校内LAN及び校務用パソコン、普通教室用パソコン、情報教室用パソコン及びサーバー機器の維持管理を行うとともに、老朽化した校務用パソコン580台の更新やウイルス対策を行った。また、小中学校（小学3年から中学3年）の普通教室及び、特別支援教室に整備した電子黒板等の維持管理及び利用促進を行った。</p>		<p>○旅費（普通旅費） 8千円</p> <p>○需用費 2,421千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン・校内LAN関連消耗品 49千円</li> <li>パソコン・校内LAN関連修繕費（50件） 2,372千円</li> </ul> <p>○委託料 13,016千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校務用パソコン導入作業委託料（580台） 10,526千円</li> <li>サーバーシステム・パソコン・校内LAN保守委託料 1,769千円</li> <li>校務支援システム保守委託料 721千円</li> </ul>		<p>○使用料及び賃借料 55,361千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有料道路、駐車場使用料 10千円</li> <li>パソコン借上料 50,815千円</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>サーバーシステム借上（8台）</li> <li>校務用パソコン借上（580台）</li> <li>情報教室用パソコン借上（798台）ほか</li> </ul> </ul> <p>・ソフトウェア使用料 4,536千円</p> <p>校務支援システム、ウイルス対策ソフト（1,504台分）ほか</p> <p>○備品購入費 315千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校務用プリンタ更新（4台）</li> </ul>		<p>○ネットワークを利用した遠隔操作などにより、小中学校等に整備した校内LAN、1,802台のパソコン（校務、普通教室、情報教室、タブレット）、電子黒板及びサーバー機器の維持管理を効果的かつ適切に行うことができた。OICT支援員の配置等により、GIGAスクール構想に基づき令和2年度整備予定の児童生徒1人1台タブレット端末等の利活用を促進する必要がある。</p> <p>○新型コロナウイルスによる休校に備え、オンライン授業の訓練を行う必要がある。</p>					
	成果・課題											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	1,224千円	1,506千円	282千円	81.2%	(参考)当初予算額					
	目	02 事務局費										
	事	15 児童生徒国際交流事業						4,682千円				
細事	01 児童生徒国際交流事業	繰入金		再編交付金事業基金繰入金		35,369千円						
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源									
目的	国際交流事業を推進することにより、語学力の向上はもとより、国際感覚をもちグローバル社会で活躍できる人材を育成する。											
主要な事務・事業の概要	<p>○小学生の国際交流 83千円</p> <p>中学生海外派遣事業で本市と交流のあるニュージーランドのイングレウッド小学校と島津小学校の児童が、ライブ交流や手作りのメッセージカード等の交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消耗品費、通信運搬費、ビデオ撮影・編集委託料</li> </ul> <p>○小中学生文化体験</p> <p>小中学生を対象とした異文化理解・国際交流プログラムを実施した。</p> <p>○中学生の海外派遣 1,141千円</p> <p>語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため、ニュージーランドへの海外派遣事業を行った。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため現地研修は中止となったが、事前研修を4回行った。</p> <p>派遣期間：令和2年3月19日（木）～27日（金）の8泊9日間（中止）</p> <p>派遣対象生徒：中学2年生 15人（選考により決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消耗品費、中学生海外派遣事業費補助金、印刷製本費 ほか</li> </ul>		<p>○小学生国際交流及び小中学生文化体験を行い、国際交流事業を推進することにより語学力の向上及び国際的視野をもった人材を育成することができた。</p> <p>○中学生海外派遣は事前研修のみの実施となった。天災等の影響により現地に生徒を派遣できない場合のプログラムについても充実を図る必要がある。</p> <p>○国際的視野をもった児童生徒を育成するため、国際交流事業の取組の充実を図る必要がある。</p>									
	成果・課題											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費						98.4 %				
	目	04 外国青年招致事業費	25,853千円	26,259千円	406千円	(参考)当初予算額						
	事	01 外国語指導助手招致事業				28,080千円			課	教育総務課		
細事	01 外国語指導助手招致事業		繰入金	ふるさと応援基金繰入金		10,000千円						
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	自治体国際化協会（JETプログラム）の斡旋を受け、6人の外国語指導助手（ALT）を招致・任用し、小中学校で授業等の補助を行うことで、外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。											
主要な事務・事業の概要	○外国語指導助手の任用経費（6人分）		22,652千円	○負担金		1,404千円						
	・報酬		19,558千円	・自治体国際化協会負担金		1,234千円						
	・社会保険料、労災保険料、雇用保険料		3,094千円	・来日直後オリエンテーション参加費用負担金		170千円						
	○外国語指導助手支援員の任用経費		184千円									
	・賞金（通訳補助等）		64千円									
・謝金		120千円										
○外国語指導助手等の旅費		669千円										
・帰国旅費（1人）		230千円										
・費用弁償、研修旅費（ALT、職員）		439千円										
○外国語指導助手の賃貸住宅に係る経費		944千円	成果・課題		○外国語指導助手を各中学校に1人ずつ配置し、週1回程度各小学校に派遣することで、児童・生徒が生きた外国語や外国文化を学ぶ機会を直接的・継続的に確保することができ、外国語教育と国際理解教育の促進につなげることができた。 ○切れ目のない継続的な活用のため、ALTの心身の負担を軽減するため生活支援等の充実が必要である。							
・住居の敷金、礼金等（峰山、丹後、久美浜町域）		811千円										
・住宅保険（峰山、丹後、久美浜町域）		71千円										
・備品修繕費等		62千円										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費						99.4 %				
	目	04 外国青年招致事業費	4,198千円	4,223千円	25千円	(参考)当初予算額						
	事	02 国際交流員招致事業				4,365千円			課	学校教育課		
細事	01 国際交流員招致事業		主な財源									
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実											
目的	一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。											
主要な事務・事業の概要	国際交流員を学校教育課に配置し、国際交流や異文化理解について、その専門性で見識や経験を活かした指導、助言を行った。											
	○報酬、共済費		4,027千円									
	・国際交流員報酬（1人） （280千円×4か月（平成31年4月～令和元年7月）） （300千円×8か月（令和元年8月～令和2年3月））											
	・社会保険料、雇用保険料											
○研修にかかる経費		65千円										
・費用弁償、普通旅費												
○自治体国際化協会負担金		106千円	成果・課題		国際交流員を配置し、国際交流関係事業の実施や児童生徒の国際理解教育の推進を図ることができた。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	8,029千円	8,040千円	11千円	99.8 %		
	目	03 奨学費				(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事	01 奨学金事業				16,564千円		
細事	01 奨学金事業	主な財源	繰入金 奨学基金繰入金	2,664千円	繰入金 谷口謙・未来応援基金繰入金	5,312千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実							
目的	経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。							
主要な事務・事業の概要	<p>経済的に困窮している世帯（家庭）で勉学意欲のある大学生等を対象に奨学金を給付した。また、令和元年度大学等在学者及び令和2年度大学等進学予定者を対象に、奨学金の貸付を行った。</p> <p>○奨学金選考・検討委員会経費（2回開催） 53千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬 委員 4千円（半日）×（6人×2回） 48千円</li> <li>・費用弁償 5千円</li> </ul> <p>○給付奨学金 2,664千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生等 864千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>月額12千円×12月×6人</li> </ul> </li> <li>月額10千円×12月×15人 1,800千円</li> </ul>		<p>○貸付奨学金 5,312千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学支援金（4人） 2,512千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>大学生等 1,000千円×2人</li> <li>大学生等 280千円×1人</li> <li>大学生等 232千円×1人</li> </ul> </li> <li>・入学支度金（4人） 2,800千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>進学予定者 700千円×4人</li> </ul> </li> </ul>					
			<p>成果・課題</p> <p>○厳しい経済状況の中で、勉学意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援を行うことにより、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組むための環境を整えることができた。</p> <p>○近年、応募者が減少傾向であるため、周知方法を工夫するとともに制度設計を検討する必要がある。</p> <p>○文部科学省における高等教育の無償化制度の設置（令和2年4月実施）に伴い、今後の市奨学金制度の見直し等を検討する必要がある。</p>					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																		
	項	01 教育総務費	727千円	728千円	1千円	99.8 %																				
	目	03 奨学費				(参考)当初予算額	課	教育総務課																		
	事	02 奨学基金				23千円																				
細事	01 奨学基金	主な財源	財産収入 奨学基金利子収入	57千円	諸収入 奨学資金貸付償還金滞納繰越分	670千円																				
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実																									
目的	経済的理由により大学等への修学が困難な者に対し、奨学金を給付することを目的とした奨学基金への積立金																									
主要な事務・事業の概要	<p>○奨学基金積立金 670千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧網野町で貸し付けた奨学資金償還金分 670千円</li> </ul> <p>○奨学基金積立金（利子分） 57千円</p> <p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">平成30年度末 現在高</th> <th colspan="3">令和元年度中増減額</th> <th rowspan="2">令和元年度末 現在高</th> </tr> <tr> <th>繰入金</th> <th>運用利子</th> <th>積立金</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>①-②+(③+④)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>139,087</td> <td>2,664</td> <td>57</td> <td>670</td> <td>137,150</td> </tr> </tbody> </table> <p>(充当：1事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金事業 2,664千円</li> </ul>		平成30年度末 現在高	令和元年度中増減額			令和元年度末 現在高	繰入金	運用利子	積立金	①	②	③	④	①-②+(③+④)	139,087	2,664	57	670	137,150	<p>成果・課題</p>					
	平成30年度末 現在高	令和元年度中増減額			令和元年度末 現在高																					
繰入金		運用利子	積立金																							
①	②	③	④	①-②+(③+④)																						
139,087	2,664	57	670	137,150																						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	208千円	209千円	1千円	99.5%		
	目	03 奨学費				(参考)当初予算額		
	事	03 谷口謙・未来応援基金				129千円	課	教育総務課
細事	01 谷口謙・未来応援基金	主な財源	財産収入	谷口謙・未来応援基金利子収入	41千円			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	諸収入	奨学資金貸付償還金	167千円				
目的	経済的理由により大学等への進学及び修学が困難な者に対し、奨学金を貸し付けることを目的とした谷口謙・未来応援基金への積立金							
主要な事務・事業の概要	○谷口謙・未来応援基金積立金		167千円					
	・京丹後市貸付奨学金で貸し付けた奨学資金償還金分		167千円					
	○谷口謙・未来応援基金積立金(利子分)		41千円					
		(単位：千円)						
		平成30年度末		令和元年度中増減額		令和元年度末		
		現在高		繰入金		運用利子		積立金
		①		②		③		④
		80,495		5,312		41		167
								①-②+(③+④)
								75,391
		(充当：1事業)						
		・奨学金事業		5,312千円				
								成果・課題

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
教育総務課	溝口 容子
学校教育課	小坂 貴寛
生涯学習課	引野 雅文

重点目標	3	子どもを健やかに育む教育環境を充実します
基本の方針	災害や事件・事故等に備えた安全確保のため、学校施設の老朽化対策や耐震化等を計画的に進めるとともに、児童生徒が自らの安全をまもるための能力を身に付けさせる安全教育や、また、ボランティアの協力を得る等、地域が一体となって支える教育環境づくりを進めます。 また、年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、すべての子どもの健やかな育ちを保障する教育環境を整備します。	

1. 施策の方向性 **PLAN**

1. 子どもの安全・安心の確保	①児童生徒を事件や事故から守るため、スクールガード・リーダーによる巡回指導や子ども安心パトロール車の運行等、保護者や地域ボランティアの協力を得ながら、学校内外における安全確保に努めます。 ②学校再配置による校区の拡充に伴い、遠距離通学用スクールバスの安全な運行管理及び車両管理を実施します。 ③児童生徒自身の危機対応能力を育むため、各学校の危機管理マニュアルに基づく防災教育や安全教育を計画的・継続的に実施します。
2. 学校施設環境等の整備充実	①学校再配置に伴う拠点校の施設整備を進めます。 ②学校施設耐震化計画に基づき、学校施設の耐震化及び非構造部材の耐震対策を計画的に進めます。 ③学校施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい学校施設の改修・修繕等を計画的に進めます。
3. 個に応じた支援体制の充実	①発達障害等を含む障害のある子ども一人ひとりのニーズに対応したきめ細かな支援を行うため、学校園と保護者、行政、医療及び関係機関等が広く連携し、乳幼児期から青年期までを見通した特別支援教育を進めます。 ②外国語を母語とするなど日本語の習得が十分ではない児童生徒に対し、スクールサポーターを配置するなど個別に日本語支援を行う体制を整備します。
4. ボランティアによる学習支援の推進	①市民のボランティア意識を高め、自らの知識や学習で培った技術などを学校で、児童に紹介する機会づくりを進めます。 ②市民ボランティアが、地域の中で、子どもたちの活動を支える環境づくりを進めます。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市学校施設耐震化計画	耐震化に対する国の動向や財政措置の状況を的確にとらえつつ、本市における学校施設の耐震化を可能な限り早く、計画的に進めていくことを目的に、本計画を定めるもの	平成22年11月	平成22年度～平成26年度	
京丹後市学校再配置基本計画	急速に少子化が進むなか、本市の次代を担っていく子どもたちに、より良い教育環境や教育条件を整えるため、学校力を高めるための学校規模などを考えた学校再配置の取組みを進めていくために策定	平成22年12月	平成23年度～令和2年度	前期(H23～27年度)と後期(H28～R2年度)に区分し、段階的に再配置を進める

2. 主な取組と構成事務事業一覧

**PLAN**

**DO**

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

**CHECK**

**ACT**

1. 子どもの安全・安心の確保		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
①	児童生徒を事件や事故から守るため、スクールガード・リーダーによる巡回指導や子ども安心パトロール車の運行等、保護者や地域ボランティアの協力を得ながら、学校内外における安全確保に努めます。					
②	学校再配置による校区の拡充に伴い、遠距離通学用スクールバスの安全な運行管理及び車両管理を実施します。					
③	児童生徒自身の危機対応能力を育むため、各学校の危機管理マニュアルに基づく防災教育や安全教育を計画的・継続的に実施します。					
1	学校医委嘱事業	学校教育課				
	学校保健安全法に基づき、各学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置き、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図る。		21,368	20,073	19,968	現状維持
2	学務経費	学校教育課				
	学齢簿の管理、就学時健診、小中学校の枠を超えた取組及び特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりに取り組む。		5,336	4,963	5,553	現状維持

1. 子どもの安全・安心の確保		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
3	学校安全対策事業 保護者や地域の協力を得ながら安全で安心できる学校づくりを推進し、児童生徒を事件や事故から守る。	学校教育課	6,013	5,075	6,662	現状維持
4	児童教職員健康管理事業 児童及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、児童及び教職員の健康の保持増進と小学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。	学校教育課	8,609	7,012	8,938	現状維持
5	生徒教職員健康管理事業 生徒及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、生徒及び教職員の健康の保持増進と中学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。	学校教育課	5,263	5,175	6,042	現状維持
6	小学校スクールバス運行管理事業 小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童の安全な通学手段を確保する。	学校教育課	94,857	96,312	93,997	現状維持
7	小学校スクールバス購入事業 小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童の安全な通学手段を確保する。	学校教育課	16,268	-	-	休止
8	小学校通学支援事業 遠距離通学をする児童を対象に、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。	学校教育課	292	270	270	現状維持
9	中学校スクールバス運行管理事業 中学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた生徒の安全な通学手段を確保する。	学校教育課	75,815	71,569	72,714	現状維持
10	中学校スクールバス購入事業 スクールバスで通学する生徒の安全を確保するため、老朽化した車両の更新を行う。	学校教育課	-	-	19,169	改善・効率化
11	中学校通学支援事業 自転車通学をする生徒を対象に、通学の状況に応じてヘルメット購入補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。	学校教育課	302	199	207	現状維持
2. 学校施設環境等の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 学校再配置に伴う拠点校の施設整備を進めます。 ② 学校施設耐震化計画に基づき、学校施設の耐震化及び非構造部材の耐震対策を計画的に進めます。 ③ 学校施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい学校施設の改修・修繕等を計画的に進めます。						
12	学校再配置推進事業 京丹後市学校再配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を設置し、学校再配置による新しい学校づくりに向けた取組を推進する。	学校教育課	3,348	856	-	縮小
13	小学校再配置施設整備事業 学校再配置計画に基づく平成30年4月の丹波小学校と新山小学校の再配置に伴い、児童数が増加する新山小学校校舎の増改築工事を行う。(29年度実施)	教育総務課	-	-	-	終了・廃止
14	小学校再配置施設整備事業【繰越】 学校再配置に伴い拠点校となる学校施設の改修を行い、児童が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。	教育総務課	-	-	-	
15	小・中学校情報教育環境整備事業(基金事業)【再編交付金活用事業】 平成26年度に整備した市内の全小中学校27校(小学校20校、中学校7校)の情報教室パソコン等について、平成30年度分のリース料を支払うもの。	学校教育課	44,580	-	-	統合(整理)
16	小・中学校情報教育環境整備事業【再編交付金活用事業】 児童生徒の情報教育環境を充実させ一層の教育振興を図るため、全小中学校にICT機器(電子黒板、指導用タブレット等)を整備する。	学校教育課	86,389	-	-	終了・廃止
17	小学校施設改修事業 老朽化している学校施設が多い中、小学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。	教育総務課	181,402	179,624	105,200	現状維持
18	小学校施設改修事業【繰越】 学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。	教育総務課	-	4,130	-	
19	小学校施設管理事業 学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。	教育総務課	27,852	28,372	27,461	現状維持
20	中学校施設改修事業 老朽化している学校施設が多い中、中学校施設における改修工事等を行い、生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。	教育総務課	18,043	9,724	26,884	現状維持
21	中学校施設改修事業【繰越】 学校施設における改修工事等を行い、生徒が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。	教育総務課	-	8,555	-	

22	中学校施設管理事業	教育総務課	9,953	10,330	10,232	現状維持
	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。					
23	小学校管理運営事業	学校教育課	141,719	136,900	141,297	現状維持
	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。					
24	小学校事務補助経費	学校教育課	1,251	932	-	縮小
	学校事務職員の複数配置を要する小学校に事務職員を配置し、学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。					
25	中学校管理運営事業	学校教育課	59,613	59,585	62,390	現状維持
	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施する。					
26	中学校事務補助経費	学校教育課	4,831	3,382	-	縮小
	学校事務職員の複数配置を要する中学校に事務職員を配置し学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。					
27	網野給食センター管理運営事業	学校教育課	36,989	34,755	38,714	現状維持
	小学校4校(網野北・網野南・島津・橘)、網野中学校に栄養バランスの取れた給食を提供し、児童生徒の心身の健全な発達に寄与する。					
28	網野給食センター施設改修事業	教育総務課	1,498	-	-	休止
	安全・安心な給食を提供できるよう、網野学校給食センターの改修工事等を行い、適切な施設管理を行う。					
29	小学校給食管理運営事業	学校教育課	131,013	132,384	159,919	現状維持
	栄養バランスの取れた給食を提供し、児童の心身の健全な発達に寄与する。					
30	中学校給食管理運営事業	学校教育課	40,302	39,231	46,877	現状維持
	栄養バランスの取れた給食を提供し、生徒の心身の健全な発達に寄与する。					
31	学校給食一般経費	学校教育課	1,155	1,139	988	現状維持
	学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、献立研究会の活発な活動を促し、衛生管理や栄養面での充実を図る。					
32	公立学校施設災害復旧事業	教育総務課	788	211	-	縮小
	令和元年10月台風19号の暴風により被災した学校施設の復旧を図る。					
<b>3. 個に応じた支援体制の充実</b>			<b>決算額(単位:千円)</b>			<b>事務の改善</b>
主な取り組み			H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 発達障害等を含む障害のある子ども一人ひとりのニーズに対応したきめ細かな支援を行うため、学校園と保護者、行政、医療及び関係機関等が広く連携し、乳幼児期から青年期までを見通した特別支援教育を進めます。						
② 外国語を母語とするなど日本語の習得が十分ではない児童生徒に対し、スクールサポーターを配置するなど個別に日本語支援を行う体制を整備します。						
33	小学校スクールサポーター等設置事業《再掲》	学校教育課	-	-	-	現状維持
	スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。					
34	中学校スクールサポーター等設置事業《再掲》	学校教育課	-	-	-	現状維持
	スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。					
<b>4. ボランティアによる学習支援の推進</b>			<b>決算額(単位:千円)</b>			<b>事務の改善</b>
主な取り組み			H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 市民のボランティア意識を高め、自らの知識や学習で培った技術などを学校で、児童に紹介する機会づくりを進めます。						
② 市民ボランティアが、地域の中で、子どもたちの活動を支える環境づくりを進めます。						
35	地域学校協働本部事業	生涯学習課	4,325	3,837	3,543	現状維持
	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。					
<b>上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業</b>			<b>決算額(単位:千円)</b>			<b>事務の改善</b>
事務事業名称・事業内容(実績)			H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
36	日用品費等援助事業	子ども未来課	47	26	45	現状維持
	低所得世帯を対象に日用品、文房具等の購入に要する費用、食事に要する費用、行事への参加に要する費用等の実費徴収額について、費用の一部を助成する。					
37	児童福祉総務一般経費	子ども未来課	8,090	2,990	977	改善・効率化
	児童福祉業務を円滑に遂行するために必要な一般経費					
38	教育委員会一般経費	教育総務課	3,897	3,984	4,022	現状維持
	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会を運営する。					

		決算額(単位:千円)			事務の改善	
事務事業名称・事業内容(実績)		担当課	H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性
39	事務局一般経費	教育総務課	13,343	7,010	6,556	現状維持
教育委員会事務局の円滑な運営を行う。						
40	学校跡施設管理事業	教育総務課	6,627	4,752	3,245	改善・効率化
学校再配置により閉校となった学校施設の維持管理を行う。						
41	学校教育施設整備基金	教育総務課	-	-	1,583	拡大
旧大宮第三小学校及び旧三津小学校の建物貸付料をもとに、学校教育施設の整備等を進めるため、学校教育施設整備基金に積み立てるもの。						
計			1,061,178	883,357	873,453	

### 3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	災害や事件・事故等に備えた安全確保のため、学校施設の老朽化対策や耐震化等を計画的に進めるとともに、児童生徒が自らの安全をまもるための能力を身に付けさせる安全教育や、また、ボランティアの協力を得る等、地域が一体となって支える教育環境づくりを進めます。また、年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、すべての子どもの健やかな育ちを保障する教育環境を整備します。							
	主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時	実績値(現状)	目標値	年度	年度
	市立小学校の耐震化	%	88.5	H25	100	R1	100	R6
	市立中学校の耐震化	%	93.5	H25	100	R1	100	R6
	非構造部材の耐震対策	%	0(調査中)	H26	100	R1	100	R6
	学校支援ボランティア登録者数	人	427	H25	557	R1	500	R6

### 4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

**CHECK** **ACT**

進捗状況区分	評価	令和元年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	◎	<b>《市立小学校の耐震化》</b> 学校施設耐震化計画による小学校の耐震化は平成27年度をもって完了した。  <b>《市立中学校の耐震化》</b> 学校施設耐震化計画による中学校の耐震化は平成26年度をもって完了した。  <b>《非構造部材の耐震対策》</b> 国が指導する大規模空間(体育館やランチルームなど200㎡以上の空間を有する箇所等)の非構造部材耐震対策は、平成28年度をもって完了した。  <b>《学校支援ボランティア登録者数》</b> ボランティア登録者数は名簿の整理を行ったことから減少した。高齢化が進んでいるため、学校のニーズに応じたボランティアの確保が課題である。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

### 5. 今後の施策展開の考え方(令和2年～令和4年度までの主な取組)

**ACT**

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	児童生徒を事件や事故から守るため、スクールガード・リーダーによる巡回指導及び子ども安心パトロール車の運行を継続して実施するとともに、除雪活動や子どもたちを見守る地域ボランティア等の拡充を図る。
	2	老朽化が進む学校施設を適切に維持管理を行うとともに教育環境の改善を図るため、計画的にトイレの洋式化事業を進める。また学校施設の長寿命化計画を定め、中長期的な視点で改修等を行う。
	3	特別な支援が必要な子どものニーズに対応するため、学校園へのスクールサポーター(介護支援員)を継続配置するとともに、学校園及び保護者、関係機関が連携し、特別支援教育体制整備の推進を図る。
	4	ボランティア人材の発掘・育成・確保に重点を置きながら、より効果的、効率的なコーディネーターの配置等、多様化する学校ニーズに対応できる推進体制整備を図る。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	20,073千円	20,077千円	4千円	99.9 %						
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額					
	事	04 学校医委嘱事業						20,052千円	課	学校教育課		
細事	01 学校医委嘱事業											
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源								
目的	学校保健安全法に基づき、各学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置き、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図る。											
主要な事務・事業の概要	○報酬		20,050千円									
	・医師報酬											
	小学校	17人	6,087千円									
	中学校	6人	2,629千円									
	・歯科医報酬											
	小学校	17人	6,087千円									
	中学校	6人	2,629千円									
	・薬剤師報酬											
	小学校	17人	2,064千円									
	中学校	6人	554千円									
	○旅費											
	・費用弁償		23千円	成果・課題		学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、健康診断（内科・歯科等）、学校環境衛生検査はもとより、保健管理等に関する専門的指導を必要に応じて受けることができ、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図ることができた。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	4,963千円	5,125千円	162千円	96.8 %						
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額					
	事	05 学務経費						5,125千円	課	学校教育課		
細事	01 学務経費											
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源								
目的	学齢簿の管理、就学時健診、小中学校の枠を超えた取組及び特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりに取り組む。											
主要な事務・事業の概要	○学齢簿の管理（委託料）		311千円	○児童生徒・教職員健康診断（消耗品費、印刷製本費、施設使用料）		20千円						
	学齢簿関連システム保守料及びシステム改修料			○各種通知封筒印刷		40千円						
	○特別支援学級ふれあい交流会（消耗品費）		61千円	○職員旅費（第63回京都市府学校保健研究大会参加）		5千円						
	・小学校ふれあい交流会											
	小学校及び中学校が集まって交流											
	実施中学校区：全中学校区											
	・中学校ふれあい交流会											
	体育交流会 開催日 令和元年6月12日（水）場所：丹後中学校											
	参加校：全中学校											
	○人権教育研究会（消耗品費）		46千円									
	○就学時健康診断（医師謝金、消耗品費、費用弁償）		763千円									
	○負担金		3,717千円	成果・課題		○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健全で安全な教育環境の推進につながった。 ○特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりができた。						
	・日本スポーツ振興センター負担金		3,559千円									
	・京都府学校保健会負担金		44千円									
	・京都府学校保健主事会負担金		18千円									
	・京都府特別支援教育研究協議会負担金		10千円									
	・教育研究事業負担金		86千円									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	5,075千円	5,329千円	254千円	95.2%		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額		
	事	06 学校安全対策事業				5,329千円	課	学校教育課
	細事	01 学校安全対策事業	主な財源	府補	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金(2/3)	1,099千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	繰入金		ふるさと応援基金繰入金	2,000千円			
目的	保護者や地域の協力を得ながら安全で安心できる学校づくりを推進し、児童生徒を事件や事故から守る。		諸収入	市有自動車損害共済金	42千円			
主要な事務・事業の概要	○子ども安心パトロール車(にこにこカー)の運行・管理 3,270千円 各学校に20台、教育委員会事務局に1台を配置し、児童生徒の登下校時に教職員やPTA、地域の見守り隊が巡回し安全確保や犯罪被害防止に努めた。 ・維持管理費及び運行経費 燃料費(ガソリン代) 1,023千円 消耗品費・修繕料(車検、車両消耗品、事故車両修繕ほか) 1,168千円 手数料・保険料・公課費 1,079千円 配車一覧		○スクールガード・リーダー巡回・指導 警察官OBの5人をスクールガード・リーダーに委嘱し、小学校を中心に登下校時の巡回活動及び学校の安全指導を行った。 年間巡回活動等の実績:5人で323回 報償金・保険料(活動謝金、総合補償保険料) 1,693千円 ○学校の除雪活動 積雪時の通学の安全性を高めるため、ボランティアによる除雪活動体制づくりを支援した。 保険料(ボランティア活動保険)・修繕料(除雪機) 112千円					
	1	嶺山小、長岡小	8	いさなご小	15	嶺山中		
	2	大宮第一小	9	網野南小、吉野小	16	大宮南小		
	3	網野中	10	橋小	17	島津小		
	4	丹後中	11	宇川小	18	網野北小		
	5	大宮中	12	弥栄小	19	丹後小		
	6	高龍小	13	久美浜中	20	かぶと山小、久美浜小		
	7	教育委員会事務局	14	弥栄中	21	しんざん小		
	成果・課題	○各小中学校で、教職員やPTA、地域の見守り隊(ボランティア)等による地域ぐるみの見守り活動が展開されるなど、学校を支える地域の安全体制づくりを推進することで、児童、生徒の安全につながっている。 ○子ども安心パトロール車(にこにこカー)やスクールガード・リーダーによる登下校時の巡回の継続等により、更に安全体制の強化を図っていくことが必要である。 ○通学路の安全性をより高めるため、関係機関と連携し除雪体制を推進する必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	7,012千円	7,278千円	266千円	96.3%		
	目	01 学校管理費				(参考)当初予算額		
	事	04 児童教職員健康管理事業				8,356千円	課	学校教育課
	細事	01 児童教職員健康管理事業	主な財源					
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実							
目的	児童及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、児童及び教職員の健康の保持増進と小学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。							
主要な事務・事業の概要	○需用費(保健衛生消耗品、医薬材料ほか) 1,097千円		○使用料及び賃借料 834千円					
	○委託料 5,081千円		・自動車借上料(検診時医師送迎用) 44千円					
	・児童検診委託料 3,918千円		・機械器具借上料(AEDリース料・17校) 790千円					
	心臓検診委託料 1次 833人 (1・4年、経過観察者)							
	2次 99人							
	眼科検診委託料 2,456人							
	耳鼻科検診委託料 2,459人							
	尿検査委託料(春)1次 2,459人 2次 62人							
	尿検査委託料(秋)1次 2,464人 2次 64人							
	脊柱側湾症検診委託料 7人 (校医抽出者)							
・教職員健康診断委託料 981千円								
・教職員結核検診委託料 182千円								
成果・課題	各種健康診断を実施するなどし、児童及び教職員の健康を保持増進するとともに、学校の安全・安心な環境を整備することができた。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費	5,175千円	5,293千円	118千円	97.7%			
	目	01 学校管理費				(参考)当初予算額			
	事	04 生徒教職員健康管理事業				6,182千円			
	細事	01 生徒教職員健康管理事業							
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源							
目的	生徒及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講ずることにより、生徒及び教職員の健康の保持増進と中学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。								
主要な事務・事業の概要	○需用費（保健衛生消耗品、医薬材料ほか） 635千円 ○委託料 3,950千円 ・生徒検診委託料 3,185千円 心臓検診委託料 1次 471人（1年、経過観察者） 2次 67人 眼科検診委託料 1,336人 耳鼻科検診委託料 1,341人 尿検査委託料（春）1次 1,364人 2次 94人 尿検査委託料（秋）1次 1,352人 2次 107人 血液検査委託料 462人（2年、経過観察者） 腎臓側わん症検診委託料 15人（校医抽出者） ・教職員健康診断委託料 644千円 ・教職員結核検診委託料 121千円			○使用料及び賃借料 590千円 ・自動車借上料（検診時医師送迎用） 18千円 ・機械器具借上料（AEDリース料・6校） 572千円			成果・課題	各種健康診断を実施するなどし、生徒及び教職員の健康を保持増進するとともに、学校の安全・安心な環境を整備することができた。	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																														
	項	02 小学校費	96,312千円	96,313千円	1千円	99.9%																																
	目	01 学校管理費				(参考)当初予算額																																
	事	05 小学校通学対策事業				111,364千円																																
	細事	01 小学校スクールバス運行管理事業																																				
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源				使用料 市営バス乗車料 518千円 繰入金 ひるさと応援基金繰入金 30,000千円																																
目的	小学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた児童の安全な通学手段を確保する。																																					
主要な事務・事業の概要	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた児童の通学のためにスクールバスを運行した。 ○スクールバス運行管理委託料 96,285千円 ※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託したもの						成果・課題	○スクールバスの運行により、小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。																														
	<table border="1"> <tr> <td>いさなご小</td> <td>3台</td> <td>橋小</td> <td>1台</td> <td>弥栄小</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>しんざん小</td> <td>1台</td> <td>島津小</td> <td>1台</td> <td>久美浜小</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>大宮南小</td> <td>3台</td> <td>丹後小</td> <td>4台</td> <td>高龍小</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td>網野南小</td> <td>3台</td> <td>宇川小</td> <td>1台</td> <td>かふと山小</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">計</td> <td>29台</td> </tr> </table>			いさなご小	3台	橋小			1台	弥栄小	3台	しんざん小	1台	島津小	1台	久美浜小	1台	大宮南小	3台	丹後小	4台	高龍小	4台	網野南小	3台	宇川小	1台	かふと山小	4台	計					29台	○バス停維持管理経費 10千円 ・火災保険料、土地借上料（15.66㎡）		
いさなご小	3台	橋小	1台	弥栄小	3台																																	
しんざん小	1台	島津小	1台	久美浜小	1台																																	
大宮南小	3台	丹後小	4台	高龍小	4台																																	
網野南小	3台	宇川小	1台	かふと山小	4台																																	
計					29台																																	

予 算 科 目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	270千円	271千円	1千円	99.6%		
	目	01 学校管理費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事	05 小学校通学対策事業				269千円		
	細事	03 小学校通学支援事業		主な財源				
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実							
目的	遠距離通学をする児童を対象に、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○遠距離通学補助金		270千円					
	小学校名	対象児童数	補助金額					
	大宮南	8人	117千円					
	宇川	10人	153千円					
	計	18人	270千円					
成果・課題	遠距離通学をする児童を対象とした遠距離通学の支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。							

予 算 科 目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	71,569千円	71,603千円	34千円	99.9%		
	目	01 学校管理費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事	05 中学校通学対策事業				79,422千円		
	細事	01 中学校スクールバス運行管理事業		主な財源				
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実							
目的	中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒の安全な通学手段を確保する。		使用料 市営バス乗車料 1,422千円 繰入金 ひるさと応援基金繰入金 20,000千円					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた生徒の通学のためにスクールバスを運行した。		71,521千円					
	○スクールバス運行管理委託料		71,521千円					
	※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託したもの。							
	峰山中学校	1台						
	大宮中学校	(1台)						
網野中学校	3台							
丹後中学校	2台							
弥栄中学校	1台							
久美浜中学校	10台							
計	17台(18台)							
※大宮中の車両は、大宮南小スクールバスの大宮中生徒対象分								
○車両維持管理経費		1千円		成果・課題				
・需用費(消耗品費)								
○バス停・車庫維持管理経費		47千円		○スクールバスの運行により、中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。				
・燃料費、火災保険料								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費	199千円	223千円	24千円	89.2%			
	目	01 学校管理費				(参考)当初予算額			
	事	05 中学校通学対策事業				223千円	課	学校教育課	
	細事	03 中学校通学支援事業							
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源						
目的	自転車通学をする生徒を対象に、通学の状況に応じてヘルメット購入補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。								
主要な事務・事業の概要	○通学用ヘルメット購入補助金（補助率1/2）		199千円	成果・課題 自転車通学をする生徒を対象としたヘルメットの購入支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。					
	中学校名	対象生徒数	補助金額						
	峰山	101人	91千円						
	大宮	46人	41千円						
	網野	20人	18千円						
	丹後	8人	7千円						
	弥栄	41人	37千円						
	久美浜	5人	5千円						
	計	221人	199千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	856千円	907千円	51千円	94.3%		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額		
	事	08 学校再配置事業				1,064千円	課	学校教育課
	細事	02 学校再配置推進事業						
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	京丹後市学校再配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を設置し、学校再配置による新しい学校づくりに向けた取組を推進する。							
主要な事務・事業の概要	学校再配置事業を円滑に推進するため、学校づくり準備協議会を設置し、新しい学校の開校に向けた取組を進めるとともに、開校式の実施及び閉校に伴う地域（旧校区）での取組を支援した。		成果・課題 ○再配置後の校区の関係者で構成する「学校づくり準備協議会」を設置し、新たな学校づくりに向けて取り組み、計画通りの再配置を実現することができた。 ○地域の状況変化に応じた計画の見直しを継続するとともに、計画の検証・評価を行う必要がある。					
	令和元年度開校（4月） 丹後小学校							
	○式典関連経費	235千円						
	・旅費（校章・校歌作成者旅費）	191千円						
	・消耗品費（式典用装飾花、看板等）	41千円						
	・手数料（クリーニング代）	3千円						
	○開校準備経費	11千円						
	・需用費（事務用品等）	11千円						
	○閉校記念誌補助金（旧豊栄小）	610千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	179,624千円	179,625千円	1千円	99.9%	(参考)当初予算額	198,190千円				
	目	01 学校管理費										
	事	03 小学校施設整備事業										
細事	01 小学校施設改修事業	国補	学校施設環境改善交付金(1/3)					34,340千円				
		市債	小学校施設整備事業債(緊急防災・減災事業債)					4,700千円				
		市債	小学校施設整備事業債(合併特例債)					120,800千円				
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	<p>老朽化している学校施設が多い中、小学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。</p>											
主要な事務・事業の概要	○久美浜小学校プール改修等工事		155,438千円	○次年度実施に向けた業務委託		6,203千円						
	・委託料(工事監理業務・意図伝達業務)		3,795千円	・トイレ改修工事実施設計業務		5,443千円						
	・工事請負費		151,643千円	(網野南小・かぶと山小・久美浜小)								
	○網野南小学校プールろ過装置電動弁取替工事		1,353千円	・網野南小学校職員室等エアコン更新工事設計業務		760千円						
・委託料(工事設計業務)		198千円										
・工事請負費		1,155千円										
○宇川小学校屋内消火栓配管改修工事		4,050千円										
・委託料(工事設計業務)		378千円										
・工事請負費		3,672千円										
○その他工事請負費		12,580千円										
・かぶと山小学校普通教室床改修工事		1,290千円			<p>成果・課題</p> <p>○久美浜小学校プールの全面的な改修工事を行うなど、児童の安全・安心を最優先に優先順位を考慮して施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。</p> <p>○多くの学校施設が築30年~40年を経過しており学校施設の老朽化が進む中、文部科学省作成のインフラ長寿命化計画(行動計画)に則り、個々の学校施設の現状を把握し、長寿命化計画を作成する必要がある。</p>							
・大宮第一小学校4年教室エアコン改修工事		1,174千円										
・かぶと山小学校プール槽補修工事		1,298千円										
・大宮第一小学校給食調理室給湯器更新工事ほか12件		8,818千円										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	4,130千円	4,399千円	269千円	93.8%	(参考)当初予算額	4,399千円				
	目	01 学校管理費										
	事	03 小学校施設整備事業										
細事	01 小学校施設改修事業(繰越)	市債	小学校施設整備事業債(合併特例債)					3,800千円				
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	<p>学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。</p>											
主要な事務・事業の概要	<p>大宮南小学校プール内に設置されているブロック塀及びプール周辺部等の土留壁について、建築基準法に定められている塀の高さ、鉄筋補強、フェンスへの取替工など基準に適した構造へ改修工事を行った。</p>											
	○工事請負費		4,130千円									
・大宮南小学校プール改修工事		4,130千円										
			成果・課題		施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	28,372千円	28,526千円	154千円	99.4%	(参考)当初予算額	27,517千円	課	教育総務課		
	目	01 学校管理費										
	事	06 小学校施設管理事業										
	細事	01 小学校施設管理事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実											
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設等修繕費 11,621千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎、体育館、給食調理室、消防設備等の修繕</li> </ul> </li> <li>○各種検査、手数料 1,015千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査、消火器リサイクル料</li> <li>ごみ持込処理手数料、産業廃棄物処理手数料、漏水検査手数料</li> </ul> </li> <li>○建物火災保険料 983千円</li> <li>○施設保守管理等委託料（15業務） 12,557千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド監視業務、消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、電気設備保守管理、エレベーター保守点検、給食用リフト保守点検、学校警備、プール給排水設備保守点検、給食施設消毒等業務、PCB収集運搬等、プール循環点検、雑木伐採、貯水槽保守点検、グリストラップ処理、便槽高圧洗浄・消毒</li> </ul> </li> <li>○施設用地借上料 150千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いさなご小学校（学童農園用地ほか 751.22㎡）</li> </ul> </li> <li>○施設修繕のための原材料、消耗品 641千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンド用山土、砂、体育館用ドレッシングオイル、修繕用木材等</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○網野北小学校芝生化事業 851千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・芝生肥料、草刈機用燃料、芝刈機修繕、補植用芝生及び芝生用土購入</li> <li>芝生目土作業委託料</li> </ul> </li> <li>○備品購入費 554千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校施設消火器 178本（17校）</li> </ul> </li> </ul>									
	成果・課題			<ul style="list-style-type: none"> <li>○更新時期を迎えた消火器を順次更新するなど、施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。</li> <li>○老朽化した施設が多い中、良好な学習環境の確保に向け、今後も適切な維持管理を行う必要がある。</li> </ul>								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	9,724千円	9,922千円	198千円	98.0%	(参考)当初予算額	10,030千円	課	教育総務課		
	目	01 学校管理費										
	事	03 中学校施設整備事業										
	細事	01 中学校施設改修事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実											
目的	老朽化している学校施設が多い中、中学校施設における改修工事等を行い、生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○網野中学校屋外渡り廊下改修工事 2,689千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料（工事設計業務） 432千円</li> <li>・工事請負費 2,257千円</li> </ul> </li> <li>○久美浜中学校体育館窓開閉装置改修工事 1,425千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料（工事設計業務） 410千円</li> <li>・工事請負費 1,015千円</li> </ul> </li> <li>○その他工事請負費 5,610千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・久美浜中学校通級教室空調機器設置工事 497千円</li> <li>・大宮中学校貯水槽内改修工事 367千円</li> <li>・丹後中学校第2体育館屋根改修工事 864千円</li> <li>・網野中学校浄化槽調整プロワー取替工事 473千円</li> <li>・大宮中学校体育館バレー床金具修繕工事 583千円</li> <li>・大宮中学校体育館照明機器改修工事 495千円</li> <li>・大宮中学校フラッグポール設置工事 1,116千円</li> <li>・峰山中学校体育館放送設備改修工事ほか5件 1,215千円</li> </ul> </li> </ul>											
	成果・課題			<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の安全・安心を最優先に優先順位を考慮して施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。</li> <li>○多くの学校施設が築30年～40年を経過しており学校施設の老朽化が進む中、文部科学省作成のインフラ長寿命化計画（行動計画）に則り、個々の学校施設の現状を把握し、長寿命化計画を作成する必要がある。</li> </ul>								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	8,555千円	12,220千円	3,665千円	70.0%		
	目	01 学校管理費				(参考)当初予算額		
	事	03 中学校施設整備事業				12,220千円		
	課	教育総務課						
細事	01 中学校施設改修事業(繰越)		市債	中学校施設整備事業債(合併特別債)		3,400千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	学校施設における改修工事等を行い、生徒が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。							
主要な事務・事業の概要	<p>網野中学校の外周に設置されている建築基準外のブロック塀の撤去及びフェンス設置工事を実施した。また、老朽化により故障した管理棟の空調設備の改修を行った。</p> <p>○工事請負費 8,555千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・網野中学校外周塀等改修工事 3,719千円</li> <li>・網野中学校管理棟空調設備改修工事 4,836千円</li> </ul>							
	成果・課題	施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	10,330千円	10,425千円	95千円	99.0%		
	目	01 学校管理費				(参考)当初予算額		
	事	06 中学校施設管理事業				9,956千円		
	課	教育総務課						
細事	01 中学校施設管理事業		主な財源					
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実							
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。							
主要な事務・事業の概要	<p>○施設等修繕 3,380千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎、体育館、給食調理室、消防設備等の修繕</li> </ul> <p>○各種検査、手数料 137千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査、消火器リサイクル料等</li> </ul> <p>○建物火災保険料 550千円</p> <p>○施設保守管理等委託料(10業務) 4,238千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド監視業務、消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、電気設備保守管理、給食用リフト保守点検、学校警備、雑木伐採、給食施設消毒等業務、貯水槽保守点検、グリストラップ処理</li> </ul> <p>○施設用地借上料 1,460千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弥栄中学校(給食棟、テニスコート用地 4,922㎡)</li> </ul> <p>○施設修繕のための原材料、消耗品 295千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンド用山土、砂、体育館用ドレッシングオイル、修繕用木材等</li> </ul> <p>○備品購入費 270千円</p> <p>中学校施設消火器 88本(6校)</p>							
	成果・課題	<p>○更新時期を迎えた消火器を順次更新するなど、施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。</p> <p>○老朽化した施設が多い中、良好な学習環境の確保に向け、今後も適切な維持管理を行う必要がある。</p>						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	136,900千円	138,981千円	2,081千円	98.5%						
	目	01 学校管理費										
	事	02 小学校管理運営事業					(参考)当初予算額	141,701千円				
	細事	01 小学校管理運営事業	寄附金	ふるさと応援寄附金		100千円						
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。											
主要な事務・事業の概要	<p>学校運営に必要な維持管理等を行うとともに、教育環境を整えるための体制整備を実施した。</p> <p>○需用費 99,956千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、灯油ほか） 28,891千円</li> <li>・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書印刷ほか） 552千円</li> <li>・電気代 46,355千円</li> <li>・水道料 23,430千円</li> <li>・修繕費（印刷機等の修繕） 728千円</li> </ul> <p>○役務費 4,895千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話代、郵送料 3,570千円</li> <li>・手数料（ピアノ調律、ミシン調整ほか）、保険料 1,325千円</li> </ul> <p>○委託料 27,378千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プール水質検査委託料 201千円</li> <li>・作業員業務人材派遣委託料（11校、11人） 26,723千円</li> <li>・理科薬品廃棄処分、害虫駆除委託料 454千円</li> </ul>			<p>○使用料及び賃借料 434千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ受信料、ガス警報器使用料 256千円</li> <li>・印刷機借上料、コピー機借上料 178千円</li> </ul> <p>○備品購入費 3,649千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健器具、特別支援学級備品、ストーブほか 3,649千円 （内、ふるさと応援寄附金充当額 100千円）</li> </ul> <p>○負担金、補助及び交付金 588千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長会、教頭会、教務主任会ほか各種団体負担金 588千円</li> </ul>			<p>成果・課題</p> <p>○教育環境の整備や維持管理など、児童が安心して安全に学ぶことのできる学校づくりに取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施することができた。</p> <p>○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。</p>					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	932千円	982千円	50千円	94.9%						
	目	01 学校管理費										
	事	02 小学校管理運営事業					(参考)当初予算額	982千円				
	細事	02 小学校事務補助経費	主な財源									
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		目的	学校事務職員の複数配置を要する小学校に事務職員を配置し、学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。								
主要な事務・事業の概要	<p>複数配置校</p> <p>大宮第一小学校 事務補助 1人（1日4時間・週5日勤務）</p> <p>○臨時職員賃金 929千円</p> <p>○共済費（労災保険料、雇用保険料） 3千円</p>			<p>成果・課題</p> <p>○学校事務の点からサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行うことができた。</p> <p>○学校事務の更なる効率化・平準化を図るため、複数校による事務業務を共同で行う研究や取組を進めていく必要がある。</p>								

予 算 科 目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	59,585千円	61,124千円	1,539千円	97.4 %		
	目	01 学校管理費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事	02 中学校管理運営事業				63,184千円		
	細事	01 中学校管理運営事業	寄附金	ふるさと応援寄附金	100千円			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源						
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施する。							
主要な事務・事業の概要	<p>学校運営に必要な維持管理等を行うとともに、教育環境を整えるための体制整備を実施した。</p> <p>○需用費 43,997千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、灯油ほか） 13,868千円</li> <li>・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書ほか） 308千円</li> <li>・電気代 22,148千円</li> <li>・水道料 7,429千円</li> <li>・修繕費（印刷機等の修繕） 244千円</li> </ul> <p>○役務費 2,405千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話代、郵送料 1,660千円</li> <li>・手数料（ピアノ調律、クリーニング、ごみ処理ほか） 745千円</li> </ul> <p>○委託料 9,385千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科薬品廃棄処分 125千円</li> <li>・作業員業務人材派遣委託料（4校、5人） 9,260千円</li> </ul>		<p>○使用料及び賃借料 393千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ受信料、ガス警報器使用料 91千円</li> <li>・コピー機、印刷機借上料 302千円</li> </ul> <p>○備品購入費 2,377千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話機、ストーブ、特別支援学級用備品ほか 2,377千円 （内、ふるさと応援寄附金充当額 100千円）</li> </ul> <p>○負担金、補助金及び交付金 1,028千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長会、教頭会、教務主任会ほか各種団体負担金 1,028千円</li> </ul>					
	成果・課題			<p>○教育環境の整備や維持管理など、生徒が安心して安全に学ぶことのできる学校づくりに取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施することができた。</p> <p>○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。</p>				

予 算 科 目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	3,382千円	3,550千円	168千円	95.2 %		
	目	01 学校管理費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事	02 中学校管理運営事業				3,550千円		
	細事	02 中学校事務補助経費	主な財源					
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	目的	学校事務職員の複数配置を要する中学校に事務職員を配置し学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。					
主要な事務・事業の概要	<p>複数配置校</p> <p>大宮中学校 事務補助 1人（1日6時間・週5日勤務）</p> <p>再配置校</p> <p>久美浜中学校 事務補助 1人（1日6時間・週5日勤務）</p> <p>○臨時職員賃金 2,850千円</p> <p>○共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 532千円</p>							
	成果・課題			<p>○学校事務の点からサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行うことができた。</p> <p>○学校事務の更なる効率化・平準化を図るため、複数校による事務業務を共同で行う研究や取組を進めていく必要がある。</p>				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費						98.9%				
	目	04 学校給食費	34,755千円	35,113千円	358千円	(参考)当初予算額	39,447千円	課	学校教育課			
	事	02 網野給食センター管理運営事業										
細事	01 網野給食センター管理運営事業	市價	学校給食配送車整備事業費(過疎対策費)		4,800千円	市價	学校給食センター整備事業費(過疎対策費)		1,200千円			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	小学校4校(網野北・網野南・島津・橋)、網野中学校に栄養バランスの取れた給食を提供し、児童生徒の心身の健全な発達に寄与する。											
主要な事務・事業の概要	○臨時職員任用経費(調理補助員10人、事務補助員1人)		11,408千円	○浄化槽維持管理委託、浄化槽法定検査手数料		1,299千円						
	○給食調理及び施設等維持経費		9,711千円	○配送車運転委託		717千円						
	・消耗品費(厨房用消耗品ほか)		1,842千円	○検便検査、その他検査		504千円						
	・燃料費(ボイラー用灯油、ガス、配送車燃料)		3,156千円	○その他(旅費、保険料、電気設備保守管理委託ほか)		729千円						
・光熱水費(電気、水道代)		4,713千円										
○修繕料		1,993千円										
・厨房内調理機器修理		346千円										
・施設修理(浄化槽設備ほか)		1,153千円										
・車両点検、車検修理(配送車3台、軽トラック1台)		494千円										
○備品購入費		8,394千円										
・給食配送車1台		4,895千円										
・蒸気回転釜1台、ガス回転釜1台		1,819千円										
・給食用備品(配送コンテナ3台、蒸しカゴほか)		1,401千円										
・小型除雪機		279千円										
			成果・課題		○網野町域の小中学校の学校給食を効率的に調理し、栄養バランスの取れた安心・安全な給食を提供することができた。 ○安心・安全な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費						99.3%					
	目	04 学校給食費	132,384千円	133,305千円	921千円	(参考)当初予算額	134,092千円	課	学校教育課				
	事	04 小学校給食管理運営事業											
細事	01 小学校給食管理運営事業	市價	小学校給食調理機器類貸付料		4,500千円	市價	小学校給食備品整備事業費(過疎対策費)		1,000千円				
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源										
目的	栄養バランスの取れた給食を提供し、児童の心身の健全な発達に寄与する。												
主要な事務・事業の概要	小学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。				○備品購入		2,915千円						
	○臨時調理師(大宮第一小 7人)		6,521千円	コンベクションオープン(峰山小・かぶと山小:各1台)									
	・共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料)		415千円	消毒保管庫(かぶと山小:1台)									
	・賃金		6,106千円	(冷凍)冷蔵庫(長岡小・丹後小:各1台)									
○給食調理		13,813千円	牛乳用保冷庫(宇川小・久美浜小・かぶと山小:各1台)										
・消耗品費		1,038千円	保存食用冷凍庫(峰山小・大宮南小:各1台)ほか										
・燃料費(ガス)		10,824千円	○協議会等負担金		26千円								
・修繕料(調理機器)		1,558千円	・全国学校栄養士協議会負担金		12千円								
・手数料(包丁研磨・調理備品移設)		393千円	・京都府学校給食研究会負担金		9千円								
○給食調理業務委託		109,109千円	・京都府学校栄養士協議会負担金		5千円								
・委託料(12校)			成果・課題		○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。 ○民間の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安心・安全な給食を提供する必要がある。 ○安心・安全な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。								
峰山小、いさなご小、しんざん小、長岡小、大宮南小、丹後小													
宇川小、吉野小、弥栄小、久美浜小、高龍小、かぶと山小													

所属科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	39,231千円	39,853千円	622千円	98.4%		
	目	04 学校給食費				(参考)当初予算額		
	事	05 中学校給食管理運営事業				40,995千円		
	課	学校教育課						
細事	01 中学校給食管理運営事業		諸収入	中学校給食調理機器類貸付料	1,104千円			
			市債	中学校給食備品整備事業債(過疎対策債)	400千円			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	栄養バランスの取れた給食を提供し、生徒の心身の健全な発達に寄与する。							
主要な事務・事業の概要	<p>中学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理を行った。</p> <p>○臨時調理師(峰山中、大宮中、久美浜中 計10人) 12,259千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 1,592千円</li> <li>・賃金 10,667千円</li> </ul> <p>○給食調理 7,598千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 1,258千円</li> <li>・燃料費(ガス) 5,130千円</li> <li>・修繕料(調理機器) 895千円</li> <li>・手数料(包丁研磨、調理備品移設) 315千円</li> </ul> <p>○給食調理業務委託 18,423千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料(2校) 丹後中、弥栄中</li> </ul>							
				成果・課題	<p>○備品購入 905千円</p> <p>食器消毒保管庫、業務用冷蔵庫(峰山中:各1台) 保存食用冷凍庫、三槽シンク(久美浜中:各1台)</p> <p>○協議会等負担金 46千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学校栄養士協議会負担金 30千円</li> <li>・京都府学校給食研究会負担金 3千円</li> <li>・京都府学校栄養士協議会負担金 13千円</li> </ul> <p>○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。</p> <p>○民間の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安心・安全な給食を提供する必要がある。</p> <p>○安心・安全な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。</p>			

所属科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	1,139千円	1,180千円	41千円	96.5%		
	目	04 学校給食費				(参考)当初予算額		
	事	50 学校給食一般経費				1,783千円		
	課	学校教育課						
細事	01 学校給食一般経費		主な財源					
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実							
目的	学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、献立研究会の活発な活動を促し、衛生管理や栄養面での充実を図る。							
主要な事務・事業の概要	<p>○衛生管理の徹底 1,124千円</p> <p>学校給食衛生管理基準に基づく給食調理施設の衛生管理を徹底するため、各種検査を実施するとともに、職員の衛生管理の研修及び衛生対策関連の消耗品の種類や内容を統一しての一括購入・供給を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生用消耗品購入 841千円</li> <li>・給食調理員等検便検査 188千円</li> <li>・給食用食材細菌検査等 18千円</li> <li>・職員の衛生管理研修 77千円</li> </ul> <p>京都府学校給食研究協議大会への参加:7人 他市視察:2人</p> <p>○栄養士負担金 15千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府栄養士会負担金</li> </ul>							
				成果・課題	<p>○学校給食全般における衛生管理の徹底及び給食献立の研究を進めることで、衛生管理と栄養面での充実につながった。</p> <p>○給食調理施設の衛生管理はもとより、学校関係者や給食従事者に対する安全教育を徹底するとともに、各種検査の充実を図り、より安心・安全な学校給食を実施していく必要がある。</p>			

予算科目	款	11 災害復旧費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	03 文教施設災害復旧費	211千円	2,223千円	2,012千円	9.4%							
	目	01 公立学校施設災害復旧費				(参考)当初予算額	課	教育総務課					
	事	01 公立学校施設災害復旧事業				0千円							
	細事	01 公立学校施設災害復旧事業											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源											
目的	令和元年10月台風19号の暴風により被災した学校施設の復旧を図る。												
主要な事務・事業の概要	○委託料 211千円 ・網野北小学校プール附属棟災害復旧工事設計業務												
	<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>212千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.5%</td> </tr> </table> ■令和2年度への繰越事業 2,011千円 ・網野北小学校プール附属棟災害復旧事業 令和2年6月完成		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	212千円		実質的な予算執行率	99.5%					
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	212千円											
	実質的な予算執行率	99.5%											
成果・課題	○令和元年10月台風19号の暴風により、網野北小学校プール附属棟の屋根が剥落する災害が発生したため、復旧工事に向けた設計業務を実施した。 ○引き続き復旧事業を実施することにより、早期に学校施設の回復を図る必要がある。												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																							
	項	01 教育総務費	3,837千円	3,875千円	38千円	99.0%																									
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課																							
	事	12 教育のまちづくり推進事業				3,875千円																									
	細事	01 地域学校協働本部事業																													
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源				府補	地域で支える学校教育推進事業費補助金(2/3)	1,951千円																							
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。																														
主要な事務・事業の概要	地域全体で学校教育を支援するため、さまざまな特技や技能を持った地域の人材を「学校支援ボランティア」として登録し、全てのこども園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などの活動を行った。																														
	○地域コーディネーター謝金(6人分) 3,048千円 ○地域コーディネーター旅費 291千円 ○消耗品、印刷製本費 497千円 ○有料道路通行料 1千円																														
<活動概要> ○実施期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日 ○実施場所 市内全小学校(17校)、中学校(6校)、こども園(6園) ○地域コーディネーター 6人(配置先:6中学校) ○ボランティア登録者数 557人(令和元年度新規登録者数16人) ○広報紙の発行 2回(ボランティア募集、活動報告)																															
※ボランティアの登録状況(令和2年3月末現在) (単位:人)																															
<table border="1"> <tr> <td>町域</td> <td>峰山</td> <td>大宮</td> <td>網野</td> <td>丹後</td> <td>弥栄</td> <td>久美浜</td> <td>市外</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>114</td> <td>91</td> <td>144</td> <td>72</td> <td>65</td> <td>59</td> <td>12</td> <td>557</td> </tr> </table>		町域	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	市外	合計	人数	114	91	144	72	65	59	12	557												
町域	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	市外	合計																							
人数	114	91	144	72	65	59	12	557																							
成果・課題	○ボランティア活動の内容等 ・学習支援(教科指導補助、「総合的な学習」講師補助、部活動指導支援等) ・環境支援(学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等)																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 域</th> <th>活動日数</th> <th>活動人数(延べ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中学校区</td> <td>1,191日</td> <td>3,509人</td> </tr> <tr> <td>大宮中学校区</td> <td>386日</td> <td>487人</td> </tr> <tr> <td>網野中学校区</td> <td>597日</td> <td>4,120人</td> </tr> <tr> <td>丹後中学校区</td> <td>193日</td> <td>454人</td> </tr> <tr> <td>弥栄中学校区</td> <td>279日</td> <td>557人</td> </tr> <tr> <td>久美浜中学校区</td> <td>501日</td> <td>5,400人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3,147日</td> <td>14,527人</td> </tr> </tbody> </table>		区 域	活動日数	活動人数(延べ)	峰山中学校区	1,191日	3,509人	大宮中学校区	386日	487人	網野中学校区	597日	4,120人	丹後中学校区	193日	454人	弥栄中学校区	279日	557人	久美浜中学校区	501日	5,400人	合 計	3,147日	14,527人						
区 域	活動日数	活動人数(延べ)																													
峰山中学校区	1,191日	3,509人																													
大宮中学校区	386日	487人																													
網野中学校区	597日	4,120人																													
丹後中学校区	193日	454人																													
弥栄中学校区	279日	557人																													
久美浜中学校区	501日	5,400人																													
合 計	3,147日	14,527人																													
○地域住民の経験や特技を学校の教育活動等に活かすことで、地域による学校教育支援はもとより、多世代交流に繋がり、市民の生きがい作りになっている。 ○地域による学校の「支援」から、地域と学校のパートナーシップに基づく双方向の「連携・協働」体制に発展させる必要がある。 ○学校活動の多様化に伴うニーズを的確に把握し、地域特性を活かした人材(ボランティア登録者)をより多く確保していく必要がある。																															

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	26千円	98千円	72千円	(参考)当初予算額	26.5%					
	目	03 保育事業費										
	事	04 保育支援事業										
	細事	02 日用品費等援助事業	国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	8千円							
		府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	8千円								
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源									
目的	低所得世帯を対象に日用品、文房具等の購入費などの実費徴収額について、費用の一部を助成し、対象家庭の経済的負担を軽減する。											
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○扶助費(日用品費等援助費) 26千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給児童数 2人(2世帯) <ul style="list-style-type: none"> <li>5歳児(1号認定児)1人、5歳児(2号認定児)1人</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・事業費 <ul style="list-style-type: none"> <li>給食費 3,600円 × 6か月 × 1人 = 21,600円</li> <li>教材費・行事費等 2人分 4,370円</li> <li>計 25,970円</li> </ul> </li> </ul>											
			成果・課題								低所得世帯の給食費、教材費、行事への参加に要する費用等の一部を助成することで、対象家庭の経済的負担を軽減することに寄与した。	

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	2,990千円	3,108千円	118千円	(参考)当初予算額	96.2%					
	目	01 児童福祉総務費										
	事	50 児童福祉総務一般経費										
	細事	01 児童福祉総務一般経費	府補	子ども・子育て支援事業費府補助金(10/10)	19千円							
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源									
目的	児童福祉業務を円滑に遂行するために必要な一般経費											
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報酬 36千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・京丹後市いじめ問題調査委員会委員報酬(5人・1回)</li> </ul> </li> <li>○旅費 86千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育・保育無償化意見交換会ほか担当者会議旅費 68千円</li> <li>・京丹後市いじめ問題調査委員会委員費用弁償 18千円</li> </ul> </li> <li>○需用費 561千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公用車燃料代(3台)及び車検(2台)費用等</li> </ul> </li> <li>○役務費 136千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・車検費用、自動車損害保険料等</li> </ul> </li> <li>○使用料及び賃借料 38千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・有料道路通行料</li> </ul> </li> <li>○備品購入費 49千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども未来課執務室シュレッダー(1台)</li> </ul> </li> <li>○償還金利息及び割引料 2,074千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・過年度子ども・子育て支援交付金国庫返還金 2,059千円</li> <li>・過年度子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費国庫返還金 15千円</li> </ul> </li> </ul>											
			成果・課題								支出内容を精査しながら、児童福祉業務を適切に遂行することができた。	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部 課	教育委員会事務局 教育総務課
	項	01 教育総務費	3,984千円	4,080千円	96千円	(参考)当初予算額 4,080千円	97.6%					
	目	01 教育委員会費										
	事	50 教育委員会一般経費										
	細事	01 教育委員会一般経費										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実											
目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会を運営する。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	<p>教育委員の報酬、会議参集や研修費用及び丹後地方教育委員会連合会負担金を支出した。教育委員会会議は、定例会12回、臨時会9回と協議会5回を開催した。また、各種研修や先進地視察・市内学校視察等の活動を行った。</p> <p>○報酬 3,456千円 ・教育委員の報酬(4人)</p> <p>○旅費等 170千円 ・近畿市町村教育委員会研修大会参加に要する経費 ・先進地視察研修に要する経費(大阪府茨木市教育委員会ほか) ※視察テーマ:学力の向上について ・各種研修、会議出席等市内用務出席に要する経費 ・ガソリン代、有料道路通行料、駐車場使用料</p> <p>○負担金 358千円 ・丹後地方教育委員会連合会負担金</p>											
	成果・課題	<p>○各種研修会への参加や管内・管外の視察を実施するなど、積極的な活動を行うことにより幅広い識見を得ることができた。 ○課題解決に向け、地域の意向や教育現場等の状況を把握し、教育施策や教育委員会の意思決定に反映させるため、管内視察等の充実を図る必要がある。</p>										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部 課	教育委員会事務局 教育総務課
	項	01 教育総務費	7,010千円	7,681千円	671千円	(参考)当初予算額 8,313千円	91.2%					
	目	02 事務局費										
	事	50 事務局一般経費										
	細事	01 事務局一般経費										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実											
目的	教育委員会事務局の円滑な運営及び公用車の適正な維持管理を行う。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	<p>○事務局運営に係る経費 4,418千円 ・臨時職員及び人材派遣職員経費 3,013千円 (公用車管理員、育休等代替、事務補助 各1人) ・教育委員会活動点検評価謝金(2人) 40千円 ・各種協議会等出張旅費(教育長、職員等) 323千円 ・教育委員会交際費 10千円 ・激励金 500千円 (スポーツ等の国際大会・全国大会に出場する選手を激励カヌーほか10競技) ・書籍、消耗品費ほか 532千円</p> <p>○教育振興計画中間見直しに係る経費 439千円 ・印刷製本費(計画冊子300部及び概要版21,000部)</p> <p>○公用車の維持管理経費 2,013千円 ・公用車6台(うち車検2台)の燃料費、保険料、車検等経費</p>		<p>○各協議会、団体への負担金 140千円 全国都市教育長協議会負担金、近畿都市教育長協議会負担金、定時制通信教育振興会負担金、安全運転管理者講習会負担金等</p>									
	成果・課題	<p>○教育委員会事務局の運営について、経費削減に努めながら円滑な執行ができた。 ○平成30年度から2か年かけて教育振興計画の中間見直しを行い、後期計画として京丹後市教育振興計画(令和2年度改定版)を策定し、併せて概要版を全戸配布することで、周知することができた。</p>										

外算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																	
	項	01 教育総務費							4,752千円	4,777千円	25千円	99.4 %													
	目	02 事務局費																							
	事	14 学校跡施設管理事業											(参考)当初予算額												
細事	01 学校跡施設管理事業	3,370千円	課	教育総務課																					
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源		財産収入 土地建物貸付収入	1,540千円																				
目的	学校再配置により閉校となった学校施設の維持管理を行う。	財産収入 学校教育施設整備基金利子収入			1千円																				
主要な事務・事業の概要	○閉校施設修繕料 (7施設) 1,638千円		○積立金 1,541千円																						
	消防設備、貯水槽、漏水等の修繕を行い、施設の適正管理を図った。 修繕施設：旧橋小学校・旧宇川中学校・旧海部小学校・旧湊小学校 旧大宮第三小学校・旧豊栄小学校・旧黒部小学校		学校教育施設整備基金積立金 建物賃貸借料を基に国が算出した国庫納付金相当額以上を積み立てる																						
	○維持管理経費 598千円 貯水槽法定検査手数料 (容量10m <sup>3</sup> を超える貯水槽2施設)、建物火災保険料 廃家電処理手数料、貯水槽保守点検、消火器リサイクル手数料等		・旧大宮第三小学校分 214千円 ・旧三津小学校分 1,326千円 ・基金利子分 1千円		(単位：千円)																				
	○工事請負費 748千円 学校跡施設 (旧豊栄小学校) 高圧気中開閉器取替工事		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">平成30年度末 現在高</th> <th colspan="3">令和元年度中増減額</th> <th rowspan="2">令和元年度末 現在高</th> </tr> <tr> <th>繰入金</th> <th>運用利子</th> <th>積立金</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>①-②+③+④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,178</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1,540</td> <td>3,719</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度末 現在高	令和元年度中増減額			令和元年度末 現在高	繰入金	運用利子	積立金	①	②	③	④	①-②+③+④	2,178	0	1	1,540	3,719			
平成30年度末 現在高	令和元年度中増減額			令和元年度末 現在高																					
	繰入金	運用利子	積立金																						
①	②	③	④	①-②+③+④																					
2,178	0	1	1,540	3,719																					
○備品購入費 227千円 学校跡施設消火器 74本 (8施設)		成果・課題 ○更新時期を迎えた消火器を順次更新するなど、学校跡施設を適切に管理することができた。 ○旧海部小学校の一部を京都府教育委員会 (京都府立久美浜高等学校) へ無償貸与し、学校跡施設の有効活用を図った。 ○利活用が進まない施設については、施設の耐震性及び老朽化の状況等を考慮し、解体も含めて検討する必要がある。																							

## 京丹後市教育振興計画

### 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	小坂 貴寛
生涯学習課	引野 雅文
子ども未来課	服部 智昭

重点目標	4 豊かな人間性・社会性を育みます
基本の方針	学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切に育む豊かな人間性・社会性を育みます。 また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。

#### 1. 施策の方向性

#### PLAN

1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成	<p>①小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。</p> <p>②生命を大切にすることや他人を尊重する心などを育むとともに、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。</p> <p>③地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。</p> <p>④各中学校区において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取り組みを協働して進めます。</p> <p>⑤情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じて具体的に指導するとともに、専門家や学校支援ボランティア等と連携し、系統のかつ一貫性のある指導体制を整備します。</p>
2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実	<p>①子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や内面理解の充実を図ります。</p> <p>②学校園の状況に応じてスクールサポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。</p> <p>③いじめの防止等に関する基本的な方針を基に、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し対策の総合的な実施を一層推進します。</p> <p>④不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰を目指すため、教育支援センター「麦わら」の相談支援機能を高めます。</p>
3. 家庭・地域の教育力の向上	<p>①各中学校区の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行うしくみづくりを進めます。</p> <p>②家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切に育む気持ちを養う最も重要な役割を担うため、就学前から青年期までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。</p> <p>③子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、すべての町域における家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。</p> <p>④子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動を充実します。</p> <p>⑤地域における子どもたちの活動拠点を確保し、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行う地域子ども教室の拡充を進めます。</p> <p>⑥青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。</p>
4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成	<p>①子どもが生涯にわたって芸術や自然を愛する心や豊かな感性を育むための体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。</p> <p>②学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取り組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。</p>

#### 【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市いじめ防止等基本方針	国、府、学校、地域社会、家庭及びその他の関係者が連携のもと、社会総がかりでいじめの問題の克服に向けて取り組むとともに、いじめ防止対策推進法第12条の規定に基づき、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進するために策定	平成26年6月	計画期間の定めなし	策定から3年経過を目途に見直し(平成30年度見直し)

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力をすべての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

2. 主な取組と構成事務事業一覧		PLAN	DO	※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照	CHECK	ACT
1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。</p> <p>② 生命を大切にす心や他人を尊重する心などを育むとともに、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。</p> <p>③ 地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。</p> <p>④ 各中学校区において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取り組みを協働して進めます。</p> <p>⑤ 情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じて具体的に指導するとともに、専門家や学校支援ボランティア等と連携し、系統的かつ一貫性のある指導体制を整備します。</p>						
1	小学校教育推進活動実践事業	学校教育課	2,063	1,667	1,777	現状維持
地域社会における仕事や文化の体験活動、総合的な学習活動等を実践し、豊かな人間性の育成を図る。						
2	中学校教育推進活動実践事業	学校教育課	1,082	1,230	1,357	現状維持
国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。						
2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や、内面理解の充実を図ります。</p> <p>② 学校園の状況に応じてスクールサポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。</p> <p>③ いじめの防止等に関する基本的な方針を基に、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し対策の総合的な実施を一層推進します。</p> <p>④ 不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰を目指すため、教育支援センター「麦わら」の相談支援機能を高めます。</p>						
3	いじめ防止啓発推進事業	学校教育課	158	199	189	現状維持
「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。						
4	いじめ防止対策等運営事業	学校教育課	227	285	384	現状維持
いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。						
5	指導主事設置事業	学校教育課	9,934	10,031	12,299	現状維持
非常勤指導主事を配置し、学校教育及び就学前教育の充実を図るとともに、円滑な学校経営を推進する。						
6	就学支援・教育相談事業	学校教育課	510	247	237	現状維持
児童生徒の不登校など学校不適応の状況を、発達検査などにより把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるように支援する。						
7	教育支援センター管理運営事業	学校教育課	8,005	7,794	10,580	現状維持
不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活への復帰等の社会的自立を支援する。						
8	小学校スクールサポーター等設置事業	学校教育課	41,902	36,966	58,390	現状維持
スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。						
9	中学校スクールサポーター等設置事業	学校教育課	32,243	28,007	38,982	現状維持
スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。						
3. 家庭・地域の教育力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 各中学校区の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行うしくみづくりを進めます。</p> <p>② 家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切にす気持ちなどを養う最も重要な役割を担うため、就学前から青年期までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。</p> <p>③ 子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、すべての町域における家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。</p> <p>④ 子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動を充実します。</p> <p>⑤ 地域における子どもたちの活動拠点を確保し、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行う地域子ども教室の拡充を進めます。</p> <p>⑥ 青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。</p>						

10	家庭こども相談室事業	子ども未来課	1,318	289	294	現状維持
家庭児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。						
11	家庭教育事業	生涯学習課	1,841	1,574	1,860	現状維持
発達段階に応じた学習及び交流機会を提供するとともに、PTA活動を支援することによって、全ての教育の出発点であり、子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。						
12	放課後児童健全育成事業	子ども未来課	163,785	177,977	317,477	拡大
保護者の就労等により放課後や長期休業期の昼間に家庭保育を受けることができない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。						
13	子ども放課後対策推進事業	子ども未来課	891	874	780	現状維持
放課後に小学校の余裕教室を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。						
4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 子どもが生涯にわたって芸術や自然を愛する心や豊かな感性を育むための体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。						
② 学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取り組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。						
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業			決算額(単位:千円)			事務の改善
事務事業名称・事業内容(実績)			H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性
14	放課後子ども総合プラン事業	子ども未来課	0	0	-	統合(整理)
国の「放課後子ども総合プラン」に基づき実施する、放課後子ども教室の運営方法を検討するため運営委員会は、任期満了に伴い、必要な審議等を子ども未来まちづくり審議会にて行うこととした。						
計			263,959	267,140	444,606	

### 3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	<p>学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切にする豊かな人間性・社会性を育みます。</p> <p>また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。</p>							
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時	実績値(現状)		目標値		
			年度	年度	年度	年度		
	不登校児童の発生率<小学校>	—	5人/0.16%	H25	0.32	R1	減少させる	R6
	不登校生徒の発生率<中学校>	—	47人/2.49%	H25	3.87	R1	減少させる	R6
	いじめの認知件数/発生率<小学校>	—	386件/12.7%	H25	420件 17.0%	R1	減少させる	R6
	いじめの認知件数/発生率<中学校>	—	189件/10.2%	H25	40件 2.8%	R1	減少させる	R6
	認知されたいじめの年度内解消率<小学校>	—	357件/92.5%	H25	72.0 (いじめの解消要件が定義されたため、令和元年度第2回調査の追跡調査結果を記載)	R1	100%	R6
	認知されたいじめの年度内解消率<中学校>	—	181件/95.8%	H25	98.0 (いじめの解消要件が定義されたため、令和元年度第2回調査の追跡調査結果を記載)	R1	100%	R6
いじめはいけないことだという意識がある児童の割合<小学校>	%	97.0 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙小6	H25	98.9	R1	増加させる	R6	
いじめはいけないことだという意識がある生徒の割合<中学校>	%	90.9 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙中3	H25	97.9	R1	増加させる	R6	
学校のきまりや規則を守る意識がある児童の割合<小学校>	%	93.8 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙小6	H25	94.9	R1	増加させる	R6	

	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		
主な目標指標	学校のきまりや規則を守る意識がある生徒の割合<中学校>	%	90.8 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙中3	H25	97.2	R1	増加させる	R6
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童の割合<小学校>	%	94.4 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙小6	H25	94.6 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力テスト質問項目による)小4	R1	増加させる	R6
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う生徒の割合<中学校>	%	95.2 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙中3	H25	98.2 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力テスト質問項目による)中2	R1	増加させる	R6
	人の役に立つ人間になりたいと思う児童の割合<小学校>	%	94.0 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙小6	H25	96.1	R1	増加させる	R6
	人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合<中学校>	%	93.2 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙中3	H25	96.5	R1	増加させる	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

**CHECK** **ACT**

進捗状況区分	評価	令和元年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>《不登校児童生徒の出現率》 不登校児童生徒の出現率は、小中一貫教育の推進による各校園での未然防止を重点とした取り組みや確実な情報の共有等によって、不登校解消に一定の成果は上がっているものの、不登校の出現率が増加傾向にある。特に中学校では、前年度比0.75%の増加となっており、出現率を減少させるための効果的な未然防止の取組強化が更に必要である。</p> <p>《いじめの認知件数/認知率》 いじめの認知率は、小学生で2.1%減少し、中学校はほぼ横ばいであった。いじめを積極的に認知し指導しているものと捉え、引き続き、些細な兆候も見逃さない組織的な対応を行うとともに、認知件数・認知率のみにとらわれず、より丁寧な指導を継続していく必要がある。</p> <p>《認知されたいじめの年度内解消率》 令和元年度第2回いじめ調査の認知事象に基づく追跡調査結果では、小学校は新型コロナウイルス感染症の影響により聞き取り調査が実施できなかった未解消数値であり、中学校で2%が未解消であり、解消要件を踏まえ児童生徒に寄り添った指導を継続している。今後も、各校のいじめ防止基本方針に基づき、実態把握や情報共有、組織的な対応を徹底し丁寧な指導を行うとともに、関係機関と連携した体制強化を図っていく必要がある。</p> <p>《いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合》 いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合は、年間3回のいじめ調査や追跡調査、児童生徒への丁寧な指導により、小学校ではほぼ横ばい、中学校では増加し小中学校ともに高い水準を維持している。今後も児童生徒の豊かな心を育成するため、道徳科をはじめ、学校の教育活動全体を通じた取組みの充実を図る必要がある。</p> <p>《学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合》 学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合は、小中学校ともに増加した。各校園の丁寧な指導及び小中一貫教育による一貫性のある指導等によって、規範意識は確実に高まっている。引き続き、小学校低学年からの規範意識の醸成等による系統的な指導を進めていく必要がある。</p> <p>《人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合》 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小学生では増加し、中学生ではほぼ横ばいで、小中学生ともに高い水準で推移している。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、人の気持ちを理解して行動したり、発言したりすることの重要性が確実に身に付いてきている。今後も個別の配慮児童生徒への丁寧な指導が必要である。</p> <p>《人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合》 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小中学校ともにほぼ横ばいであるが高い水準で推移している。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、社会貢献等への意識が確実に身に付いてきている。今後更に高めていくため、ボランティア活動など体験学習等の充実を図る必要がある。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
×		
大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和2年～令和4年度での主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	子どもたちの自尊感情を高め、豊かな人間性・社会性を育むため、保幼小中一貫教育による交流学习や児童会・生徒会活動などの集団活動を充実させるとともに、道徳科をはじめキャリア教育等学校の教育活動全体を通じた系統的で一貫性のある指導の更なる充実を図る。
	2	いじめや不登校など、児童生徒の多様な課題に対応するため、臨床心理士による教育相談体制を拡充するとともに、教育支援センターの相談支援機能を更に高めるなど、個の課題やニーズに応じたきめ細かな相談支援体制の整備・強化を図る。
	3	地域の子ども教室では、体験活動だけでなく、教室間での情報交流についても支援しながら教室活動の維持、拡充に努める。青少年健全育成会では、各地域ごとに子どもの体験活動を実施するほか、あいさつ運動や夏休みパトロールなどで地域の子どもの見守り活動を継続する。また平成28年度からスタートした「放課後子ども教室」事業は、安定的運営を目指す。
	4	子どもたちの芸術や自然を愛する心豊かな感性を育むため、教育活動等における文化体験や芸術鑑賞など、国や府の様々な事業や学校支援ボランティア等を活用し、伝統文化や芸術等に親しむ機会を充実させるとともに、学校図書の充足率向上を図る。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	1,667千円	1,708千円	41千円	97.5%	(参考)当初予算額					
	目	02 教育振興費						1,934千円				
	事	04 小学校教育推進事業										
	細事	02 小学校教育推進活動実践事業	府補	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金(2/3)		378千円						
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	地域社会における仕事や文化の体験活動、総合的な学習活動等を実践し、豊かな人間性の育成を図る。											
主要な事務・事業の概要	○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動(講師謝金、消耗品費等) 1,197千円 ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業(府補助事業:全校で実施) 574千円 ・総合的な学習活動推進事業(市単独事業:全校で実施) 623千円  ○教育研究事業負担金 146千円 京丹後市小学校教育研究会 小学校教育に関する研究を推進し、小学校教育の充実・発展と教職員の資質の向上を図るため、各教科の研究、研修会等を実施。  ○修学旅行引率補助金 324千円 小学校17校 引率教員68人											
	成果・課題	○地域社会における仕事や文化の体験活動を通して、キャリア教育を推進するとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。 ○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	1,230千円	1,361千円	131千円	90.3%	(参考)当初予算額					
	目	02 教育振興費						1,161千円				
	事	04 中学校教育推進事業										
	細事	02 中学校教育推進活動実践事業	府補	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金(2/3)		250千円						
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。											
主要な事務・事業の概要	○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動(消耗品費等) 473千円 ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業(府補助事業:全校で実施) 315千円 ・総合的な学習活動推進事業(市単独事業:全校で実施) 158千円  ○和装教育推進事業(講師謝金、クリーニング手数料等) 224千円 ・着付け体験学習(金中学校) 受講生徒:460人  ○教育実践研究指定事業(消耗品費、バス運行委託料等) 200千円 ・未来の担い手育成プログラム研究校 実施校:弥栄中学校 実施年度:令和元年度~3年度(3か年)											
	成果・課題	○教育研究事業負担金 83千円 京丹後市中学校教育研究会 中学校教育に関する研究を推進し、教職員の資質の向上と中学校教育の推進を図るため、各教科の研究、研究集録・指導案の作成を実施。		○修学旅行引率補助金 250千円 中学校6校 引率教員48人  ○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図るとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。 ○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	01 教育総務費				199千円		266千円	67千円	74.8%	課	学校教育課	
	目	02 事務局費								01 いじめ防止啓発推進事業			266千円
	事	13 いじめ防止推進事業											
	細事												
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源										
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。												
主要な事務・事業の概要	<p>○いじめ防止講演会（講師謝金） 参加者：66人 75千円 開催日：令和元年11月14日（木） 講師：NPO法人ストップいじめ！ナビ 副代表理事 須永祐慈 氏 会場：アグリセンター大宮</p> <p>○いじめ防止啓発グッズ作成（消耗品費、印刷製本費） 96千円 いじめ防止啓発用ポケットティッシュ 街頭啓発用 10,000個 街頭啓発 実施日：令和元年11月6日（水） 場所：ショッピングセンターマイン いじめ防止啓発PRカードシール 小学新1年生用 450枚</p> <p>○いじめ相談専用電話設置（通信運搬費） 28千円 フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料 相談受付：24時間対応 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士 ※いじめ相談件数：0件</p>		<p>○インターネットモラル研修会 参加者：34人 開催日：令和元年8月9日（金） 会場：大宮庁舎 講師：ライン株式会社 オフィシャルインストラクター 石田浩平 氏</p>										
			成果・課題		<p>○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、広く市民にいじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を促すことができた。 ○スマートフォン等を利用したSNSなど、インターネットを介した誹謗中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る必要がある。</p>								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	01 教育総務費				285千円		364千円	79千円	78.2%	課	学校教育課	
	目	02 事務局費								02 いじめ防止対策等運営事業			389千円
	事	13 いじめ防止推進事業											
	細事												
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源										
目的	いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。												
主要な事務・事業の概要	<p>○いじめ問題対策連絡会議経費（委員数：21人） 18千円 保育所、こども園及び小中学校におけるいじめの防止対策や早期発見、いじめへの対処等に関する協議を行うため、「いじめ問題対策連絡会議」を設置し、教育、福祉、医療、保健、警察及び司法等の関係機関との連携を図った。 開催日：令和元年5月30日（木） 会場：京丹後市役所峰山庁舎 ・報償費（委員謝金） 16千円 ・旅費（費用弁償） 2千円</p>		<p>○いじめ防止対策等専門委員会経費（委員数：5人） 267千円 いじめの防止等のための対策に関する事項や重大ないじめ事象が発生した場合に調査を行うため、弁護士、医師、臨床心理士、学識経験者からなる「いじめ防止対策等専門委員会」を設置し、会議を開催するなど、それぞれの専門的な立場からいじめ事象に対する助言を受けた。 開催日：第1回 令和元年10月26日（土） 第2回 令和2年3月14日（土） 会場：京丹後市役所大宮庁舎 ・報酬 154千円 ・旅費（普通旅費・費用弁償） 80千円 ・消耗品費 16千円 ・有料道路通行料 17千円</p>										
			成果・課題		<p>○専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対していじめの防止等のための取組やいじめ事象の解決に向けた支援を行うことができた。 ○いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こり得ることを踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見に向けた取組を推進する必要がある。</p>								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	10,031千円	10,064千円	33千円	99.6%		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額		
	事	03 指導主事設置事業				9,964千円		
	課	学校教育課						
細事	01 指導主事設置事業							
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	非常勤指導主事を配置し、学校教育及び就学前教育の充実を図るとともに、円滑な学校経営を推進する。							
主要な事務・事業の概要	<p>4人の非常勤指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性と見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。</p> <p>○報酬 7,992千円 ・指導主事報酬(166,500円×4人×12か月)</p> <p>○共済費 1,341千円 ・社会保険料、雇用保険料</p> <p>○旅費 698千円 ・費用弁償</p>							
			成果・課題	<p>学校経営、教育内容に対する専門知識や豊かな経験を基にした指導や助言を行うことにより、不登校を含めた生徒指導上の諸問題への対応など、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。</p>				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	247千円	250千円	3千円	98.8%		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額		
	事	10 就学支援・教育相談事業				250千円		
	課	学校教育課						
細事	01 就学支援・教育相談事業		府補	きょうと地域連携交付金(就学支援・教育相談事業)			100千円	
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	児童生徒の不登校など学校不応の状況を、発達検査などにより把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるように支援する。							
主要な事務・事業の概要	<p>○教育相談事業及び研修の実施</p> <p>各小中学校において臨床心理士による児童生徒や保護者との教育相談を実施し、当該児童生徒の通う学校の教職員へのアドバイスを行った。また、児童生徒の不登校などの学校不応の未然防止や解消に向けての対応のあり方について、各小中学校の教育相談担当者や心の教室相談員などを対象に研修を実施した。</p> <p>・相談会場 大宮庁舎及び各小中学校</p> <p>・実施回数 毎月2回(大宮庁舎) 適宜実施(各小中学校)</p> <p>・相談件数 延べ278件</p> <p>・教育相談担当者研修 年3回</p> <p>・事例研修 教育支援部会などにて適宜実施(各小中学校)</p>							
	<p>○教育支援に係る発達検査記録用紙購入費 239千円</p> <p>・WISC-IV知能検査記録用紙、新版K式発達検査2001記録用紙など</p> <p>○教育支援に係る発達検査器具借上料 8千円</p> <p>・日本語版感覚統合検査JAPAN感覚処理・行為機能検査</p>		成果・課題	<p>○臨床心理士による発達検査の実施、教育相談、教職員研修を実施することにより、児童生徒の学校適応が推進された。</p> <p>○一方、中学校での不登校の出現率が増加しているため、更に未然防止のための具体的なかつ多角的なアプローチ(不登校児童生徒へのアウトリーチ型訪問や個別アセスメントなど)を進めていく必要がある。</p> <p>○不登校などの学校不応の支援の在り方について、最新の研究や動向をふまえて、教職員への研修を行う必要がある。</p>				



予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																			
	項	03 中学校費	28,007千円	28,474千円	467千円	98.3%																																					
	目	02 教育振興費				(参考)当初予算額																																					
	事	04 中学校教育推進事業				29,201千円																																					
	課	01 中学校スクールサポーター等設置事業	府補	部活動指導員配置促進事業補助金(2/3)	1,669千円																																						
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源																																									
目的	スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。																																										
主要な事務・事業の概要	○介護職員 5人 (1日7時間、週5日勤務) ○講師(小中一貫コーディネーター) 6人 (1日7時間45分、週4日勤務) ○心の教室相談員 2人 (1日7時間45分、週5日勤務) ○部活動指導員 8人 (1日1時間、年間258時間勤務)			配置一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>介護</th> <th>小中一貫 コーディネーター</th> <th>相談員</th> <th>部活動 指導員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td rowspan="6">2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>大宮中</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>網野中</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>丹後中</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>弥栄中</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>久美浜中</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5人</td> <td>6人</td> <td>2人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	介護	小中一貫 コーディネーター	相談員	部活動 指導員	峰山中	2人	1人	2人	1人	大宮中	1人	1人	2人	網野中	1人	1人	1人	丹後中	0人	1人	1人	弥栄中	1人	1人	2人	久美浜中	0人	1人	1人	計	5人	6人	2人	8人
	学校名	介護	小中一貫 コーディネーター	相談員	部活動 指導員																																						
峰山中	2人	1人	2人	1人																																							
大宮中	1人	1人		2人																																							
網野中	1人	1人		1人																																							
丹後中	0人	1人		1人																																							
弥栄中	1人	1人		2人																																							
久美浜中	0人	1人		1人																																							
計	5人	6人	2人	8人																																							
成果・課題	・臨時職員賃金 24,473千円 ・共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 3,534千円			※相談員は3校に1人の配置。 ○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○心の教室相談員を配置し、生徒が悩みを話せる環境を整えることで、生徒の不安を和らげることができた。また、部活動指導員を配置することで、部活動の質の向上と部活動担当教諭の負担軽減を図ることができた。 ○生徒一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。																																							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																												
	項	02 児童福祉費	289千円	326千円	37千円	88.6%																														
	目	01 児童福祉総務費				(参考)当初予算額																														
	事	03 家庭こども相談室事業				3,058千円																														
	課	01 家庭こども相談室事業	諸収入	保育所等職員研修事業補助金	8千円																															
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進	主な財源																																		
目的	家庭児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。																																			
主要な事務・事業の概要	要保護児童対策地域協議会構成機関等と連携の下、児童虐待の未然防止、早期発見と適切な対応を行うとともに、支援が必要な児童や家庭(育児不安・養育力危惧・不登校等)について相談援助活動・家庭訪問・同行支援等を行った。			○京丹後市児童相談等取扱件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>詳細</th> <th>件数</th> <th>種別</th> <th>詳細</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">養護</td> <td>児童虐待</td> <td>268</td> <td rowspan="2">育成</td> <td>性格行動</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>134</td> <td>不登校</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>障害</td> <td>発達障害</td> <td>6</td> <td>適性・育児等</td> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非行</td> <td>＜犯行為等</td> <td>0</td> <td>計</td> <td>423</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					種別	詳細	件数	種別	詳細	件数	養護	児童虐待	268	育成	性格行動	2	その他	134	不登校	5	障害	発達障害	6	適性・育児等	8		非行	＜犯行為等	0	計	423	
	種別	詳細	件数	種別	詳細	件数																														
養護	児童虐待	268	育成	性格行動	2																															
	その他	134		不登校	5																															
障害	発達障害	6	適性・育児等	8																																
非行	＜犯行為等	0	計	423																																
事業実績額	○旅費 要保護児童対策地域協議会講演会講師旅費 12千円 調整担当者研修会等旅費 123千円 ○需用費 啓発物品・事務用品等 35千円 ○役務費 職員対応用携帯電話通話料(3台) 71千円 ○備品費 職員対応用携帯電話購入(1台) 38千円 ○負担金 京都府家庭相談員連絡協議会負担金 10千円			○要保護児童対策地域協議会運営状況 ・代表者・実務者会議 2回 ・ケース進行管理会議 5回 ・ケース検討会議 162回 ・講演会 1回(令和元年11月30日開催) 参加者143人																																
成果・課題				○調整担当者研修等を受講し、複雑・多様化する家庭児童問題に対応するための専門的知識を向上させることができた。 ○面談・家庭訪問・電話相談の実施、ケース検討会議の開催、要保護児童対策地域協議会の取組等により、さまざまな課題のある家庭への対応や支援を行うことができた。 ○適切に迅速な支援につなげるため、担当者の研鑽を重ねるとともに、関係機関との連携をさらに深めていく必要がある。																																

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																		
	項	04 社会教育費	1,574千円	1,575千円	1千円	99.9%																				
	目	01 社会教育総務費				(参考)当初予算額																				
	事	10 家庭教育事業				1,938千円																				
細事	01 家庭教育事業	708千円																								
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	府補 家庭教育支援基盤形成事業補助金(2/3)		708千円																				
目的	発達段階に応じた学習及び交流機会を提供するとともに、PTA活動を支援することによって、全ての教育の出発点であり、子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。																									
主要な事務・事業の概要	乳児期から就学前、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施した。 また、引き続きPTA活動の支援を行った。																									
	○家庭教育支援チーム事業(ファシリテーター謝金等) 857千円		○子育て講座(講師謝金等) 213千円																							
	子育て経験者や専門的な知識・経験を持つサポーターで構成する「家庭教育支援チーム」を各地域公民館で組織し、地域課題に即した子育て支援活動を行った。  ※家庭教育支援チーム:計6チーム、子育てサポーター:計46人		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て交流会</td> <td>28回</td> <td>519人</td> </tr> <tr> <td>「手紙で結ぶ家族の絆」事業</td> <td>12回</td> <td>227人</td> </tr> <tr> <td>子育て広場</td> <td>8回</td> <td>236人</td> </tr> <tr> <td>高校生と赤ちゃんのふれあい交流</td> <td>21回</td> <td>311人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>69回</td> <td>1,293人</td> </tr> </tbody> </table>						事業	回数	延べ参加者数	子育て交流会	28回	519人	「手紙で結ぶ家族の絆」事業	12回	227人	子育て広場	8回	236人	高校生と赤ちゃんのふれあい交流	21回	311人	合計	69回	1,293人
	事業	回数	延べ参加者数																							
子育て交流会	28回	519人																								
「手紙で結ぶ家族の絆」事業	12回	227人																								
子育て広場	8回	236人																								
高校生と赤ちゃんのふれあい交流	21回	311人																								
合計	69回	1,293人																								
※広報紙発行:1回		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て交流会</td> <td>28回</td> <td>519人</td> </tr> <tr> <td>「手紙で結ぶ家族の絆」事業</td> <td>12回</td> <td>227人</td> </tr> <tr> <td>子育て広場</td> <td>8回</td> <td>236人</td> </tr> <tr> <td>高校生と赤ちゃんのふれあい交流</td> <td>21回</td> <td>311人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>69回</td> <td>1,293人</td> </tr> </tbody> </table>						事業	回数	延べ参加者数	子育て交流会	28回	519人	「手紙で結ぶ家族の絆」事業	12回	227人	子育て広場	8回	236人	高校生と赤ちゃんのふれあい交流	21回	311人	合計	69回	1,293人	
事業	回数	延べ参加者数																								
子育て交流会	28回	519人																								
「手紙で結ぶ家族の絆」事業	12回	227人																								
子育て広場	8回	236人																								
高校生と赤ちゃんのふれあい交流	21回	311人																								
合計	69回	1,293人																								
		○京丹後市PTA協議会補助金 504千円 市研究大会の開催、各種研修会の参加、安全会掛金等への助成																								
		成果・課題 ○子どもの発達段階に応じた子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割の重要性などについて啓発することができた。 ○関係機関との連携により、課題の共有とより効果的な学習会等の実施を進める必要がある。																								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	02 児童福祉費	177,977千円	181,460千円	3,483千円	98.0%							
	目	03 保育事業費				(参考)当初予算額							
	事	02 放課後児童健全育成事業				176,242千円							
細事	01 放課後児童健全育成事業												
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	放課後児童健全育成事業利用料		20,664千円							
目的	保護者の就労等により放課後や長期休業期の屋間に家庭保育を受けることができない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。			使用料 公有財産使用料		9,971千円							
主要な事務・事業の概要	保護者の就労等により、放課後や長期休業期の屋間に家庭保育を受けることができない小学校に通学する児童を対象に、安心して生活できる場を提供することで、子どもたちの健やかな成長に努めた。		府補 子ども・子育て支援交付金(1/3) 21,394千円										
	○開設状況 年間開設日数:280日(うち新型コロナウイルス感染症対策対応分:15日) 開設時間:授業終了後~午後6時30分 (長期休業期及び土曜日は午前7時30分~午後6時30分) 年間平均児童数:467人(10か所、12支援単位) 峰山55人・長岡19人・いさご42人・大宮62人 口大野①49人・口大野②41人・網野南38人・網野北47人 丹後20人・弥栄26人・久美浜①46人・久美浜②22人		府補 子ども・子育て支援交付金(1/3) 15,958千円										
	○需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費等) 6,110千円		市有自動車損害共済金 123千円										
	○委託料(消防設備点検、浄化槽点検、児童送迎車運転等) 8,667千円		○工事請負費(久美浜・口大野エアコン移設工事等) 397千円 ○その他の経費(火災・自動車共済等保険料・自動車重量税ほか) 1,146千円										
○放課後児童健全育成事業委託料 161,657千円 (うち新型コロナウイルス感染症対策対応分 6,615千円)		<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>178,460千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.7%</td> </tr> </table>						参考	繰越明許費を除いた最終予算額	178,460千円		実質的な予算執行率	99.7%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	178,460千円											
	実質的な予算執行率	99.7%											
		■令和2年度への繰越事業 3,000千円 ・放課後児童クラブ園舎等解体事業(工事設計) 令和2年6月完成											
		成果・課題 ○利用者数が増加傾向にある中、待機児童ゼロを継続し児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することができた。また、新型コロナウイルス感染症対策として3月に小学校が臨時休校となった期間も開設し、保護者の就労を支援することができた。 ○年々増加傾向にある利用者に対応するため、小学校の空き教室の更なる活用など施設拡充を検討する必要がある。											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	874千円	948千円	74千円	92.1%			
	目	01 社会教育総務費				(参考)当初予算額			
	事	18 子ども放課後対策推進事業				948千円			
	細事	01 子ども放課後対策推進事業	主な財源	府補		京のまなび教室推進事業補助金(2/3)	582千円		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進								
目的	放課後に小学校の余裕教室を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健康やかに育まれる環境づくりを推進する。								
主要な事務・事業の概要	○委託料 放課後子ども教室運営委託料(2か所) 874千円								
	※事業の概要								
		網野北小学校区放課後子ども教室	網野南小学校区放課後子ども教室						
	実施場所	網野北小学校施設内	網野南小学校施設内						
	委託先	放課後子ども教室実行委員会	放課後子ども教室実行委員会						
	参加児童数	延べ819人(1回平均22人)	延べ1,712人(1回平均46人)						
	支援員の数	延べ231人(1回平均6人)	延べ295人(1回平均8人)						
	実施日	平成31年4月~令和2年3月(授業のある水曜日の放課後)37回							
	活動内容	自主学習、体験活動、集団遊び、自由遊び、スポーツなど							
	成果・課題			<p>○子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)として放課後子ども教室を開設し、地域住民の協力を得て子どもたちに世代間交流の機会を提供するとともに、さまざまな体験活動を実施することができた。</p> <p>○子ども教室の運営は、地域住民の協力を得て実施することになっており、スタッフの確保が課題である。</p>					

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
生涯学習課	引野 雅文

重点目標	5	生涯にわたる豊かな学びを支援します
基本の方針	まちづくりや福祉等多様な分野の関係部局、また学校園、保護者、地域住民、企業、大学等の多様な主体との協働により、住民相互のネットワークづくりを進め、子どもから大人まで、だれもが生涯にわたり学び続けることができ、その成果を地域社会に還元することができる環境づくりを進めます。	

1. 施策の方向性 **PLAN**

1. 生涯学習の体制づくり	①市民の多様な学習ニーズや地域課題に対応するため、学習内容の評価・検証や情報提供等を進めます。 ②市民の身近な学習及び交流の拠点である中央公民館及び地域公民館の活動の充実を図るとともに、地区公民館との連携を強化することによって、地域での公民館活動を支援します。 ③市民の自主的かつ自発的な学習の場である図書館の機能の充実と利用の促進を図ります。
2. 人権教育の推進	①人権啓発推進協議会の活動の充実を図るとともに、関係機関と連携しながら、人権に関する正しい理解と認識を高める活動を推進します。 ②さまざまな人権問題について正しい理解と認識を深めるため、学校園、家庭及び地域など、身近な場での学習機会の充実と促進を図るとともに、関係機関・団体と連携し、職員及び指導者の資質向上を図るための学習機会の提供に努めます。
3. 文化芸術活動の推進	①市民の豊かな心を育むため、丹後文化会館を拠点として、市民が優れた文化芸術に親しむ機会を充実します。 ②関係機関及び団体と連携し、地域の特色を活かした文化事業を行うとともに、市民の自発的かつ日常的な文化芸術活動を支援します。
4. 社会教育施設の整備充実	①公民館や図書館等をはじめとする社会教育施設の設備・機能の充実を図り、社会教育の実践活動を行う環境整備を進めます。 ②老朽化が進んでいる社会教育施設は、利用者の安全・安心に資するため、計画的な整備改修を検討します。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市子どもの読書活動第二次推進計画	本市の将来を担う子どもたちが、今後も更に本に親しみ、生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるように、子どもの読書活動を総合的かつ計画的に推進するために策定	平成26年6月	平成26年度～平成30年度	京丹後市子どもの読書活動第三次推進計画を策定(令和2年度～令和6年度)

2. 主な取組と構成事務事業一覧 **PLAN DO CHECK ACT**

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

1. 生涯学習の体制づくり	主な取り組み	決算額(単位:千円)			事務の改善	
		H30決算額	R1決算額	R2予算額		
①	市民の多様な学習ニーズや地域課題に対応するため、学習内容の評価・検証や情報提供等を進めます。				評価を踏まえた今後の方向性	
②	市民の身近な学習及び交流の拠点である中央公民館及び地域公民館の活動の充実を図るとともに、地区公民館との連携を強化することによって、地域での公民館活動を支援します。					
③	市民の自主的かつ自発的な学習の場である図書館の機能の充実と利用の促進を図ります。					
1	社会教育委員設置事業	生涯学習課				
	社会教育委員を設置し、社会教育行政全般について調査・研究及び審議し、答申及び建議を行うことによって、市民の声を反映した社会教育事業を推進する。		410	555	528	現状維持
2	社会教育指導員設置事業	生涯学習課				
	生涯学習課及び各地域公民館に社会教育指導員を配置し、社会教育の推進体制を整備するとともに、事業を積極的に展開することにより社会教育活動の充実を図る。		21,319	19,001	-	改善・効率化
3	成人式開催事業	生涯学習課				
	人生の節目としての式典を開催することによって、大人になったことの自覚を促すとともに、今後自らの人生を生き抜こうとする青年(新成人)を祝い激励する。		1,179	481	1,232	改善・効率化
4	青少年教育事業	生涯学習課				
	地域の青少年を守り育てる活動を支援し、将来を担う青少年の心豊かな人間の基礎づくりと健やかな成長を促す。		1,900	1,570	1,570	現状維持
5	高齢者教育事業	生涯学習課				
	高齢者大学の講座を市内全域で実施することによって、高齢者の社会参加と生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験を活かした地域活動を推進する。		2,489	2,448	2,850	現状維持

1. 生涯学習の体制づくり		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
6	中央公民館管理運営事業 地域住民の学習及び交流活動の拠点として設置されている地区(自治)公民館活動を支援し、地域の活性化を推進する。	生涯学習課	39,930	38,504	37,879	現状維持
7	峰山地域公民館管理運営事業 峰山地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。	生涯学習課	9,472	8,460	9,299	現状維持
8	大宮地域公民館管理運営事業 大宮地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。	生涯学習課	260	164	174	現状維持
9	網野地域公民館管理運営事業 網野地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。	生涯学習課	471	322	376	現状維持
10	丹後地域公民館管理運営事業 丹後地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。	生涯学習課	6,308	15,832	358,813	縮小
11	丹後地域公民館管理運営事業【繰越】 丹後地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。	生涯学習課	-	15,832	-	終了・廃止
12	弥栄地域公民館管理運営事業 弥栄地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。	生涯学習課	9,022	7,164	7,254	現状維持
13	久美浜地域公民館管理運営事業 久美浜地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。	生涯学習課	1,336	545	156	現状維持
14	公民館一般経費 地域公民館長の配置に係る経費及び公用車の維持管理等、公民館運営に係る経費。	生涯学習課	15,341	15,110	34,059	現状維持
15	図書館管理運営事業 資料や情報を収集、整理、保存し、提供することで、市民の読書、調査研究等の要求に応え、生涯学習活動を推進する。	生涯学習課	48,650	65,237	137,311	縮小
16	社会教育総務一般経費 社会教育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、女性教育活動団体に対しその活動を支援するための補助金を交付し生涯学習の振興を図る。	生涯学習課	2,718	406	3,303	現状維持
2. 人権教育の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 人権啓発推進協議会の活動の充実を図るとともに、関係機関と連携しながら、人権に関する正しい理解と認識を高める活動を推進します。						
② さまざまな人権問題について正しい理解と認識を深めるため、学校園、家庭及び地域など、身近な場での学習機会の充実と促進を図るとともに、関係機関・団体と連携し、職員及び指導者の資質向上を図るための学習機会の提供に努めます。						
17	人権教育事業 あらゆる人権問題について正しく理解し、認識を深めるための学習機会を提供するなど、人権教育を推進することにより、人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現を目指す。	生涯学習課	211	182	242	現状維持
3. 文化芸術活動の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 市民の豊かな心を育むため、丹後文化会館を拠点として、市民が優れた文化芸術に親しむ機会を充実します。						
② 関係機関及び団体と連携し、地域の特色を活かした文化事業を行うとともに、市民の自発的かつ日常的な文化芸術活動を支援します。						
18	文化芸術事業 市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう文化芸術活動を支援し、ゆとりと潤いのある社会づくりを推進する。	生涯学習課	32,590	33,475	33,975	現状維持
4. 社会教育施設の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 公民館や図書館等をはじめとする社会教育施設の設備・機能の充実を図り、社会教育の実践活動を行う環境整備を進めます。						
② 老朽化が進んでいる社会教育施設は、利用者の安全・安心に資するため、計画的な整備改修を検討します。						
19	地区公民館管理運営事業 地域住民の身近な生涯学習・地域活動の拠点である、網野地域の地区公民館を維持・管理する。	生涯学習課	4,414	4,333	4,534	現状維持
20	峰山いさなご施設管理運営事業 林業の振興のほか、スポーツ及びレクリエーション活動による市民の健康づくり、生きがいづくりを推進し、市民福祉の向上を図る。	生涯学習課	7,456	7,756	9,579	現状維持
21	マスターズビレッジ管理運営事業 大宮ふれあい工房(陶芸・染色体験施設等)、ふれあいスポーツ広場等を管理運営することで、市民の交流及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進を図る。	生涯学習課	15,466	15,340	15,751	現状維持

22	マスターズビレッジ管理運営事業【繰越】	生涯学習課	4,805	-	-	終了・廃止
	大宮ふれあい工房「あそびの広場」内に設置した遊具の修繕を実施し、利用者の安全を確保するとともに環境整備に努めた。					
23	アグリセンター管理運営事業	生涯学習課	6,996	6,880	18,214	現状維持
	施設の維持管理及び運営を行い、農業・農村の活性化及び地域住民の福祉・健康増進に寄与する。					
24	たちばな会館管理運営事業	生涯学習課	1,190	1,235	1,205	現状維持
	橋地区における生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民に各種活動の場を提供するとともに、施設の利用の促進を図る。					
25	網野教育会館管理運営事業	生涯学習課	1,224	1,239	1,257	現状維持
	教育及び地域の文化活動・生涯学習の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民に各種活動の場を提供するとともに、施設の利用の促進を図る。					
26	丹後地域公民館耐震診断事業【再編交付金活用事業】	生涯学習課	3,514	-	-	終了・廃止
	生涯学習及びコミュニティ活動の拠点施設としての耐震性能を確認するため、耐震診断業務を実施した。					
		計	238,671	262,071	679,561	

### 3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	まちづくりや福祉等多様な分野の関係部局、また学校園、保護者、地域住民、企業、大学等の多様な主体との協働により、住民相互のネットワークづくりを進め、子どもから大人まで、だれもが生涯にわたり学び続けることができ、その成果を地域社会に還元することのできる環境づくりを進めます。								
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値		
			年度	年度	年度	年度			
	青少年の体験活動事業数	事業	42	H25	55	R1	60	R6	
	趣味・教養講座数	事業	29	H25	52	R1	35	R6	
	地域課題学習講座数	事業	2	H25	10	R1	10	R6	
	高齢者大学の参加者数	人	789	H25	791	R1	1,000	R6	
	人権学習会の参加者数	人	820	H25	1,154	R1	1,200	R6	
	図書館の年間貸出冊数(市民1人当たり)	冊	5.2	H25	5.37	R1	7.0	R6	
地域公民館施設の利用回数	回	4,308 (令和元年度) ※改正時追加指標	R1	4,308	R1	7,000	R6		

### 4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

**CHECK** **ACT**

進捗状況区分	評価	令和元年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	▲	<p>《青少年の体験活動事業数》 地域公民館等の事業のほか、京都府や府内大学などの関係機関と連携し事業を実施している。効率的な事業運営とするため複数の地域公民館が合同で実施する講座もあるため事業数としてはほぼ横ばいである。今後も社会教育団体や学校、地域と連携・協力をしながら学習機会を提供する。</p> <p>《趣味・教養講座数》 市民の自発的な学習を支援し継続的な学習活動を促進することができた。講演会や講座などの学習機会と情報の提供を行うことで、今後も市民生活の向上を図る。</p> <p>《地域課題学習講座数》 各町の公民館連絡協議会を中心に地域の現状把握や課題共有に努め講座が行われているが、今後も社会の変化に対応し学習していく必要がある。また、地域の社会教育や地域活動を推進する拠点である地区公民館の中には担い手不足等の課題を抱えている公民館もあり、地区、公民館、行政が、ともに実態に応じた地域コミュニティのあり方について考える必要がある。</p> <p>《高齢者大学の参加者数》 高齢者大学の運営は定着しつつあるが、教養講座といえども自己完結型で終わるのではなく身につけた学びを地域活動や若い世代に伝えるなど、学びの循環が必要。退職によるライフスタイルの変化や、情報化、加齢に伴う心身の衰えや介護問題など、学習者によって抱える課題が多様化しており、より一層のニーズの把握と、対象者への周知が必要である。</p> <p>《人権学習会の参加者数》 インターネット社会における人権の尊重、外国人の人権問題など、身近な生活の場で直面する課題においても日常生活の習慣として身につけて実践することができるよう学習機会の内容や方法の工夫改善に努める。</p> <p>《図書館の年間貸出冊数(市民1人当たり)》 住民一人当たりの貸出数は増加し、行事等の開催、企画展示の実施などにより、多様な学習機会の提供に寄与した。しかし、貸出点数は昨年度より増加しているものの、利用者数をみると増加しているとは言えず、今後更に図書館に関心を持ち利用につながるよう、運営に工夫が必要。また、市民の求める居場所としての空間づくりも、図書館整備の中で検討していく必要がある。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
×		
大幅に遅れている		

進捗状況区分	評価	令和元年度成果と今後の課題
		<p>《地域公民館施設の利用回数》  社会教育活動、生涯学習及びコミュニティ活動を行う拠点として管理、運営を行うことができた。また、地域の身近な課題、生活課題等に即した学習機会の提供ができた。施設の老朽化に伴う維持管理が課題である。  (令和2年度丹後地域公民館耐震改修等工事实施)  ※平成30年12月丹後地域公民館耐震強度不足のため貸館休止、平成30年12月から令和元年10月までは丹後庁舎を、10月からは丹後庁舎と旧豊栄小学校を代替施設として使用した。  ※平成30年度、令和元年度の数値は、休館前の数値と代替施設の数値を含めた数値。</p>

5. 今後の施策展開の考え方(令和2年～令和4年度までの主な取組)

**ACT**

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	中央公民館体制の再構築の下、公民館体制及び新たな地域コミュニティの在り方について、関係機関等との協議等を進める必要がある。併せて生涯学習社会の中核的施設となる図書館整備を検討するとともに、利用者が主役となる図書館活動を展開する。
	2	講演会の参加者が固定化傾向にあるため、講演の内容について、同和問題など継続的な課題はあるものの、インターネットによる人権侵害や自己実現、幸福追求など新たな人権課題にも目を向けながら、幅広く人権について考える機会を提供していく。
	3	関係団体等と連携し、優れた芸術・文化の鑑賞機会の提供、地域の特色を活かした芸術・文化活動を実施並びに支援するとともに、文化活動を支える人材育成を地道に取り組む。
	4	必要な修繕の実施を行うなど、利用者が安心・安全に利用できる環境を整備し、併せて利便性の向上を図るとともに、今後の施設の在り方を検討する必要がある。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	555千円	654千円	99千円	84.8%		
	目	01 社会教育総務費				(参考)当初予算額		
	事	02 社会教育委員設置事業				630千円		
	課	生涯学習課						
細事	01 社会教育委員設置事業	主な財源						
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実							
目的	社会教育委員を設置し、社会教育行政全般について調査・研究及び審議し、苦申及び建議を行うことにより、市民の声を反映した社会教育事業を推進する。							
主要な事務・事業の概要	社会教育委員会議を開催し、社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議するとともに、委員の研修機会を提供した。				<会議の主な内容> (3回開催) ・「新たな地域コミュニティ」づくりの取組について ・丹後地域公民館、図書室の改修整備について ・令和2年度予算・社会教育指導の重点について ほか			
	○委員報酬(委員:15人、報酬対象:12人)	341千円	<委員研修等> ・丹後地方社会教育委員連絡協議会総会・研修会(6月6日:宮津市) ・京都府社会教育委員連絡協議会総会(6月29日:京田辺市) ・近畿(兼全国)社会教育研究大会【兵庫大会】(10月24、25日:神戸市) ・丹後地方社会教育委員連絡協議会理事・幹事会(2回)					
	○旅費(費用弁償、研修事業への参加旅費)	90千円						
	○需用費(研修事業資料代、燃料費)	44千円						
	○使用料及び賃借料(有料道路通行料)	15千円						
	○負担金、補助及び交付金	65千円						
	・京都府及び丹後地方社会教育委員連絡協議会分担金							
			成果・課題 ○社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議し、市民の意向を反映した社会教育行政を進めることができた。 ○公民館体制及び新たな地域コミュニティの在り方について、引き続き審議を行う必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	19,001千円	19,033千円	32千円	99.8%		
	目	01 社会教育総務費				(参考)当初予算額		
	事	03 社会教育指導員設置事業				19,033千円		
	課	生涯学習課						
細事	01 社会教育指導員設置事業	主な財源						
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実							
目的	生涯学習課及び各地域公民館に社会教育指導員を配置し、社会教育の推進体制を整備するとともに、事業を積極的に展開することにより社会教育活動の充実を図る。							
主要な事務・事業の概要	社会教育事業の立案・運営や社会教育関係団体等への指導・助言を行った。				○社会教育指導員の配置 全8人 ・生涯学習課 1人 ・峰山地域公民館 1人 ・大宮地域公民館 1人 ・網野地域公民館 2人 ・丹後地域公民館 1人 ・弥栄地域公民館 1人 ・久美浜地域公民館 1人			
	○社会教育指導員報酬	15,984千円						
	月額報酬166,500円×12か月×8人							
	○共済費	2,670千円						
	・社会保険料	2,521千円						
	・労災保険料	55千円						
	・雇用保険料	94千円						
	○旅費	347千円						
			成果・課題 ○社会教育指導員を配置することで社会教育事業の効果的な実施と社会教育団体の育成・支援を行うことができ、住民のニーズに応えた社会教育活動を推進することができた。 ○令和2年度からは会計年度任用職員として、引き続き効果的・効率的な配置に努める必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 481千円	最終予算額 618千円	不用額 137千円	執行率	部 教育委員会事務局
	項	04 社会教育費				77.8%	
	目	01 社会教育総務費				(参考)当初予算額	
	事	04 成人式開催事業				1,238千円	
	細事	01 成人式開催事業					
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源				
目的	人生の節目としての式典を開催することによって、大人になったことの自覚を促すとともに、今後自らの人生を生き抜こうとする青年（新成人）を祝い激励する。						
主要な事務・事業の概要	令和2年成人式は令和2年3月15日（日）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年11月1日（日）に延期（予定）とした。						
	<対象> 平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれの市内在住者及び市内各中学校卒業生660人（男330人、女330人）						
	○報償費	408千円					
	○需用費（消耗品費）	13千円					
	○役務費（通信運搬費等）	60千円					
			成果・課題	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を適切に講じながら実施する必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額 1,570千円	最終予算額 1,570千円	不用額 0千円	執行率	部 教育委員会事務局
	項	04 社会教育費				100.0%	
	目	01 社会教育総務費				(参考)当初予算額	
	事	05 青少年教育事業				1,700千円	
	細事	01 青少年教育事業					
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源				
目的	地域の青少年を守り育てる活動を支援し、将来を担う青少年の心豊かな人間の基礎づくりと健やかな成長を促す。						
主要な事務・事業の概要	○京丹後市青少年健全育成会補助金 400千円 青少年の体験活動やあいさつ運動、夏祭りパトロールなど、青少年の健全育成に資する取組を実施する組織に対し、補助金を交付。						
	○少年少女児童合唱団補助金（3団体×130千円） 390千円 音楽を通して子どもたちの自分を表現する力や社会性、豊かな心を育む活動を行う団体に対し、補助金を交付。						
	○地域子ども教室補助金（6団体×130千円） 780千円 地域の中に子どもたちの居場所を確保するとともに、さまざまな体験活動、住民との交流活動等地域全体で子どもを守り育てる活動を行う教室に対し、補助金を交付。						
				成果・課題	○青少年の健やかな成長を促す体験活動や地域活動を支援することができた。 ○今後も市青少年健全育成会等関係団体と連携しながら、より効果的な青少年活動を推進する必要がある。		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	2,448千円	2,612千円	164千円	93.7%		
	目	01 社会教育総務費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事	09 高齢者教育事業				2,850千円		
細事	01 高齢者教育事業	府補 諸収入				市町村高齢化対策推進事業費補助金(1/2) 社会教育事業等参加料	210千円 809千円	
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源					
目的		高齢者大学の講座を市内全域で実施することによって、高齢者の社会参加と生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験を活かした地域活動を推進する。						
主要な事務・事業の概要	○高齢者大学 ・受講者数 791人(令和2年3月31日現在) ・実施地域 各町域(各地域公民館主管) ・事業の概要		○報償費(講師謝金) 1,669千円 ○旅費 26千円 ○需用費(消耗品費、燃料費、食糧費) 253千円 ○委託料(バス運転委託料) 316千円 ○使用料及び賃借料(会場使用料、有料道路通行料等) 184千円					
	学園	一般講座	教養講座					
		回数	延べ参加者数	延べ回数	延べ参加者数	講座数	内容	
	峰山	7回	417人	117回	1,616人	10講座	ちぎり絵、民謡 等	
大宮	6回	203人	32回	391人	7講座	庭木剪定、歌ごえ 等		
網野	9回	881人	180回	3,087人	11講座	陶芸、水彩画 等		
丹後	6回	300人	52回	671人	9講座	詩吟、俳句 等		
弥栄	7回	255人	53回	585人	8講座	絵手紙、歴史 等		
久美浜	6回	276人	51回	609人	7講座	古典文学、絵画 等		
合計	41回	2,332人	485回	6,959人	52講座			
※合同講座を含む ○京都工芸繊維大学との連携事業 ・内容 京都工芸繊維大学キャンパス見学と京都府立植物園敷策 ・参加者数 35人		成果・課題		○高齢者大学各種講座の実施により、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりの機会を提供し、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。 ○減少傾向にある参加者の増加に努めるとともに、より一層の高齢者の社会参加の促進と学習の成果を地域活動等に活かす取組を推進する必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	38,504千円	38,514千円	10千円	99.9%			
	目	02 公民館費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事	01 中央公民館管理運営事業				38,969千円			
細事	01 中央公民館管理運営事業	市債				過疎地域自立促進特別事業債(過疎対策債)	30,300千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源						
目的		地域住民の学習及び交流活動の拠点として設置されている地区(自治)公民館活動を支援し、地域の活性化を推進する。							
主要な事務・事業の概要	研修会の実施や活動交付金の交付等により、地区公民館活動の支援を行った。 ○公民館職員研修会講師謝金 61千円		○地区公民館活動交付金 36,382千円						
	第1回	実施日	令和元年6月28日	地区公民館数		交付金額			
		会場	アグリセンター大宮	8館	8,080千円				
		演題	「持続可能な地域づくりを考える」	15館	6,398千円				
講師		兵庫県朝来市市長公室総合政策課 馬袋 真紀 氏	12館	8,357千円					
第2回	実施日	令和元年11月21日	4館	3,513千円					
	会場	アグリセンター大宮	5館	3,398千円					
	演題	「対話による人づくり・地域づくり」	8館	6,636千円					
	講師	まちとしごと総合研究所 岡本 卓也 氏	合計	52館	36,382千円				
○公民館総合(傷害)保険料(53地区館分) 2,061千円		積算内訳(調整有) 地区割 20,000円×225地区 世帯数割 1,400円×20,469世帯 町割(均等) 250,000円×6町		成果・課題 ○地区公民館活動の支援を通じて、住民のコミュニティ活動の推進を図るとともに、学習及び交流機会の提供など、地区公民館が地域づくりの拠点としての機能を発揮することに寄与した。 ○各町公民館連絡協議会の取組により研修や地区公民館同士の情報交流が行われ、それぞれの公民館事業の活性化を図ることができた。 ○公民館体制及び「新たな地域コミュニティ」の在り方について、引き続き地域及び関係機関等との協議を進める必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																				
	項	04 社会教育費							8,460千円	8,563千円	103千円	98.7%																																
	目	02 公民館費										9,469千円																																
	事	02 地域公民館管理運営事業																																										
細事	01 峰山地域公民館管理運営事業	主な財源	使用料	峰山地域公民館使用料	827千円																																							
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		諸収入	社会教育事業等参加料	35千円																																							
目的	峰山地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。		諸収入	峰山地域公民館水道使用料負担金	175千円																																							
			成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費（講師謝礼） 52千円</li> <li>○需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕費） 4,203千円</li> <li>○役員費（通信運搬費、ごみ処理手数料、火災保険料） 135千円</li> <li>○委託料（宿日直、清掃、エレベーター保守点検ほか） 4,048千円</li> <li>○使用料及び賃借料（テレビ放送受信料） 22千円</li> </ul>																																								
主要な事務・事業の概要	地域の生涯学習と交流を促進する機会と場所の提供及び施設の維持管理を行った。			<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民に幅広い学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。</li> <li>○引き続き、地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。</li> <li>○広報の工夫・充実にも努めるなど、引き続き参加者の増加を図る必要がある。</li> <li>○施設の老朽化に伴い、適正な維持管理に努める必要がある。</li> </ul>																																								
	<利用状況>																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>利用者数</th> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大会講室</td> <td>599回</td> <td>17,258人</td> <td>第2会議室</td> <td>420回</td> <td>3,752人</td> </tr> <tr> <td>第1会議室</td> <td>362回</td> <td>3,911人</td> <td>視聴覚室</td> <td>19回</td> <td>285人</td> </tr> <tr> <td>練習室</td> <td>410回</td> <td>3,834人</td> <td>料理実習室</td> <td>71回</td> <td>1,318人</td> </tr> <tr> <td>講義室</td> <td>345回</td> <td>7,279人</td> <td>展示コーナー</td> <td>41回</td> <td>819人</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td>781回</td> <td>10,688人</td> <td>合計</td> <td>3,048回</td> <td>49,144人</td> </tr> </tbody> </table>			区分	利用回数	利用者数	区分	利用回数	利用者数	大会講室	599回	17,258人	第2会議室	420回	3,752人	第1会議室	362回	3,911人	視聴覚室	19回	285人	練習室	410回	3,834人	料理実習室	71回	1,318人	講義室	345回	7,279人	展示コーナー	41回	819人	和室	781回	10,688人	合計	3,048回	49,144人					
	区分	利用回数	利用者数	区分	利用回数	利用者数																																						
大会講室	599回	17,258人	第2会議室	420回	3,752人																																							
第1会議室	362回	3,911人	視聴覚室	19回	285人																																							
練習室	410回	3,834人	料理実習室	71回	1,318人																																							
講義室	345回	7,279人	展示コーナー	41回	819人																																							
和室	781回	10,688人	合計	3,048回	49,144人																																							
<主な公民館事業>																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>事業・講座名</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">青少年教育</td> <td>夏休み子ども体験事業</td> <td>9回</td> <td>176人</td> <td>10千円</td> </tr> <tr> <td>ハーブガーデン講座</td> <td>14回</td> <td>204人</td> <td>12千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成人教育</td> <td>花とグリーン講座</td> <td>1回</td> <td>21人</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>エコクラフト講座</td> <td>1回</td> <td>6人</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>お菓子・パン講座</td> <td>3回</td> <td>36人</td> <td>18千円</td> </tr> </tbody> </table>			事業種別	事業・講座名	回数	延べ参加者数	決算額	青少年教育	夏休み子ども体験事業	9回	176人	10千円	ハーブガーデン講座	14回	204人	12千円	成人教育	花とグリーン講座	1回	21人	6千円	エコクラフト講座	1回	6人	6千円	お菓子・パン講座	3回	36人	18千円															
事業種別	事業・講座名	回数	延べ参加者数	決算額																																								
青少年教育	夏休み子ども体験事業	9回	176人	10千円																																								
	ハーブガーデン講座	14回	204人	12千円																																								
成人教育	花とグリーン講座	1回	21人	6千円																																								
	エコクラフト講座	1回	6人	6千円																																								
	お菓子・パン講座	3回	36人	18千円																																								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																															
	項	04 社会教育費							164千円	193千円	29千円	84.9%																											
	目	02 公民館費										193千円																											
	事	02 地域公民館管理運営事業																																					
細事	02 大宮地域公民館管理運営事業	主な財源	諸収入	社会教育事業等参加料	23千円																																		
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		目的	大宮地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民に幅広い学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。</li> <li>○引き続き、地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。</li> <li>○広報の工夫・充実にも努めるなど、引き続き参加者の増加を図る必要がある。</li> </ul>																																	
主要な事務・事業の概要	地域の生涯学習と交流を促進する機会と場所の提供を行った。						<ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費（講師謝金） 32千円</li> <li>○需用費（消耗品費） 132千円</li> </ul>																																
	<主な公民館事業>																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>事業・講座名</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">青少年教育</td> <td>お菓子づくりとお作法教室</td> <td>1回</td> <td>20人</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>ハッピーハロウィン</td> <td>1回</td> <td>24人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>親子で楽しむ科学あそび</td> <td>1回</td> <td>22人</td> <td>10千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成人教育</td> <td>丹後ちりめん講座</td> <td>3回</td> <td>23人</td> <td>10千円</td> </tr> <tr> <td>リフレッシュヨガ講座</td> <td>7回</td> <td>108人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>花とグリーン講座</td> <td>3回</td> <td>59人</td> <td>6千円</td> </tr> </tbody> </table>			事業種別	事業・講座名	回数	延べ参加者数	決算額	青少年教育	お菓子づくりとお作法教室	1回	20人	6千円	ハッピーハロウィン	1回	24人	-	親子で楽しむ科学あそび	1回	22人	10千円	成人教育	丹後ちりめん講座	3回	23人	10千円	リフレッシュヨガ講座	7回	108人	-	花とグリーン講座	3回	59人	6千円					
	事業種別	事業・講座名	回数	延べ参加者数	決算額																																		
青少年教育	お菓子づくりとお作法教室	1回	20人	6千円																																			
	ハッピーハロウィン	1回	24人	-																																			
	親子で楽しむ科学あそび	1回	22人	10千円																																			
成人教育	丹後ちりめん講座	3回	23人	10千円																																			
	リフレッシュヨガ講座	7回	108人	-																																			
	花とグリーン講座	3回	59人	6千円																																			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																				
	項	04 社会教育費	322千円	414千円	92千円	77.7%																						
	目	02 公民館費				(参考)当初予算額																						
	事	02 地域公民館管理運営事業					414千円	課	生涯学習課																			
細事	03 網野地域公民館管理運営事業	府補 土曜日の教育支援体制等構築事業補助金(2/3) 24千円 諸収入 社会教育事業等参加料 8千円																										
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源																									
目的	網野地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。																											
主要な事務・事業の概要	地域の生涯学習と交流を促進する機会と場所の提供を行った。																											
	<主な公民館事業>																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>事業・講座名</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成人教育</td> <td>ジオ・山野草ウォーク(3館合同実施)</td> <td>3回</td> <td>24人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>芸術文化</td> <td>網野町ふれあいコンサート</td> <td>1回</td> <td>400人</td> <td>68千円</td> </tr> <tr> <td>青少年教育</td> <td>網野町ウィークエンド事業 ユタッコ仲間</td> <td>8回</td> <td>312人</td> <td>36千円</td> </tr> </tbody> </table>								事業種別	事業・講座名	回数	延べ参加者数	決算額	成人教育	ジオ・山野草ウォーク(3館合同実施)	3回	24人	-	芸術文化	網野町ふれあいコンサート	1回	400人	68千円	青少年教育	網野町ウィークエンド事業 ユタッコ仲間	8回	312人	36千円
	事業種別	事業・講座名	回数	延べ参加者数	決算額																							
	成人教育	ジオ・山野草ウォーク(3館合同実施)	3回	24人	-																							
	芸術文化	網野町ふれあいコンサート	1回	400人	68千円																							
青少年教育	網野町ウィークエンド事業 ユタッコ仲間	8回	312人	36千円																								
○報償費(講師謝金)				36千円																								
○需用費(消耗品費、燃料費)				172千円																								
○役務費(通信運搬費、ごみ持ち込み手数料)				31千円																								
○使用料及び賃借料(会場借上料、テレビ放送受信料)				83千円																								
<table border="1"> <tr> <td>成果・課題</td> <td colspan="7">○地域住民に幅広い学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。 ○引き続き、地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫・充実に努めるなど、引き続き参加者の増加を図る必要がある。</td> </tr> </table>								成果・課題	○地域住民に幅広い学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。 ○引き続き、地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫・充実に努めるなど、引き続き参加者の増加を図る必要がある。																			
成果・課題	○地域住民に幅広い学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。 ○引き続き、地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫・充実に努めるなど、引き続き参加者の増加を図る必要がある。																											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																										
	項	04 社会教育費	15,832千円	15,854千円	22千円	99.8%																																												
	目	02 公民館費				(参考)当初予算額																																												
	事	02 地域公民館管理運営事業					835千円	課	生涯学習課																																									
細事	04 丹後地域公民館管理運営事業	諸収入 市有建物損害共済金 69千円 市債 社会教育施設整備事業債(過疎対策債) 14,600千円 市債 社会教育施設整備事業債(合併特別債) 700千円																																																
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源																																															
目的	丹後地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。																																																	
主要な事務・事業の概要	地域の生涯学習と交流を促進する機会と場所の提供及び施設の維持管理、耐震補強等改修工事のための実施設計を行った。																																																	
	<利用状況>																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">公民館代替施設【丹後庁舎】</th> <th colspan="3">公民館代替施設【旧豊栄小学校】</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>利用者数</th> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>202会議室</td> <td>55回</td> <td>526人</td> <td>和室</td> <td>5回</td> <td>135人</td> </tr> <tr> <td>204会議室</td> <td>89回</td> <td>960人</td> <td>会議室</td> <td>11回</td> <td>215人</td> </tr> <tr> <td>305会議室</td> <td>36回</td> <td>392人</td> <td>調理実習室</td> <td>6回</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>306会議室</td> <td>86回</td> <td>521人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>266回</td> <td>2,399人</td> <td>合計</td> <td>22回</td> <td>470人</td> </tr> </tbody> </table>								公民館代替施設【丹後庁舎】			公民館代替施設【旧豊栄小学校】			区分	利用回数	利用者数	区分	利用回数	利用者数	202会議室	55回	526人	和室	5回	135人	204会議室	89回	960人	会議室	11回	215人	305会議室	36回	392人	調理実習室	6回	120人	306会議室	86回	521人				合計	266回	2,399人	合計	22回	470人
	公民館代替施設【丹後庁舎】			公民館代替施設【旧豊栄小学校】																																														
	区分	利用回数	利用者数	区分	利用回数	利用者数																																												
	202会議室	55回	526人	和室	5回	135人																																												
204会議室	89回	960人	会議室	11回	215人																																													
305会議室	36回	392人	調理実習室	6回	120人																																													
306会議室	86回	521人																																																
合計	266回	2,399人	合計	22回	470人																																													
<主な公民館事業>																																																		
○報償費(講師謝金、青少年意見発表会用報償物品)				46千円																																														
○需用費 ・消耗品費、燃料費、修繕料(地域公民館屋上防水補修工事)				213千円																																														
○役務費(火災保険料)				19千円																																														
○委託料(バス運搬委託料、情報機器リサイクル業務委託料)				190千円																																														
○備品購入費(角印1個)				8千円																																														
○丹後地域公民館耐震補強等改修事業関係経費				15,356千円																																														
・手数料(地域公民館耐震改修計画判定料)				500千円																																														
・地域公民館耐震改修等工事実施設計業務委託料				14,856千円																																														
<table border="1"> <tr> <td>成果・課題</td> <td colspan="7">○地域住民に幅広い学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。 ○耐震補強等改修工事のための実施設計を計画どおり行い、地域住民の活動場所の早急な確保に寄与した。 ○引き続き、地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫・充実に努めるなど、引き続き参加者の増加を図る必要がある。</td> </tr> </table>								成果・課題	○地域住民に幅広い学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。 ○耐震補強等改修工事のための実施設計を計画どおり行い、地域住民の活動場所の早急な確保に寄与した。 ○引き続き、地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫・充実に努めるなど、引き続き参加者の増加を図る必要がある。																																									
成果・課題	○地域住民に幅広い学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。 ○耐震補強等改修工事のための実施設計を計画どおり行い、地域住民の活動場所の早急な確保に寄与した。 ○引き続き、地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫・充実に努めるなど、引き続き参加者の増加を図る必要がある。																																																	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	3,082千円	12,000千円	8,918千円	25.6%		
	目	02 公民館費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事	02 地域公民館管理運営事業				12,000千円		
細事	04 丹後地域公民館管理運営事業(繰越)	市債				社会教育施設整備事業債(合併特別債)	2,900千円	
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源				
目的	丹後地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。							
主要な事務・事業の概要	<p>丹後地域公民館の耐震補強等改修工事を実施するために、工事場所の地盤調査等業務を行った。</p> <p>○委託料 3,082千円</p> <p>・地盤調査等委託料</p>							
			成果・課題	地盤調査の結果、耐震補強等改修工事を実施するために必要な地盤の強度があることが確認できた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																										
	項	04 社会教育費	7,164千円	7,334千円	170千円	97.6%																																												
	目	02 公民館費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課																																										
	事	02 地域公民館管理運営事業				7,295千円																																												
細事	05 弥栄地域公民館管理運営事業	使用料 弥栄地域公民館使用料 56千円				諸収入 社会教育事業等参加料 15千円																																												
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源																																														
目的	弥栄地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。																																																	
主要な事務・事業の概要	<p>地域の生涯学習と交流を促進する機会の提供及び、施設の維持管理を行った。</p> <p>&lt;利用状況&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大会議室</td> <td>240回</td> <td>6,485人</td> </tr> <tr> <td>小会議室</td> <td>273回</td> <td>6,932人</td> </tr> <tr> <td>和室(1階)</td> <td>80回</td> <td>4,560人</td> </tr> <tr> <td>和室(2階)</td> <td>76回</td> <td>5,172人</td> </tr> <tr> <td>大ホール</td> <td>225回</td> <td>11,243人</td> </tr> <tr> <td>料理実習室</td> <td>78回</td> <td>2,371人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>972回</td> <td>36,763人</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;主な公民館事業&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>事業・講座名</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成人教育</td> <td>お菓子教室</td> <td>4回</td> <td>143人</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>剪定講座</td> <td>1回</td> <td>47人</td> <td>30千円</td> </tr> <tr> <td>花とグリーン講座</td> <td>1回</td> <td>9人</td> <td>6千円</td> </tr> </tbody> </table>		区分	利用回数	利用者数	大会議室	240回	6,485人	小会議室	273回	6,932人	和室(1階)	80回	4,560人	和室(2階)	76回	5,172人	大ホール	225回	11,243人	料理実習室	78回	2,371人	合計	972回	36,763人	事業種別	事業・講座名	回数	延べ参加者数	決算額	成人教育	お菓子教室	4回	143人	6千円	剪定講座	1回	47人	30千円	花とグリーン講座	1回	9人	6千円	<p>○報償費(講師謝金) 42千円</p> <p>○需用費(消耗品費、燃料費、印刷製本費、修繕料、光熱水費) 3,246千円</p> <p>○役員費(通信運搬費、手数料、保険料) 98千円</p> <p>○委託料(宿日直、清掃ほか施設管理委託料) 3,540千円</p> <p>○使用料及び賃借料(テレビ放送受信料、土地借上料) 238千円</p>					
	区分	利用回数	利用者数																																															
大会議室	240回	6,485人																																																
小会議室	273回	6,932人																																																
和室(1階)	80回	4,560人																																																
和室(2階)	76回	5,172人																																																
大ホール	225回	11,243人																																																
料理実習室	78回	2,371人																																																
合計	972回	36,763人																																																
事業種別	事業・講座名	回数	延べ参加者数	決算額																																														
成人教育	お菓子教室	4回	143人	6千円																																														
	剪定講座	1回	47人	30千円																																														
	花とグリーン講座	1回	9人	6千円																																														
		成果・課題	<p>○地域住民に幅広い学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。</p> <p>○引き続き、地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。</p> <p>○広報の工夫・充実に努めるなど、引き続き参加者の増加を図る必要がある。</p> <p>○施設の老朽化に伴い、適正な維持管理に努める必要がある。</p>																																															

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																					
	項	04 社会教育費	545千円	611千円	66千円	89.1%																							
	目	02 公民館費				(参考)当初予算額																							
	事	02 地域公民館管理運営事業				611千円	課	生涯学習課																					
細事	06 久美浜地域公民館管理運営事業	主な財源	諸収入	社会教育事業等参加料	20千円																								
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																												
目的	久美浜地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。																												
主要な事務・事業の概要	地域の生涯学習と交流を促進する機会と場所の提供を行った。 なお、令和元年8月2日から久美浜庁舎内に移転し業務を行った。																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>事業・講座名</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成人教育</td> <td>ジオ・山野草ウォーク (3館合同実施)</td> <td>3回</td> <td>24人</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>ツインぼーるエクササイズ教室</td> <td>1回</td> <td>12人</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>からだメンテナンス教室</td> <td>1回</td> <td>15人</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>家庭教育</td> <td>親と子のふるさと教室(秋編)</td> <td>1回</td> <td>25人</td> <td>3千円</td> </tr> </tbody> </table>		事業種別	事業・講座名	回数	延べ参加者数	決算額	成人教育	ジオ・山野草ウォーク (3館合同実施)	3回	24人	6千円	ツインぼーるエクササイズ教室	1回	12人	6千円	からだメンテナンス教室	1回	15人	6千円	家庭教育	親と子のふるさと教室(秋編)	1回	25人	3千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費(報償金) 21千円</li> <li>○需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費) 403千円</li> <li>○役員費(通信運搬費、手数料、火災保険料) 83千円</li> <li>○委託料(施設管理委託料) 20千円</li> <li>○使用料及び賃借料(印刷機借上料、テレビ放送受信料) 18千円</li> </ul>			
	事業種別	事業・講座名	回数	延べ参加者数	決算額																								
	成人教育	ジオ・山野草ウォーク (3館合同実施)	3回	24人	6千円																								
ツインぼーるエクササイズ教室		1回	12人	6千円																									
からだメンテナンス教室		1回	15人	6千円																									
家庭教育	親と子のふるさと教室(秋編)	1回	25人	3千円																									
		成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民に幅広い学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。</li> <li>○引き続き、地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。</li> <li>○広報の工夫・充実努めるなど、引き続き参加者の増加を図る必要がある。</li> </ul>																										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	15,110千円	15,304千円	194千円	98.7%		
	目	02 公民館費				(参考)当初予算額		
	事	50 公民館一般経費				15,304千円	課	生涯学習課
細事	01 公民館一般経費	主な財源						
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実							
目的	地域公民館長の配置に係る経費及び公用車の維持管理等、公民館運営に係る経費							
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域公民館長報酬・共済費 13,835千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬(月額報酬166,500円×12か月×6人) 11,988千円</li> <li>・社会保険料 1,811千円</li> <li>・労災保険料 36千円</li> </ul> </li> <li>○旅費(公民館大会参加等) 210千円</li> <li>○需用費 719千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費(公民館大会資料代等) 53千円</li> <li>・燃料費(公用車燃料) 308千円</li> <li>・食糧費(来客用お茶) 6千円</li> <li>・修繕費(車検修理費) 352千円</li> </ul> </li> <li>○役員費(自動車登録手数料、自動車損害保険料) 149千円</li> <li>○委託料(バス運転委託料) 24千円</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○使用料及び賃借料 112千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・有料道路通行料 18千円</li> <li>・駐車場使用料 2千円</li> <li>・AED借上料 92千円</li> </ul> </li> <li>○京都府公民館連絡協議会分担金 34千円</li> <li>○公課費(自動車重量税) 27千円</li> </ul>					
			成果・課題	地域公民館の安定的な運営体制と公民館職員としての研修の機会を確保することができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																														
	項	04 社会教育費	65,237千円	65,516千円	279千円	99.5%																																
	目	03 図書館費				(参考)当初予算額																																
	事	01 図書館管理運営事業				74,959千円																																
課	生涯学習課																																					
細事	01 図書館管理運営事業	寄附金	ふるさと応援寄附金	400千円																																		
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	5,000千円																																	
			市債	社会教育施設整備事業債(過疎対策債)	3,400千円																																	
			目的	資料や情報を収集、整理、保存し、提供することで、市民の読書、調査研究等の要求に応え、生涯学習活動を推進する。																																		
主要な事務・事業の概要	○図書館協議会委員報酬・費用弁償(委員10人、3回開催)		102千円	<利用状況等>																																		
	○市立図書館(2館)図書室(4室)の管理運営費		53,419千円																																			
	・臨時職員賃金、共催費(臨時職員18人及び臨時代行職員)		32,263千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>蔵書数(年度末時点)</th> <th>年間貸出冊数</th> <th>年間貸出者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山図書館</td> <td>81,433点</td> <td>78,870点</td> <td>14,908人</td> </tr> <tr> <td>あみの図書館</td> <td>107,764点</td> <td>115,508点</td> <td>21,706人</td> </tr> <tr> <td>大宮図書室</td> <td>36,269点</td> <td>66,604点</td> <td>11,519人</td> </tr> <tr> <td>丹後図書室</td> <td>27,994点</td> <td>25,367点</td> <td>5,695人</td> </tr> <tr> <td>弥栄図書室</td> <td>27,848点</td> <td>32,470点</td> <td>6,053人</td> </tr> <tr> <td>久美浜図書室</td> <td>28,724点</td> <td>41,414点</td> <td>7,521人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>310,032点</td> <td>360,233点</td> <td>67,402人</td> </tr> </tbody> </table>				蔵書数(年度末時点)	年間貸出冊数	年間貸出者数	峰山図書館	81,433点	78,870点	14,908人	あみの図書館	107,764点	115,508点	21,706人	大宮図書室	36,269点	66,604点	11,519人	丹後図書室	27,994点	25,367点	5,695人	弥栄図書室	27,848点	32,470点	6,053人	久美浜図書室	28,724点	41,414点	7,521人	合計	310,032点	360,233点	67,402人
		蔵書数(年度末時点)	年間貸出冊数	年間貸出者数																																		
峰山図書館	81,433点	78,870点	14,908人																																			
あみの図書館	107,764点	115,508点	21,706人																																			
大宮図書室	36,269点	66,604点	11,519人																																			
丹後図書室	27,994点	25,367点	5,695人																																			
弥栄図書室	27,848点	32,470点	6,053人																																			
久美浜図書室	28,724点	41,414点	7,521人																																			
合計	310,032点	360,233点	67,402人																																			
・図書購入費(AV資料含む)		7,180千円	※市民1人あたりの年間貸出冊数:5.37冊																																			
・雑誌及び新聞購入費		1,291千円	成果・課題																																			
・図書システム・業務用端末等更新		6,395千円																																				
・図書システム利用料、保守委託料		2,850千円	○6館(室)により市内全域にサービスを行うとともに、久美浜図書室を移転整備し、図書サービスの充実及び環境整備を図ることができた。 ○学校・園との連携、事業の実施など、図書を利用した多様な学習機会を提供できた。 ○未利用者等への図書館活動の周知に努め、利用拡大を図る必要がある。 ○丹後図書室の移転整備を進めるとともに、今後の図書館の在り方について、引き続き検討する必要がある。																																			
・その他経費(旅費、光熱水費、空調設備保守点検委託料ほか)		3,440千円																																				
○久美浜図書室移転整備費(令和元年8月2日移転)		8,247千円	○丹後図書室の移転整備を進めるとともに、今後の図書館の在り方について、引き続き検討する必要がある。																																			
・書架、図書等移転作業委託料		497千円																																				
・オープニングセミナー業務委託料		200千円	成果・課題																																			
・書架等備品購入費		7,550千円																																				
○丹後図書室移転整備費(令和2年10月末移転予定)		3,469千円	○丹後図書室の移転整備を進めるとともに、今後の図書館の在り方について、引き続き検討する必要がある。																																			
・移転改修工事設計業務委託料		3,408千円																																				
・建築確認手数料		61千円	成果・課題																																			
<主なサービス内容>																																						
・資料(図書・AV資料・雑誌新聞)の収集、整理、保存、貸出			○社会教育関係職員の資質向上のための研修機会を確保することができた。 ○市連合婦人会の活動を支援することにより、女性の自主的な学習活動、ボランティア活動等の推進に寄与した。																																			
・レファレンスサービス																																						
・おはなし会、大人を対象とした朗読等の行事開催			成果・課題																																			
・学校、保育所、こども園等との連携による読書推進事業 など																																						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	406千円	426千円	20千円	95.3%		
	目	01 社会教育総務費				(参考)当初予算額		
	事	50 社会教育総務一般経費				426千円		
課	生涯学習課							
細事	01 社会教育総務一般経費							
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源						
			目的	社会教育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、女性教育活動団体に対しその活動を支援するための補助金を交付し生涯学習の振興を図る。				
			主要な事務・事業の概要	○旅費(研修会参加)		20千円		
○需用費(消耗品費)		20千円						
○使用料及び賃借料(有料道路通行料)		5千円		成果・課題				
○京丹后市連合婦人会活動補助金		361千円						
活動内容:講演会、各種ボランティア、管外研修 ほか			○社会教育関係職員の資質向上のための研修機会を確保することができた。 ○市連合婦人会の活動を支援することにより、女性の自主的な学習活動、ボランティア活動等の推進に寄与した。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	04 社会教育費						182千円	246千円	64千円	73.9%	課	生涯学習課
	目	01 社会教育総務費											
	事	12 人権教育事業											
	細事	01 人権教育事業											
基本計画	22 人権を尊重するまちづくり												
目的	あらゆる人権問題について正しく理解し、認識を深めるための学習機会を提供するなど、人権教育を推進することにより、人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現を目指す。		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金(1/2)	11千円							
	府補	人権問題啓発事業費補助金(1/2)		62千円									
主要な事務・事業の概要	人権に関する多様な課題についての学習機会を設けるとともに、障害者の社会参加や交流を促進する研修会を実施した。		主な財源	府補	障害者地域生活支援事業費補助金(1/4)	5千円							
	○人権教育研究京丹後市大会			128千円	○聴覚障害者交流研修会			23千円					
	実施日	令和元年8月21日		会場	京都府丹後文化会館	実施日	令和元年10月25日						
	演題	「つながることで見えてきたもの」		講師	三重県松阪市立第二小学校 世古口 静香 教諭	会場	大宮保健センター						
	参加者数	320人		内容	手話歌、ユニポッチャ体験、エコクラフト体験	参加者数	20人						
○視覚障害者交流研修会		17千円	○その他経費(消耗品費)			14千円							
実施日	令和元年6月27日	会場	大宮保健センター	○人権講演会の実施により、市民が人権問題について理解と認識を深める機会を提供することができた。									
内容	ハーモニカ演奏、手で見ると絵本紹介、ユニポッチャ体験	○参加者を集めることが難しい傾向にあるが、人権教育は重要な取組であり、時代に合った興味関心を持たれるテーマを設定し、市内の各種団体や組織との連携を図るなど、さらに多くの市民に人権について考えてもらう機会を提供することが必要である。											
参加者数	24人	成果・課題											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	04 社会教育費						33,475千円	33,475千円	0千円	100.0%	課	生涯学習課
	目	01 社会教育総務費											
	事	11 芸術文化事業											
	細事	01 芸術文化事業											
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実												
目的	市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう文化芸術活動を支援し、ゆとりと潤いのある社会づくりを推進する。		主な財源	○丹後文化芸術祭実行委員会補助金					1,300 千円				
	文化芸術活動の推進を図るため、文化活動団体への支援を行い、市民が優れた文化芸術に触れる機会の提供及び市民による文化活動の充実に努めた。			丹後地域2市2町の住民参加の文化事業として、幼児から高齢者まで、舞台部門(6事業)、展示部門(2事業)、セミナー(2事業)を実施した。									
主要な事務・事業の概要	○京都：Re-Search実行委員会負担金		1,500 千円	○小町ろまん全国短歌大会開催補助金			125 千円						
	若手アーティスト5人が本市の歴史・自然・文化をテーマにした現代アート作品を制作し、市内で展示会を実施した。		・開催日			令和元年11月30日(土)							
	・展示会		9日間開催、延べ参加者数：631人	・会場			アグリセンター大宮						
	○京都府丹後文化事業団運営補助金		27,000 千円	・短歌投稿			一般の部424首、高校生の部744首、中学生の部1,457首 小学生の部519首 (合計) 3,144首						
	映画上映やコンサート、公演など多くの事業を実施し、丹後地域における豊かな文化の振興及び普及に努めた。		・大会内容			添削教室、開会式典、記念講演、入選作品の発表・表彰・講評							
○京丹後市文化協会活動費補助金		3,500 千円	・参加人数			100人							
・加盟団体		151団体、2,026人 ※令和2年3月末現在	○子どもから大人まで、幅広い世代が優れた文化を鑑賞する機会の提供及び地域文化の普及・振興等を推進し、文化芸術活動の充実を図ることができた。										
総合文化祭として、「舞台芸能祭」や「総合作品展」を実施したほか、支部事業等を多数実施し、市民の芸術鑑賞機会や自主的な活動の場を提供した。		○市民ニーズを的確に把握した事業の推進、文化協会等各団体の更なる自立運営に向けて支援していく必要がある。											
○京丹後文化のまちづくり推進事業補助金		50 千円	○京丹後市文化芸術振興条例に基づき、文化芸術に関する施策の総合的、計画的な推進方策等の在り方を検討する必要がある。										
廃校になった旧五十河小学校、旧野間小学校の校歌保存事業を実施した。													

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																									
	項	04 社会教育費	4,333千円	4,699千円	366千円	92.2%																											
	目	02 公民館費				(参考)当初予算額																											
	事	03 地区公民館管理運営事業				4,699千円																											
細事	01 地区公民館管理運営事業	主な財源				諸収入 網野、新庄公民館光熱水費負担金 272千円																											
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																																
目的	地域住民の身近な生涯学習・地域活動の拠点である、網野地域の地区公民館を維持・管理する。																																
主要な事務・事業の概要	<p>網野地域の地区公民館の施設管理費、補助金など、維持管理に係る経費を支出した。</p> <p>○地区公民館施設管理費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区公民館施設管理委託料（1館分） 480千円</li> <li>地区公民館火災保険料等補助金（7館分） 1,924千円</li> <li>その他地区公民館管理経費（9館分） 1,929千円</li> <li>報償費（地区公民館管理謝金） 936千円</li> <li>需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費） 935千円</li> <li>役務費（通信運搬費、手数料、保険料） 48千円</li> <li>委託料（消防設備等保守点検） 10千円</li> </ul>			<p>&lt;利用状況&gt;</p> <p>・網野地区公民館</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大広間</td> <td>135回</td> <td>5,109人</td> </tr> <tr> <td>大会議室</td> <td>119回</td> <td>3,141人</td> </tr> <tr> <td>小会議室</td> <td>154回</td> <td>3,069人</td> </tr> <tr> <td>公民館会議室</td> <td>27回</td> <td>499人</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td>158回</td> <td>1,182人</td> </tr> <tr> <td>調理室</td> <td>6回</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>599回</td> <td>13,120人</td> </tr> </tbody> </table>						区分	利用回数	利用者数	大広間	135回	5,109人	大会議室	119回	3,141人	小会議室	154回	3,069人	公民館会議室	27回	499人	和室	158回	1,182人	調理室	6回	120人	合計	599回	13,120人
	区分	利用回数	利用者数																														
大広間	135回	5,109人																															
大会議室	119回	3,141人																															
小会議室	154回	3,069人																															
公民館会議室	27回	499人																															
和室	158回	1,182人																															
調理室	6回	120人																															
合計	599回	13,120人																															
			<p>成果・課題</p> <p>○適正に維持管理を行うことにより、施設の機能、利用者の利便性を維持確保することができた。</p> <p>○網野地域には地区集会施設の一部を公民館施設として占用しているものがある。この施設管理費について負担割合を設定し、補助金などにより支出しているが、他地域の地区公民館の現状を踏まえ、市負担の軽減・廃止に向けて調整を図る必要がある。</p>																														

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																
	項	04 社会教育費	7,756千円	7,896千円	140千円	98.2%																		
	目	05 社会教育施設費				(参考)当初予算額																		
	事	01 峰山いさなご施設管理運営事業				7,759千円																		
細事	01 峰山いさなご施設管理運営事業	主な財源				使用料 公有財産使用料 58千円 使用料 峰山林業総合センター使用料 79千円 使用料 峰山いさなご工房使用料 586千円 使用料 峰山いさなごコート使用料 208千円 諸収入 峰山林業総合センター木工教室等材料代 50千円 諸収入 太陽光発電余剰電力料 267千円																		
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																							
目的	林業の振興のほか、スポーツ及びレクリエーション活動による市民の健康づくり、生きがいづくりを推進し、市民福祉の向上を図る。																							
主要な事務・事業の概要	<p>市民の学習と交流を促進する機会の提供及び施設の維持管理を行った。</p> <p>&lt;利用状況&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>林業センター</td> <td>160回</td> <td>1,481人</td> </tr> <tr> <td>いさなご工房</td> <td>280回</td> <td>992人</td> </tr> <tr> <td>いさなごコート</td> <td>307回</td> <td>6,240人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>747回</td> <td>8,713人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○管理者及び臨時職員配置に係る経費 4,590千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理者報酬（1人） 1,998千円</li> <li>共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 339千円</li> <li>臨時職員賃金（2人） 2,209千円</li> <li>旅費 44千円</li> </ul>			区分	利用回数	利用人数	林業センター	160回	1,481人	いさなご工房	280回	992人	いさなごコート	307回	6,240人	合計	747回	8,713人	<p>○管理運営経費 3,166千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料） 2,465千円</li> <li>役務費（通信運搬費、浄化槽法定検査手数料、火災保険料） 158千円</li> <li>委託料（消防設備等保守点検委託料、浄化槽維持管理委託料） 300千円</li> <li>使用料及び賃借料（テレビ放送受信料、機械器具借上料） 52千円</li> <li>備品購入費（パソコン1台） 191千円</li> </ul>					
	区分	利用回数	利用人数																					
林業センター	160回	1,481人																						
いさなご工房	280回	992人																						
いさなごコート	307回	6,240人																						
合計	747回	8,713人																						
			<p>成果・課題</p> <p>適切な施設の管理及び賃し出し、木工・陶芸の指導、定期講座の実施などを通して、市民に学習と交流の機会を提供し、スポーツ・文化活動の振興、健康づくりの推進などに寄与することができた。</p>																					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																															
	項	04 社会教育費	15,340千円	15,498千円	158千円	98.9%																																	
	目	05 社会教育施設費				(参考)当初予算額																																	
	事	02 マスターズビレッジ管理運営事業				14,965千円																																	
	細事	01 マスターズビレッジ管理運営事業	主な財源	使用料	大宮ふれあい工房使用料	1,667千円																																	
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実	使用料	大宮ふれあいスポーツ広場使用料	246千円																																			
目的	大宮ふれあい工房（陶芸・染色体験施設等）、ふれあいスポーツ広場等を管理運営することで、市民の交流及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進を図る。	諸収入	大宮ふれあい工房関係諸収入	27千円																																			
主要な事務・事業の概要	市民の学習と交流を促進する機会の提供及び施設の維持管理を行った。		○マスターズビレッジ施設管理運営委託料 11,015 千円 委託先：（一社）京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部 ○施設維持管理経費 3,944 千円 ・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料等） 2,971 千円 ・役務費（通信運搬費、火災保険料） 119 千円 ・委託料（電気設備保安管理委託料、草刈委託料等） 569 千円 ・使用料及び賃借料（テレビ放送受信料、清掃用具借上料等） 61 千円 ・備品購入費（パソコン1台） 224 千円 ○体験事業経費（材料代） 381 千円																																				
	<利用状況> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th colspan="2">利用者数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">ふれあい工房</td> <td>展示室</td> <td>利用者数</td> <td>2,697人</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>利用者数</td> <td>979人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">陶芸体験</td> <td>入場者数</td> <td>1,123人</td> </tr> <tr> <td>(内体験者数)</td> <td>(821人)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">染色体験</td> <td>入場者数</td> <td>695人</td> </tr> <tr> <td>(内体験者数)</td> <td>(540人)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>利用者数</td> <td>3,061人</td> </tr> <tr> <td>ふれあいスポーツ広場</td> <td>利用者数</td> <td>6,308人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td colspan="2">14,863人</td> </tr> </tbody> </table>		区 分		利用者数等		ふれあい工房	展示室	利用者数	2,697人	会議室	利用者数	979人	陶芸体験	入場者数	1,123人	(内体験者数)	(821人)	染色体験	入場者数	695人	(内体験者数)	(540人)	その他	利用者数	3,061人	ふれあいスポーツ広場	利用者数	6,308人	合 計		14,863人		○陶芸、染色実習室、展示室、会議室及びスポーツ広場の利用提供並びに各種講座及び教室を実施することで、市民の生きがいづくり及び健康増進に寄与することができた。 ○施設の老朽化が進行する中、施設所有者である京都府等と、今後の適切な維持管理や運営の在り方を検討する必要がある。					
	区 分		利用者数等																																				
ふれあい工房	展示室	利用者数	2,697人																																				
	会議室	利用者数	979人																																				
	陶芸体験	入場者数	1,123人																																				
		(内体験者数)	(821人)																																				
	染色体験	入場者数	695人																																				
		(内体験者数)	(540人)																																				
その他	利用者数	3,061人																																					
ふれあいスポーツ広場	利用者数	6,308人																																					
合 計		14,863人																																					
		成果・課題 ○陶芸、染色実習室、展示室、会議室及びスポーツ広場の利用提供並びに各種講座及び教室を実施することで、市民の生きがいづくり及び健康増進に寄与することができた。 ○施設の老朽化が進行する中、施設所有者である京都府等と、今後の適切な維持管理や運営の在り方を検討する必要がある。																																					

予算科目	款	06 農林水産業費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																												
	項	01 農業費	6,880千円	7,147千円	267千円	96.2%																														
	目	07 農業関連施設費				(参考)当初予算額																														
	事	01 アグリセンター管理運営事業				7,147千円																														
	細事	01 アグリセンター管理運営事業	主な財源	使用料	アグリセンター使用料	1,006千円																														
基本計画	02 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																																			
目的	施設の維持管理及び運営を行い、農業・農村の活性化及び地域住民の福祉・健康増進に寄与する。																																			
主要な事務・事業の概要	地域農林業の振興、生涯学習活動の推進及び地域福祉の増進が図れるよう、施設の維持管理を行った。		<利用状況> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>利用回数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">農業技術研修室</td> <td>203回</td> <td>2,120人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">視聴覚教育室</td> <td>263回</td> <td>7,134人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">地域活性化研修室</td> <td>157回</td> <td>3,445人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">多目的ホール（エントランス含む）</td> <td>182回</td> <td>14,664人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">調理加工実習室</td> <td>33回</td> <td>645人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>838回</td> <td>28,008人</td> </tr> </tbody> </table>						区 分		利用回数	利用人数	農業技術研修室		203回	2,120人	視聴覚教育室		263回	7,134人	地域活性化研修室		157回	3,445人	多目的ホール（エントランス含む）		182回	14,664人	調理加工実習室		33回	645人	合 計		838回	28,008人
	区 分		利用回数	利用人数																																
	農業技術研修室		203回	2,120人																																
視聴覚教育室		263回	7,134人																																	
地域活性化研修室		157回	3,445人																																	
多目的ホール（エントランス含む）		182回	14,664人																																	
調理加工実習室		33回	645人																																	
合 計		838回	28,008人																																	
○需用費 3,898千円 消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料（地盤・擁壁等修繕、多目的ホール空調設備・照明修繕等）		○農林業の振興にかかる研修会・講演会をはじめ、生涯学習や福祉など幅広い分野で施設活用ができた。 ○築後20年以上が経過する中で、設備や機材の老朽化が目立つため、計画的な修繕を実施するなど、適切な施設管理を行う必要がある。																																		
○役務費（通信運搬費、保険料） 48千円 ○委託料 2,906千円 施設清掃、休日・夜間管理業務、設備保守管理、移動観覧席点検、空調設備保守点検、自動ドア保守点検、グリストラップ処理、害虫駆除、消防設備等保守点検、特殊建築物・設備定期保守業務 ○使用料及び賃借料（テレビ放送受信料） 7千円 ○備品購入費（掃除機1台） 21千円																																				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																				
	項	04 社会教育費	1,235千円	1,256千円	21千円	98.3%																						
	目	05 社会教育施設費				(参考)当初予算額																						
	事	03 たちばな会館管理運営事業				1,199千円																						
	課	生涯学習課																										
細事	01 たちばな会館管理運営事業	主な財源	諸収入	たちばな会館光熱水費負担金	308千円																							
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																											
目的	橋地区における生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民に各種活動の場を提供するとともに、施設の利用の促進を図る。																											
主要な事務・事業の概要	地域の生涯学習と交流を促進する機会の提供及び施設の維持管理を行った。			○施設維持管理費		1,235千円																						
	<利用状況>			・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費）		690千円																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会議室</td> <td>74回</td> <td>738人</td> </tr> <tr> <td>料理実習室</td> <td>35回</td> <td>403人</td> </tr> <tr> <td>和室1</td> <td>115回</td> <td>897人</td> </tr> <tr> <td>和室2</td> <td>115回</td> <td>897人</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td>149回</td> <td>2,183人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>488回</td> <td>5,118人</td> </tr> </tbody> </table>			区分	利用回数	利用者数	会議室	74回	738人	料理実習室	35回	403人	和室1	115回	897人	和室2	115回	897人	多目的ホール	149回	2,183人	合計	488回	5,118人	・役務費（通信運搬費、火災保険料）		65千円	
	区分	利用回数	利用者数																									
会議室	74回	738人																										
料理実習室	35回	403人																										
和室1	115回	897人																										
和室2	115回	897人																										
多目的ホール	149回	2,183人																										
合計	488回	5,118人																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>図書室</th> <th>開室日数</th> <th>利用者数</th> <th>貸出冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>243日</td> <td>54人</td> <td>162冊</td> </tr> </tbody> </table>			図書室	開室日数	利用者数	貸出冊数		243日	54人	162冊	・委託料（施設管理委託料）		480千円															
図書室	開室日数	利用者数	貸出冊数																									
	243日	54人	162冊																									
成果・課題	○地域の学習活動及びコミュニティ活動の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な地域活動を促進することができた。 ○かねてより検討している施設の管理方法などの見直しについては、引き続き地元の意向を聞き、進めていく必要がある。 ○利用が減少している図書室については、令和2年4月末をもって閉室とし、今後は大会議室として利用提供していく。																											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																							
	項	04 社会教育費	1,239千円	1,268千円	29千円	97.7%																									
	目	05 社会教育施設費				(参考)当初予算額																									
	事	04 網野教育会館管理運営事業				1,268千円																									
	課	生涯学習課																													
細事	01 網野教育会館管理運営事業	主な財源																													
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																														
目的	教育及び地域の文化活動・生涯学習の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民に各種活動の場を提供するとともに、施設の利用の促進を図る。																														
主要な事務・事業の概要	地域の生涯学習と交流を促進する機会の提供及び施設の維持管理を行った。			○施設維持管理費		1,239千円																									
	<利用状況>			・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料）		539千円																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1階和室</td> <td>124回</td> <td>1,229人</td> </tr> <tr> <td>料理実習室</td> <td>1回</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>講義室</td> <td>40回</td> <td>161人</td> </tr> <tr> <td>2階和室</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>大ホール</td> <td>352回</td> <td>2,913人</td> </tr> <tr> <td>全館</td> <td>35回</td> <td>1,791人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>552回</td> <td>6,096人</td> </tr> </tbody> </table>			区分	利用回数	利用者数	1階和室	124回	1,229人	料理実習室	1回	2人	講義室	40回	161人	2階和室	0回	0人	大ホール	352回	2,913人	全館	35回	1,791人	合計	552回	6,096人	・役務費（通信運搬費、火災保険料等）		47千円	
	区分	利用回数	利用者数																												
1階和室	124回	1,229人																													
料理実習室	1回	2人																													
講義室	40回	161人																													
2階和室	0回	0人																													
大ホール	352回	2,913人																													
全館	35回	1,791人																													
合計	552回	6,096人																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>図書室</th> <th>開室日数</th> <th>利用者数</th> <th>貸出冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>243日</td> <td>54人</td> <td>162冊</td> </tr> </tbody> </table>			図書室	開室日数	利用者数	貸出冊数		243日	54人	162冊	・委託料（施設管理委託料、浄化槽維持管理委託料）		630千円																		
図書室	開室日数	利用者数	貸出冊数																												
	243日	54人	162冊																												
成果・課題	○人権学習や地域の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な学習及び地域活動を促進することができた。 ○かねてより検討している施設の管理方法などの見直しについては、引き続き地元の意向を聞き、進めていく必要がある。			・使用料及び賃借料（テレビ放送受信料）		14千円																									
			・原材料費（駐車場整備用砕石）		9千円																										

## 京丹後市教育振興計画

### 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
文化財保護課	新谷 勝行

重点目標	6	歴史文化を活用し、郷土への愛着と誇りを育みます
基本の方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。	

#### 1. 施策の方向性

#### PLAN

1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	①京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育の導入にあわせ、「丹後学」を積極的に展開します。特に、ジオパークに認定された地質遺産を活用したフィールド学習を、小学生を対象に実施します。 ②子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校園の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。 ③文化財セミナーや京丹後史博士育成講座等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図ります。
2. 文化財の保護と活用	①市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新等を通して文化財の保全を図ります。 ②京丹後市史編さん事業での調査成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。 ③京丹後市デジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。 ④古代丹後を代表する網野桃子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡を整備し、活用することで郷土への誇りと愛着を培い、併せて古代丹後の輝かしい資産を観光資源としても活用します。
3. 資料館施設の整備充実	①市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。 ②児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。 ③郷土の歴史や文化財の調査を進め、貴重な資料を保管し後世に伝えます。 ④資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。

#### 【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市文化財マスタープラン	市内に所在する多岐にわたる文化財を適切に保護し、その中から特に学術的に重要で、まちづくりの観点からも価値が高いと判断される史跡等文化財に対して、保存及び活用整備をすすめるための方向性を示すもの	平成18年10月	計画期間の定めなし	
国史跡網野桃子山古墳整備基本計画	「丹後王国」を代表する国史跡網野桃子山古墳に関して、京丹後市史跡整備検討委員会を組織して専門的な立場、地元の立場からの検討を加えて基本計画を策定した	平成23年3月	当面の計画として概ね6年間	当面整備計画として概ね6年の計画も策定

#### 2. 主な取組と構成事務事業一覧

#### PLAN

#### DO

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

#### CHECK

#### ACT

1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)				
	担当課				
①	京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育の導入にあわせ、「丹後学」を積極的に展開します。特に、ジオパークに認定された地質遺産を活用したフィールド学習を、小学生を対象に実施します。				
②	子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校園の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。				
③	文化財セミナーや京丹後史博士育成講座等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図ります。				
1	文化財保護啓発事業				
	市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。	-	-	-	統合(整理)

2. 文化財の保護と活用		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
①	市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新等を通して文化財の保全を図ります。					
②	京丹後市史編さん事業での調査成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。					
③	京丹後市デジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。					
④	古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡を整備し、活用することで郷土への誇りと愛着を培い、併せて古代丹後の輝かしい資産を観光資源としても活用します。					
2	市指定文化財等補助金	文化財保護課	2,000	2,000	2,000	現状維持
	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。					
3	史跡等維持管理事業	文化財保護課	1,357	1,837	1,133	現状維持
	指定文化財及びそれに関連する施設の草刈や補修等の維持管理を行い、指定文化財の適切な管理活用を図る。					
4	遺跡整備事業	文化財保護課	13,301	27,659	31,174	拡大
	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。					
5	遺跡整備事業【繰越】	文化財保護課	-	18,473	-	
	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。					
6	遺跡発掘調査等事業	文化財保護課	4,331	6,031	4,419	拡大
	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護活用につなげる。					
7	遺跡発掘調査等事業【繰越】	文化財保護課	2,317	-	-	
	平成29年度より実施した途中ヶ丘公園陸上競技場整備計画に伴う途中ヶ丘遺跡の試掘調査を行い、その成果をまとめた報告書を刊行することにより文化財保護を図るとともに活用につなげる。					
3. 資料館施設の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
①	市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。					
②	児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。					
③	郷土の歴史や文化財の調査を進め、貴重な資料を保管し後世に伝えます。					
④	資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。					
8	郷土資料館管理運営事業	文化財保護課	5,981	6,865	3,132	拡大
	民俗資料等の収蔵・調査・公開施設である郷土資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。					
9	古代の里資料館管理運営事業	文化財保護課	9,529	12,656	59,601	拡大
	考古資料・美術工芸品等の収蔵・調査・公開施設である丹後古代の里資料館の維持管理を行い、文化にふれあい、歴史を学ぶ機会を提供するとともに、郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高める。					
10	指定管理施設運営事業	文化財保護課	8,505	8,488	8,488	現状維持
	琴引浜鳴き砂文化館の維持管理を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。					
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
事務事業名称・事業内容(実績)		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	担当課					
11	文化財保護審議会委員設置事業	文化財保護課	191	155	234	現状維持
	文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。					
12	文化財保護一般経費	文化財保護課	295	364	324	現状維持
	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。					
		計	47,807	84,528	110,505	

### 3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本の方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。							
	目標指標	単位	計画作成時	実績値(現状)	目標値	年度	年度	年度
主な目標指標	文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数	人	1,468 (5事業、17講座)	H25	1,459	R1	1,700	R6
	資料館、文化館入館者数	人	13,808 (3施設)	H25	13,163	R1	15,000	R6
	史跡整備	遺跡	6	H25	7	R1	8	R6
	文化協会加盟サークル数	団体	170	H25	151	R1	200	R6
	文化芸術事業の開催回数	回	-	R1	70	R1	100	R6
	京都府丹後文化会館利用者数	人	-	R1	28,896	R1	42,000	R6

### 4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本の方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

**CHECK** **ACT**

進捗状況区分	評価	令和元年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	▲	<p>《文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数》 文化財セミナー(1回、100名)、京丹後史博士育成講座(8回、165名)、網野銚子山古墳発掘調査現地説明会(1回、166名)等の参加者のほか、高齢者大学・出前講座等の対応(31回、1,028名)があった。30年度末の実績値を上回ることができた。 今後、魅力ある講座や企画を打ち出し、目標値に近づけるようにしたい。</p> <p>《資料館、文化館入館者数》 開館2年目の郷土資料館は、開館記念無料開放を5月上旬まで実施した昨年度と比べ入館者数が大きく減少した。また丹後古代の里資料館、琴引浜鳴き砂文化館は、10連休のあった5月は入館者が増加したが、新型コロナウイルスの影響が出始めた3月の入館者数が減少したため、結果的に2館ともに入館者が減少した。 各館ともに、外的要因に打ち勝つような魅力ある企画を打ち出し、今後の集客増につなげていきたい。</p> <p>《史跡整備》 京丹後市史跡整備検討委員会の指導を得ながら平成29年度には環境整備基本設計を実施し、30年度より整備事業を進めている。 令和元年度は、検討委員会の指導を得ながら墳丘樹木の整理伐採、周濠の整備を行った。令和2年度以降も引き続き、環境整備事業を進め、令和5年度には完成予定である。</p> <p>《文化協会加盟サークル数》 各加盟団体が実施の教室や大会、市協会が実施の総合文化祭を通じて、市民のかたへ芸術鑑賞機会を提供することができた。今後も、市民が文化力を高め、加盟サークル数増加にもつながるよう協会を支援していく。</p> <p>《文化芸術事業の開催回数》 各地区文化祭、各町文化祭、文化協会総合文化祭、サークル体験、小町ろまん短歌大会、アーティスト・イン・レジデンス、文化芸術祭事業等例年通りの文化芸術活動が実施できた。 R2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の関係で多くの事業が中止となり目標数が減少する。</p> <p>《京都府丹後文化会館利用者数》 令和元年度は、2月までは例年通りの事業を開催できたが、2月・3月は新型コロナウイルス感染症の関係で事業中止となり利用者が減少した。 R2年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けるため、目標を下方修正する。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

### 5. 今後の施策展開の考え方(令和2年～令和4年度までの主な取組)

**ACT**

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	京丹後史博士育成講座、文化財セミナー等の講演会、資料館施設での様々な展示、体験事業を開催するとともに、出前講座への積極的な対応も行い、学習する機会の充実を図る。
	2	網野銚子山古墳の整備事業では、墳丘の補修、園路整備、周濠整備のほか、進入道路、駐車場等の整備を行う予定である。これにより、市民や外からの観光客に、日本海側最大の前方後円墳の姿を示し、地域学習や観光スポットとしての活用をはかる。
	3	丹後古代の里資料館、郷土資料館、琴引浜鳴き砂文化館を適切に維持管理するとともに、それぞれ収蔵資料の内容から機能分化し、市民や外からの観光客に、地域学習や観光スポットとしての活用を図る。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局						
	項	04 社会教育費	2,000千円	2,000千円	0千円	100.0%												
	目	06 文化財保護費				(参考)当初予算額												
	事	03 指定文化財等管理事業				2,000千円												
	細事	01 市指定文化財等補助金					課	文化財保護課										
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源															
目的	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。																	
主要な事務・事業の概要	<p>○京丹後市指定文化財等補助金 27件 2,000千円</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国、府指定登録文化財補助金該当分 9件 1,081千円</li> <li>・京都府社寺等文化資料保全補助金該当分 18件 919千円</li> </ul> <p>(京丹後市指定文化財及び未指定文化財のうち補助要件を満たすもの)</p> <p>事業対象は神社・寺院建物の修理、覆屋・収蔵庫の修理、郷土芸能の道具の修理・新調、史跡の修理などで、事業費の総額は、24,781千円であった。</p> <p>※参考 平成30年度事業実績</p> <table border="1"> <tr> <td>補助件数</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>2,000千円</td> </tr> <tr> <td>事業総額</td> <td>16,523千円</td> </tr> </table>		補助件数	14件	補助金額	2,000千円	事業総額	16,523千円	主な財源									
	補助件数	14件																
補助金額	2,000千円																	
事業総額	16,523千円																	
成果・課題	市内に数多く残る文化財の保全のために、修理等への補助金を交付することにより、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。																	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,837千円	1,851千円	14千円	99.2%						
	目	06 文化財保護費				(参考)当初予算額						
	事	03 指定文化財等管理事業				1,203千円						
	細事	02 史跡等維持管理事業					課	文化財保護課				
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源									
目的	指定文化財及びそれに関連する施設の草刈や補修等の維持管理を行い、指定文化財の適切な管理活用を図る。											
主要な事務・事業の概要	<p>○コウノトリモニタリング事業 133千円</p> <p>国指定特別天然記念物・コウノトリが市内3か所で営巣したため、モニタリング監視員を置き、観察・記録するとともに、巣周辺の立ち入り制限などの保護活動を行った。</p> <p>○史跡等草刈・環境美化委託 997千円</p> <p>史跡等用地の草刈、清掃等の維持管理を行った。</p> <p>神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳、郷村新層、旧口大野村役場、湯舟坂2号墳、竹野神社環境保全地区、高山12号墳、遠慮遺跡、黒部銚子山古墳、震災記念館用地、大谷古墳、浜詰遺跡、細川ガラシャ隠棲地、岡1号墳 計16件</p> <p>○指定文化財看板等修繕 592千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明板、標柱、案内看板等修繕 290千円</li> <li>(遠慮遺跡、市指定文化財鹿野八幡神社、鳴き砂注意喚起)</li> <li>・浜詰遺跡竪穴住居修繕(市指定史跡) 299千円</li> <li>・看板土地借上料(3か所) 3千円</li> </ul>		主な財源	<p>○指定文化財関連施設管理経費 115千円</p> <p>郷村新層、丹後震災記念館等の指定文化財施設の維持管理経費 90千円</p> <p>火災保険料(旧口大野村役場、郷村新層、浜詰遺跡復元住居) 25千円</p>								
	成果・課題	○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学等の利用促進につながった。 ○課題として、指定文化財の案内看板等に未整備のものがあるため、適時整備を行い、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	27,659千円	27,760千円	101千円	(参考)当初予算額	99.6%					
	目	06 文化財保護費										
	事	05 遺跡整備事業										
細事	01 遺跡整備事業									課	文化財保護課	
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源		国補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2)	13,255千円	市債	遺跡整備事業債(合併特例債)			12,100千円
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。											
主要な事務・事業の概要	<p>国史跡網野銚子山古墳について、平成23年度策定の「網野銚子山古墳整備基本計画」に基づき、史跡の保存を図りつつ令和元年度分の環境整備工事を行った。整備工事は、条例に基づき設置した京丹後市史跡整備検討委員会、文化庁等関係機関の指導を受け実施した。</p> <p>併せて、平成27～29年度に実施した発掘調査について、整理報告を行い、発掘調査報告書を発刊した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡整備検討委員会 3回開催(7/1、7/31、1/31)</li> <li>・発掘調査報告書 300部印刷</li> </ul> <p>○網野銚子山古墳整備事業費 27,659 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬 史跡整備検討委員会委員報酬(委員12人) 104 千円</li> <li>・賃金 発掘調査補助員賃金 620 千円</li> <li>・旅費 史跡整備検討委員会委員参集旅費、協議旅費 150 千円</li> <li>・需用費 整備事業事務消耗品費 30 千円</li> <li>発掘調査報告書印刷製本費 198 千円</li> <li>・委託料 環境整備工事実施設計・監理委託料 4,098 千円</li> <li>報告書図面作成委託料 484 千円</li> <li>維持管理草刈委託料 665 千円</li> <li>・工事請負費 環境整備工事費 21,310 千円</li> <li>整理伐採218本、墳丘裾復元盛土291㎡、周溝表示2,300㎡ほか</li> </ul>											
	成果・課題	史跡整備検討委員会の指導を受け、網野銚子山古墳の保存を図るための環境整備工事の一部を遂行できた。										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	18,473千円	20,280千円	1,807千円	(参考)当初予算額	91.0%					
	目	06 文化財保護費										
	事	05 遺跡整備事業										
細事	01 遺跡整備事業(繰越)									課	文化財保護課	
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源		国補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2)	8,858千円	市債	遺跡整備事業債(過疎対策債)			9,600千円
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。											
主要な事務・事業の概要	<p>国史跡網野銚子山古墳について、平成23年度策定の「網野銚子山古墳整備基本計画」に基づき、史跡の保存を図りつつ平成30年度から令和元年度への繰越分の環境整備工事を行った。</p> <p>○網野銚子山古墳整備事業費 18,473 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料 環境整備工事監理委託料 977 千円</li> <li>・工事請負費 環境整備工事費 17,496 千円</li> <li>整理伐採419本、墳丘補修盛土4か所、周溝表示2,084㎡、丸太階段1か所設置ほか</li> </ul>											
	成果・課題	史跡整備検討委員会の指導を受け、網野銚子山古墳の保存を図るための環境整備工事の一部を遂行できた。										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	6,031千円	6,394千円	363千円	94.3%	(参考)当初予算額	6,249千円	課	文化財保護課		
	目	06 文化財保護費										
	事	06 遺跡発掘調査等事業										
細事	01 遺跡発掘調査等事業	国補 府補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2) 2,550千円 埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金(1/4) 1,275千円									
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源										
目的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護活用につなげる。											
主要な事務・事業の概要	以下の発掘調査を実施し、開発事業計画に伴う調査の報告書を発行した。 ・整備事業に伴う調査：網野銚子山古墳（網野町） ・開発事業計画に伴う試掘調査：途中ヶ丘遺跡（峰山町）、太田古墳群（弥栄町）、女城跡（弥栄町）、加悦岡遺跡（久美浜町）、浜詰遺跡（網野町）	○発掘調査等経費 6,031 千円	・途中ヶ丘遺跡（現地調査 平成31年4月15～17日、令和元年9月20～25日） 工事計画範囲は公園造成時の盛土の範囲内であることを確認した。 ・太田古墳群（現地調査 令和元年5月9日～6月4日） 13～16号墳を調査。外表施設はなく既に全壊状態であった。 ・女城跡（現地調査 令和元年5月17日） 調査を実施した2か所のうち1か所で表土直下に地山が存在し、遺構面が浅い場所に位置する可能性が高いことを確認できた。 ・加悦岡遺跡（現地調査 令和元年11月5～15日） 遺跡隣接地7か所の調査を実施。既知の遺跡のすぐ北側で地山を確認し、他の調査箇所では河川堆積層がみられた。遺跡範囲の変更なし。 ・浜詰遺跡（現地調査 令和2年2月17～21日） 3か所の調査を実施。攪乱直下の砂丘堆積が厚く遺構確認できず。									
	○発掘調査等経費 6,031 千円 ・賃金 発掘調査補助員賃金 2,947 千円 ・旅費 協議旅費 11 千円 ・需用費 発掘調査消耗品、発電機ガソリン代、器具修繕料等 333 千円 ・役務費 し尿汲取手数料 4 千円 ・委託料 作業員人材派遣委託料 1,209 千円 図面作成委託料 728 千円 ・使用賃借料 重機借上、発電機借上、仮設トイレ借上等 586 千円 ・備品購入費 発掘調査用カメラ（1台）・記録メディア購入 213 千円	成果・課題 ○網野銚子山古墳の発掘調査では、残りの良い遺構を確認することができ、今後の整備や古墳の詳細な復元につながる知見を得た。 ○開発に伴う試掘調査では、遺跡の範囲や残り具合を確認でき、今後の開発事業との調整を行うための資料を得た。										
	<調査期間及び成果> ・網野銚子山古墳（現地調査 令和元年5月21日～令和2年2月14日） 墳丘斜面から良好な状態の墓石を確認、墳丘テラス面には樹立したまま残る埴輪列と礎礎を検出し、古墳の前方形の大きさ・形状を復元する手がかりが得られた。											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	6,865千円	7,075千円	210千円	97.0%	(参考)当初予算額	7,459千円	課	文化財保護課		
	目	04 資料館費										
	事	01 郷土資料館管理運営事業										
細事	01 郷土資料館管理運営事業	使用料	郷土資料館入館料 23千円									
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源										
目的	民俗資料等の収集・調査・公開施設である郷土資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。											
主要な事務・事業の概要	豊富に残る市所蔵の民俗資料、古文書・典籍・書籍等を適切に保管・公開するとともに、普及啓発事業として「むかしの装い展」、「こどもの節句展」等の企画展示や、体験イベントとして「郷土資料館まつり」を実施した。あわせて高圧の電気設備を低圧電力へ変更する工事を実施した。 令和元年度入館者数822人（平成30年度入館者数1,684人）※開館記念無料開放を実施した平成30年度の4・5月と比べての減少、令和2年2月からの新型コロナウイルス感染症の流行による小学校利用の減少等により、入館者が減少した。	○人件費 1,074 千円 ・臨時職員賃金（1人） 1,071 千円 ・労災保険料 3 千円	○郷土資料館電気設備低圧変更工事 3,743 千円 ・工事設計委託料 670 千円 ・工事請負費 3,073 千円									
	○維持管理費 1,941 千円 ・光熱水費 888 千円 ・消耗品費、燃料費 263 千円 ・通信運搬費等 80 千円 ・機械整備委託料 83 千円 ・施設管理委託料（浄化槽維持管理、電気設備保守管理等） 331 千円 ・修繕料（消防設備不良修繕等） 82 千円 ・保険料（火災保険） 53 千円 ・その他管理経費（コピー機リース料、テレビ受信料） 161 千円	○体験用経費 18 千円 ・報償費（郷土資料館まつり謝礼） ○備品購入費（ノートパソコン1台） 89 千円 ※パソコンOSのサポート終了による更新										
		成果・課題 ○市内小学校3年生の社会科見学の受け入れを行い、実物に触れながら学ぶ等の工夫を行うことで学習効果の向上につなげた。 ○今後、収集資料の調査・整理を進めるとともに、常設展示の配置や展示資料の解説内容などを工夫、改善していくことが必要である。										

予備科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	12,656千円	13,072千円	416千円	96.8%	(参考)当初予算額	15,561千円				
	目	04 資料館費										
	事	02 古代の里資料館管理運営事業										
	細事	01 古代の里資料館管理運営事業	主な財源	使用料 古代の里資料館入館料 499千円 諸収入 古代の里資料館物品販売代金 19千円 諸収入 古代の里資料館陶芸教室実習料 155千円 諸収入 古代の里資料館書籍販売代金 156千円 市債 社会教育施設整備事業債(過疎対策債) 2,800千円								
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進											
目的	考古資料・美術工芸品等の収蔵・調査・公開施設である丹後古代の里資料館の維持管理を行い、文化にふれあい、歴史を学ぶ機会を提供するとともに、郷土の文化遺産に関する住民の関心を高める。 考古資料・美術工芸品等を適切に保管・公開し、文化財の保護、普及啓発を図るため、「京丹後市内の学校所蔵資料1・2」、「細川ガラシャ隠棲地」、「新収蔵品展」等の企画展示を開催したほか、夏休み期間の市内小学生入館無料を実施した。 また施設・設備等の劣化に伴う改修工事の実施設計を行った。 令和元年度入館者数2,821人(平成30年度入館者数3,259人)※3月実施の「古代の里まつり」を翌年度に延期したこと、新型コロナウイルス感染症の流行の影響等により、入館者数が減少した。											
主要な事務・事業の概要	○人件費 5,750千円 ・資料館長報酬、共済費、費用弁償 2,415千円 資料館長報酬 166,500円×12か月=1,998千円 ・臨時職員賃金、共済費 3,335千円 臨時職員(3人)の賃金と社会保険料等事業主負担分	○維持管理経費 3,974千円 ・光熱水費 1,185千円 ・消耗品費、燃料費、印刷製本費 307千円 ・通信運搬費等 160千円 ・機械警備委託料 85千円 ・施設管理委託料(浄化槽維持管理、電気設備保守管理等) 453千円 ・修繕料(浄化槽、高圧交流負荷開閉器等) 1,185千円 ・土地借上料(2,915㎡) 303千円 ・保険料(火災保険) 28千円 ・その他経費(清掃用具借上、IT-機リ-ス、資料借用旅費等) 50千円 ・備品購入費(パソコン2台) 218千円 ※パソコンOSのサポート終了による更新										
	○体験用経費 101千円 ・原材料費(勾玉作り材料及び陶芸体験用材料) 74千円 ・報償費(窯焼謝礼) 27千円	○普及啓発事業として考古・歴史資料を紹介する企画展示等を開催し、文化財の普及啓発を図った。 ○市内小中学校の歴史や「丹後学」の授業での活用により、児童生徒の地域の歴史に関する知識を深め、関心を高めることができた。今後もより多くの小中学校の利用を勧めるための工夫が必要である。 ○開館から20年以上が経過し、屋内外の設備の計画的な更新等が今後の検討課題である。										
	○空調設備等改修工事設計委託料 2,831千円											

予備科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	8,488千円	8,488千円	0千円	100.0%	(参考)当初予算額	8,436千円				
	目	04 資料館費										
	事	03 資料館等指定管理運営事業										
	細事	01 指定管理施設運営事業	主な財源									
基本計画	05 次世代への美しい自然環境の継承											
目的	琴引浜鳴き砂文化館の維持管理を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。											
主要な事務・事業の概要	鳴き砂や環境保全の学習施設として設置し、指定管理者制度により、地元の掛津区が管理運営を行っている。環境学習のための教育施設であるとともに、山陰海岸ジオパークを紹介する観光施設としても重要な拠点と位置付けられている。 令和元年度入館者数9,520人(平成30年度入館者数9,787人)											
	○委託料 指定管理者の管理運営に伴う指定管理委託料 7,200千円											
	○使用料及び賃借料 建物の所有者である公益財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料及び駐車場用地賃借料 1,288千円											
	○各種視察受け入れやジオパーク関連事業、ガイド事業への支援・協力などを行い、京丹後市を代表する自然系の展示施設としての役割を果たした。 ○リピーターを含む市内内外の利用者獲得へ向け、展示内容のリニューアル等の検討を進めるほか、施設修繕を計画的に実施し、市の施設として適正な運営に努める必要がある。											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	155千円	235千円	80千円	65.9%		
	目	06 文化財保護費				(参考)当初予算額		
	事	01 文化財保護審議会委員設置事業				235千円		
	細事	01 文化財保護審議会委員設置事業	主な財源					
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進							
目的	文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。							
主要な事務・事業の概要	○文化財保護審議会の開催経費 79千円 文化財指定、市指定文化財の管理・現状変更に関する事項や、文化財関係事業等を検討するため、審議会を開催した。委員定数10人。 ・報酬 半日×2回(4千円×17人・回) 68千円 ・費用弁償 11千円 ○両丹文化財保護連絡協議会への参加経費 76千円 令和元年度は福知山市で開催(令和元年10月30日) ・報酬 協議会出席:1日×8人(7千円×8人) 56千円 ・費用弁償 19千円 ・普通旅費 1千円							
			成果・課題	○文化財関係事業について、審議会委員の意見を聞きながら進めることができた。 ○新たな文化財指定について審議を行うとともに、次年度の指定に向けて、諮問を受け審議を行うことができた。 ○両丹文化財保護連絡協議会へ参加し、各市町間での報告や意見交流を行うことにより、委員の研鑽を積むことができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	364千円	397千円	33千円	91.6%		
	目	06 文化財保護費				(参考)当初予算額		
	事	50 文化財保護一般経費				397千円		
	細事	01 文化財保護一般経費	主な財源					
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進							
目的	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。							
主要な事務・事業の概要	○文化財関係加盟団体経費 70千円 京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金 ・全国史跡整備市町村協議会 40千円 ・全史協近畿地区協議会 10千円 ・全国鳴き砂ネットワーク 20千円 ○文化財収蔵施設維持管理費 77千円 資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費(成路分校、十楽倉庫、旧三重保育所、丹後震災記念館) ・光熱水費 36千円 ・火災保険料 17千円 ・草刈委託料 22千円 ・廃消火器処理手数料 2千円							
	○一般事務経費 217千円 ・消耗品費 37千円 ・旅費(史跡整備市町村協議会会議出席等) 180千円		成果・課題	文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。				

## 京丹後市教育振興計画

### 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	小坂 貴寛
生涯学習課	引野 雅文

重点目標	7	たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します
基本の方針	子どもたちのスポーツに親しむ習慣の確立や体力づくりに取り組み、たくましく健やかな身体を育みます。また、子どもから高齢者まで、だれもが豊かで充実した生活を送ることができるよう、市民が生涯にわたってスポーツに取り組むことのできる環境づくりを進めます。	

#### 1. 施策の方向性

#### PLAN

1. 健康な体づくり	①子どもの基本的な生活習慣の確立のため、学校園が連携し、発達段階に応じた系統的な指導を行うとともに、その大切さについて家庭への啓発に努めます。 ②喫煙・薬物乱用などの防止、各種感染症や生活習慣病の予防等に関する指導、エイズを含む性に関する指導について、子どもの発達段階に応じた系統的な指導を行います。 ③食の知識や規則正しい生活習慣等を身につけさせるため、適切な給食指導を行うとともに、「丹後学」等を通して地場産物や郷土食に親しむ学習をするなど、家庭や地域と連携した食育の取り組みを進めます。 ④児童生徒の体力・運動能力の実態や課題を的確に把握・分析し、小中学校の一貫した体育指導を進めます。 ⑤学校園、家庭及び地域が連携して子どもの運動・スポーツ環境の充実を図るため、学校体育施設の開放や学校支援ボランティア等を活用したスポーツ指導を進めます。
2. 地域スポーツ活動の推進	①スポーツ推進委員をはじめ地区公民館、PTA等と連携し、各種ニュースポーツ教室等の実施や各種スポーツ行事等への協力等、スポーツの普及を図ります。 ②市民の多様なスポーツニーズに対応した活動を充実するため、体育協会等の活動支援及び組織強化を支援します。 ③市民の健康づくりとして、年齢や体力、目的に応じた日常的なスポーツ活動を促進するために、効果的なスポーツ情報と機会の提供を進めます。
3. 競技力の向上	①学校体育団体と連携し、子どもたちの競技スポーツへの関心を高めるとともに競技力の向上を図るため、小中学校の一貫した指導を進めます。 ②体育協会と連携し、京丹後市総合体育大会の参加者の拡大及び競技力の向上に向けて大会の実施方法等について検討を進めます。 ③市民の競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによる指導機会の拡充に努めるとともに、トップアスリートの競技を観戦する機会の提供に努めます。 ④青少年のスポーツ活動における指導者を育成するため、研修機会の充実を図るとともに、ジュニアアスリートの育成・支援の方法について検討します。
4. 社会体育施設の整備充実	①社会体育施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい社会体育施設の改修・修繕等を進めます。 ②社会体育施設の利用実態を把握して利用率の向上を図るとともに、利用率の向上が見込めない施設や老朽化した施設については、見直しや代替利用のあり方も含めて検討を進めます。

#### 【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市スポーツ推進計画	年齢や性別、障害等を問わず、広く市民がその適正やライフステージに応じてスポーツに参画できるよう、中長期的な展望に立った「京丹後市スポーツ推進計画」を策定するもの	平成26年3月	平成26年度～平成29年度	第2次京丹後市スポーツ推進計画(平成30年度～令和9年度)
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力を全ての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

#### 2. 主な取組と構成事務事業一覧

#### PLAN

#### DO

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

#### CHECK

#### ACT

1. 健康な体づくり		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)				
①	子どもの基本的な生活習慣の確立のため、学校園が連携し、発達段階に応じた系統的な指導を行うとともに、その大切さについて家庭への啓発に努めます。				
②	喫煙・薬物乱用などの防止、各種感染症や生活習慣病の予防等に関する指導、エイズを含む性に関する指導について、子どもの発達段階に応じた系統的な指導を行います。				
③	食の知識や規則正しい生活習慣等を身につけさせるため、適切な給食指導を行うとともに、「丹後学」等を通して地場産物や郷土食に親しむ学習をするなど、家庭や地域と連携した食育の取り組みを進めます。				
④	児童生徒の体力・運動能力の実態や課題を的確に把握・分析し、小中学校の一貫した体育指導を進めます。				
⑤	学校園、家庭及び地域が連携して子どもの運動・スポーツ環境の充実を図るため、学校体育施設の開放や学校支援ボランティア等を活用したスポーツ指導を進めます。				

1. 健康な体づくり		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
1	小中一貫教育推進事業《再掲》 「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。	学校教育課	-	-	-	現状維持
2. 地域スポーツ活動の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① スポーツ推進委員をはじめ地区公民館、PTA等と連携し、各種ニュースポーツ教室等の実施や各種スポーツ行事等への協力等、スポーツの普及を図ります。						
② 市民の多様なスポーツニーズに対応した活動を充実するため、体育協会等の活動支援及び組織強化を支援します。						
③ 市民の健康づくりとして、年齢や体力、目的に応じた日常的なスポーツ活動を促進するために、効果的なスポーツ情報と機会の提供を進めます。						
2	スポーツ推進委員活動事業 市民にスポーツに関する指導を行うスポーツ推進委員を委嘱し、住民の求めに応じた身近な場でのスポーツの機会を提供することにより、市民が気軽に親しめるスポーツ活動を推進し、本市のスポーツの振興を図る。	生涯学習課	3,374	4,245	3,667	現状維持
3	保健体育総務一般経費 社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、スポーツ基本法に基づき設置したスポーツ推進審議会を運営し、市民の意見を反映したスポーツ環境の整備及びスポーツ活動の推進を図る。	生涯学習課	300	444	253	現状維持
4	地域スポーツ推進事業 ライフステージに応じた各種スポーツ大会を実施することで、市民の生きがいの実感や健康づくりを促進するとともに、スポーツを通じた交流機会を確保しスポーツ人口の拡大を図る。	生涯学習課	6,163	5,987	6,312	現状維持
3. 競技力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 学校体育団体と連携し、子どもたちの競技スポーツへの関心を高めるとともに競技力の向上を図るため、小中学校の一貫した指導を進めます。						
② 体育協会と連携し、京丹後市総合体育大会の参加者の拡大及び競技力の向上に向けて大会の実施方法等について検討を進めます。						
③ 市民の競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによる指導機会の拡充に努めるとともに、トップアスリートの競技を観戦する機会の提供に努めます。						
④ 青少年のスポーツ活動における指導者を育成するため、研修機会の充実を図るとともに、ジュニアアスリートの育成・支援の方法について検討します。						
5	社会体育団体育成事業 スポーツ団体による主体的な活動を支援し、市民へのスポーツの普及と振興を図るとともに、スポーツによる青少年の健全育成と体力の向上を図る。	生涯学習課	20,140	19,364	19,811	現状維持
4. 社会体育施設の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 社会体育施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい社会体育施設の改修・修繕等を進めます。						
② 社会体育施設の利用実態を把握して利用率の向上を図るとともに、利用率の向上が見込めない施設や老朽化した施設については、見直しや代替利用のあり方も含めて検討を進めます。						
6	体育施設管理運営事業 市民の身近なスポーツ活動の拠点施設として体育施設を管理することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図る。	生涯学習課	48,633	58,283	52,508	改善・効率化
7	体育施設管理運営事業【繰越】 グラウンド内の部分的陥没が発生した豊栄山村広場グラウンドの原因調査を行い、復旧工事の方策の検討を進める。	生涯学習課	9,126	-	-	
8	社会体育用学校開放施設管理運営事業 地域住民にとって身近で利用しやすい学校体育施設を開放及び維持管理することにより、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって生活文化の向上に資する。	生涯学習課	2,836	3,296	1,928	現状維持
9	竹野体育館改修事業【再編交付金活用事業】 社会体育施設として活用している竹野体育館について、耐震診断の結果、耐震等の改修を行う必要があると判断されたことにより、改修工事を行う。	生涯学習課	-	-	-	終了・廃止
10	保健体育施設災害復旧事業 豪雨及び台風等の自然災害により被災した保健体育施設の災害復旧を行う。	生涯学習課	697	-	-	終了・廃止
11	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業 峰山途中ヶ丘公園陸上競技場を、日本陸連公認第3種陸上競技場として整備することにより、第2次京丹後市スポーツ推進計画に掲げる「スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実」を推進するとともに、スポーツを通じた交流人口の拡大、地域活性化を図る。	生涯学習課	12,940	192,969	410,174	終了・廃止
12	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業【繰越】 峰山途中ヶ丘公園陸上競技場を、日本陸連公認第3種陸上競技場として整備することにより、第2次京丹後市スポーツ推進計画に掲げる「スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実」を推進するとともに、スポーツを通じた交流人口の拡大、地域活性化を図る。	生涯学習課	-	4,910	-	
13	スポーツ施設整備基金 峰山途中ヶ丘公園陸上競技場のリニューアル事業の推進にあたり、京都府の補助金をスポーツ施設整備基金に積み立てるもの。	生涯学習課	560	9,152	25,574	縮小

上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
事務事業名称・事業内容(実績)		担当課	H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性
14	スポーツイベント推進事業 観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。	生涯学習課	11,669	10,160	7,672	現状維持
15	オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業 東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業の実施により、スポーツツーリズムの推進、インバウンドの増加及びスポーツによる地域活性化を図る。	生涯学習課	6,694	5,462	22,432	縮小
16	オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業【繰越】 東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業の実施により、スポーツツーリズムの推進、インバウンドの増加及びスポーツによる地域活性化を図る。	生涯学習課	-	15,229	-	
17	ワールドマスターズゲームズ関西推進事業 ワールドマスターズゲームズ2021関西(WMG)の取組を通じて、本市の滞在型スポーツ観光の推進、障害者スポーツの基盤づくり及び地域の活性化を図る。	生涯学習課	723	7,161	7,778	
18	東京2020オリンピック聖火リレー事業 東京2020オリンピック聖火リレーを実施することにより、大会の機運醸成、ホストタウン事業等の成功に資するとともに、スポーツ振興、地域活性化などスポーツによるまちづくりを推進する。	生涯学習課	-	955	4,155	現状維持
計			123,855	337,617	562,264	

### 3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	子どもたちのスポーツに親しむ習慣の確立や体力づくりに取り組み、たくましく健やかな身体を育みます。また、子どもから高齢者まで、だれもが豊かで充実した生活を送ることができるよう、市民が生涯にわたってスポーツに取り組むことのできる環境づくりを進めます。						
	目標指標	単位	計画作成時 年度	実績値(現状) 年度		目標値 年度	
主な目標指標	朝食を毎日食べる児童の割合<小学校>	%	97.8 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙 H25	97.5	R1	100	R6
	朝食を毎日食べる生徒の割合<中学校>	%	91.1 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙 H25	91.5	R1	95%以上	R6
	平日、午前7時より前に起きる児童の割合<小学校>	%	88.4 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙 H25	87.9 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力テスト質問項目による)	R1	100	R6
	平日、午前7時より前に起きる生徒の割合<中学校>	%	77.2 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙 H25	82.0 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力テスト質問項目による)	R1	85%以上	R6
	平日、午後11時より前に寝る児童の割合<小学校>	%	91.6 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙 H25	97.2 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力テスト質問項目による	R1	100	R6
	平日、午後11時より前に寝る生徒の割合<中学校>	%	45.0 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙 H25	84.8 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力テスト質問項目による	R1	50%以上	R6
	小学生(5年生)の体力テスト全国平均以上	種目	8種目中7種目 H25	8種目中5種目	R1	全種目	R6
	中学生(2年生)の体力テスト全国平均以上	種目	8種目中4種目 H25	8種目中4種目	R1	全種目	R6
	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	21.6 市民アンケート調査結果 H24	33.0	R1	65.0 (国の目標)	R6

目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
		年度	年度	年度	年度		
京都府民総合体育大会入賞競技数	競技	6 京都府民総合体育大会結果	H25	8	R1	10	R6
公共スポーツ施設の利用回数	回	11,253 公共施設利用状況調査結果	H24	10,543	R1	13,000	R6
スポーツイベント参加者数	人	-	R1	13,661	R1	18,600	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

**CHECK** **ACT**

進捗状況区分	評価	令和元年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>《朝食を毎日食べる児童生徒の割合》 朝食を毎日食べる児童生徒の割合は、小学生は増加し中学生はやや減少した。各校園における家庭向けの啓発及び児童生徒への丁寧な指導により確実に定着してきているが、今後も保護者との連携を更に密にし、児童生徒全員が朝食を毎日食べる取組を進めていく必要がある。</p> <p>《平日、午前7時より前に起きる児童生徒の割合》 平日午前7時より前に起きる児童生徒の割合は、小中学生ともに減少した。今後も継続して各校園で課題を共有し、具体的な家庭への啓発等により改善を図っていく必要がある。</p> <p>《平日、午後11時より前に寝る児童生徒の割合》 平日午後11時より前に寝る児童生徒の割合は、中学生はやや減少したが小学生は増加し、小中学生ともに高い水準である。今後も各校園で課題を共有し、具体的な家庭への啓発等により改善を図っていく必要がある。</p> <p>《小学生(5年生)の体力テスト全国平均以上》 小学校では、握力、上体起こし、長座体前屈が全国平均を下回ったが、前年度に比べて全国平均を上回る種目が増加した。引き続き、体育科を含む各校の教育活動全体を通じた体力づくりの取組等により、意識的に課題のある運動能力について克服していく必要がある。</p> <p>《中学生(2年生)の体力テスト全国平均以上》 中学校では、握力、長座体前屈などが全国平均を下回ったが、前年度に比べて全国平均を上回る種目が増加した。引き続き、体育科を含む各校の教育活動全体を通じた体力づくりの取組等により、意識的に課題のある運動能力について克服していく必要がある。</p> <p>《成人の週1回以上のスポーツ実施率》 日常の中にスポーツを取り入れ、健康増進と体力の向上を図るため、スポーツ推進委員会を中心に地域でのニュースポーツ教室等を開催するとともに、チャレンジデーイベントに初めて取り組み、気軽にスポーツに接する機会を提供した。 ニュースポーツ教室は、年間1,000人を超える参加者があるが参加者が固定化されており、仕事や家事、育児、介護等でスポーツをすることが難しい世代、また障害者、高齢者等に配慮した魅力ある行事の開催とスポーツ教室に関する情報の提供が課題である。</p> <p>《京都府民総合体育大会入賞競技数》 入賞競技数も増加、市町村対抗の総合順位は8位となり、前年の9位から順位を上げた。今後は、来年度の2020年東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西を契機とし、競技力の向上を目指す。特に将来性を有するジュニアアスリートを養成する支援体制を整えることが重要である。</p> <p>《公共スポーツ施設の利用回数》 スポーツの推進を図るため、積極的に体育施設の開放を行い、利用者の拡大に努めました。近年、公共施設の利用者は減少傾向にあり、市内人口の減少によるものや市民のスポーツ種別が多様化したものと推測する。今後は、公共施設の見直し計画による施設の集約化や指定管理者制度の導入等、より市民のニーズに則した施設環境づくりと機会の提供が求められる。 R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けるため、目標を下方修正する。</p> <p>《スポーツイベント参加者数》 スポーツ観光のまちづくりを推進するため、各種スポーツイベントの開催、ジオパークの魅力を活用したウルトラマソン等を開催することで市内外の参加者が気軽にスポーツができる環境を提供した。今後は各種イベントについて、内外からの意見を聞き入れ、地域と一体となり地域資源等を取り入れ、工夫を行い、参加者が増える取り組みを行っていく必要があります。 R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けるため、目標を下方修正する。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
×		
大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和2年～令和4年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	子どもたちの基本的な生活習慣を確立させるため、学校園が連携し、発達段階に応じた指導を継続するとともに、丹後学を通じた学習や、地産地消・給食指導など、家庭、地域と連携した食育の取組みを更に推進する。
	2	市民のニーズに合ったスポーツの推進や、各地区の事業やPTA活動への協力を行うなど、多くの人々がスポーツに親しめる機会を設ける。また、競技性の高いスポーツについては体育協会と連携し活動する機会を支援する。
	3	京丹后市体育協会の更なる組織強化等に向け法人化の検討を支援するとともに、引き続き財政支援を行うことにより、各種スポーツ大会の実施や府民総合体育大会への出場選手の拡大を図り、競技力の向上を目指す。
	4	市内には多くの社会体育施設が点在しているが、地域の大切なコミュニティの場としての役割も大きいと見直しを行う。
	5	交流人口の増加等、地域活性化を図るため、事業効果の高いスポーツイベントを推進するとともに、東京2020大会、WMG関西に向け、ホストタウンとしての取組、必要な施設整備を推進する。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	4,245千円	4,540千円	295千円	(参考)当初予算額	4,540千円	93.5%	課	生涯学習課		
	目	01 保健体育総務費										
	事	01 スポーツ推進委員活動事業										
	細事	01 スポーツ推進委員活動事業										
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源									
目的	市民にスポーツに関する指導を行うスポーツ推進委員を委嘱し、住民の求めに応じた身近な場でのスポーツの機会を提供することにより、市民が気軽に親しめるスポーツ活動を推進し、本市のスポーツの振興を図る。											
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進委員報酬（市職員1人を除く51人分）	2,550千円	<活動内容> ・ノルディック・ウォーキング体験会：年間30回、456人参加 ・ニュースポーツ体験会(ビーチボールバレーほか)：年間91回、1,726人参加 ・地区活動やPTA行事、高齢者大学などにおけるスポーツ指導 (ノルディック・ウォーキング、ニュースポーツ、体カテストほか) ・スポーツ大会への協力(丹後100kmウルトラマラソン、丹後大学駅伝ほか)									
	○旅費（スポーツ推進委員活動費用弁償、職員旅費）	596千円										
	○需用費（消耗品費、燃料費） ・スポーツ推進委員シャージ更新（52人分）、研修会テキスト代	790千円										
	○役務費（スポーツ安全保険料）	124千円										
	○委託料（バス運転委託料）	61千円										
	○使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料）	45千円										
	○負担金、補助及び交付金 ・各種大会等参加負担金 ・丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金 ・近畿スポーツ推進委員研究協議会参加負担金	79千円 8千円 47千円 24千円	成果・課題	○「ノルディック・ウォーキング」、「ニュースポーツ」の普及に努め、幅広い年代の方へスポーツへの参加機会を提供することができた。 ○今後は、スポーツへの参加機会の提供だけでなく、地域において、スポーツ指導をする場を設けられるよう、地区公民館等に働きかけ、連携を図る必要がある。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	444千円	670千円	226千円	(参考)当初予算額	670千円	66.2%	課	生涯学習課		
	目	01 保健体育総務費										
	事	50 保健体育総務一般経費										
	細事	01 保健体育総務一般経費										
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源									
目的	社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、スポーツ基本法に基づき設置したスポーツ推進審議会を運営し、市民の意見を反映したスポーツ環境の整備及びスポーツ活動の推進を図る。											
主要な事務・事業の概要	○報酬（スポーツ推進審議会委員） ・委員：12人、開催回数：2回（5月13日、12月23日）	72千円	「第2次京丹後市スポーツ推進計画」に基づき、市民の意見を反映したスポーツ環境の整備、スポーツ活動の推進を図ることができた。									
	○旅費（スポーツ推進審議会委員費用弁償、先進地視察等旅費）	23千円										
	○需用費（消耗品）	4千円										
	○使用料及び賃借料（有料道路通行料）	6千円										
	○備品購入費 ・カローリング購入（2セット）	339千円										
	成果・課題											

外審項目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																												
	項	05 保健体育費	5,987千円	6,051千円	64千円	98.9%																														
	目	02 保健体育事業費				(参考)当初予算額																														
	事	01 スポーツのまちづくり推進事業					6,690千円																													
	細事	01 地域スポーツ推進事業																																		
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実					主な財源																														
目的	ライフステージに応じた各種スポーツ大会を実施することで、市民の生きがいの実感や健康づくりを促進するとともに、スポーツを通じた交流機会を確保しスポーツ人口の拡大を図る。																																			
主要な事務・事業の概要	○報償費 22千円 ・はしうど杯卓球選手権大会審判員謝金 18千円 ・入賞記念品(くみはまニューススポーツ交流大会、はしうど杯卓球大会) 4千円 ○旅費(職員旅費) 2千円 ○需用費(消耗品費、燃料費、食糧費) 241千円 ○委託料 1,062千円 ・カヌースプリント春季・秋季大会運営委託料 926千円 ・市長杯中学生野球大会開催委託料 101千円 ・弥栄町文化祭駅伝大会バス運転委託料 22千円 ・京都府民総合体育大会バス運転委託料 13千円 ○負担金、補助金及び交付金 4,660千円 ・京都府民総合体育大会派遣費補助金 1,206千円 ・京丹後市総合体育大会開催補助金 3,300千円 ・京丹後チャレンジデー実行委員会補助金 154千円		<大会実施状況> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大会名</th> <th>開催日</th> <th>参加者等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カヌースプリント春季・秋季大会</td> <td>5/18(土)、10/26(土)</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td>京丹後チャレンジデー2019</td> <td>5/29(水)</td> <td>参加率48.1%、26,527人 秋田県湯沢市を相手に敗戦</td> </tr> <tr> <td>市長杯中学生野球大会</td> <td>6/1、2(土・日)</td> <td>6校、130人</td> </tr> <tr> <td>京都府民総合体育大会</td> <td>8月～2月</td> <td>15競技参加、入賞8競技</td> </tr> <tr> <td>京丹後市総合体育大会</td> <td>9/1(日)</td> <td>21種目、2,000人</td> </tr> <tr> <td>くみはまニューススポーツ交流大会</td> <td>9/22(日)</td> <td>49人(雨天のため屋外競技のみ)</td> </tr> <tr> <td>弥栄町文化祭駅伝大会</td> <td>11/3(日・祝)</td> <td>9チーム、127人</td> </tr> <tr> <td>はしうど杯卓球選手権大会</td> <td>12/1(日)</td> <td>105人</td> </tr> </tbody> </table>							大会名	開催日	参加者等	カヌースプリント春季・秋季大会	5/18(土)、10/26(土)	75人	京丹後チャレンジデー2019	5/29(水)	参加率48.1%、26,527人 秋田県湯沢市を相手に敗戦	市長杯中学生野球大会	6/1、2(土・日)	6校、130人	京都府民総合体育大会	8月～2月	15競技参加、入賞8競技	京丹後市総合体育大会	9/1(日)	21種目、2,000人	くみはまニューススポーツ交流大会	9/22(日)	49人(雨天のため屋外競技のみ)	弥栄町文化祭駅伝大会	11/3(日・祝)	9チーム、127人	はしうど杯卓球選手権大会	12/1(日)	105人
	大会名	開催日	参加者等																																	
カヌースプリント春季・秋季大会	5/18(土)、10/26(土)	75人																																		
京丹後チャレンジデー2019	5/29(水)	参加率48.1%、26,527人 秋田県湯沢市を相手に敗戦																																		
市長杯中学生野球大会	6/1、2(土・日)	6校、130人																																		
京都府民総合体育大会	8月～2月	15競技参加、入賞8競技																																		
京丹後市総合体育大会	9/1(日)	21種目、2,000人																																		
くみはまニューススポーツ交流大会	9/22(日)	49人(雨天のため屋外競技のみ)																																		
弥栄町文化祭駅伝大会	11/3(日・祝)	9チーム、127人																																		
はしうど杯卓球選手権大会	12/1(日)	105人																																		
		成果・課題 市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることにより、市民の健康・体力づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の提供、地域の活性化に寄与した。																																		

外審項目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																															
	項	05 保健体育費	19,364千円	19,759千円	395千円	98.0%																																																	
	目	01 保健体育総務費				(参考)当初予算額																																																	
	事	03 社会体育団体育成事業					20,029千円																																																
	細事	01 社会体育団体育成事業																																																					
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実					主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 2,000千円																																																
目的	スポーツ団体による主体的な活動を支援し、市民へのスポーツの普及と振興を図るとともに、スポーツによる青少年の健全育成と体力の向上を図る。																																																						
主要な事務・事業の概要	本市の体育振興の中心的な組織である京丹後市体育協会に対し支援を行うとともに、京丹後市スポーツ少年団への支援を行った。 ○京丹後市体育協会補助金 15,727千円 ・加盟団体数：21団体(4,314人) ※令和2年3月末現在 ・本部及び支部事業の実施 スポーツ指導者研修会の開催(令和元年11月29日) 各町支部、各競技団体の活動支援(年間) 大会協力(丹後100kmウルトラマラソン、丹後大学駅伝) ・広報紙の発行(年3回) ○京丹後市スポーツ少年団活動補助金 3,637千円 ・加入団体数：66団体(児童生徒数：1,558人、指導者数：358人) ・事業内容：指導者講習会、各スポーツ教室の支援 ※子どもスポーツ推進事業(補助金)は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止 予定日時：令和2年3月7日(土)17:00～19:00 内容：「メンタルトレーニングから学ぶアスリート育成及び子育て」講演会		<京丹後市スポーツ少年団 種目別団体数> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>団体数</th> <th>種目</th> <th>団体数</th> <th>種目</th> <th>団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>野球</td> <td>10</td> <td>柔道</td> <td>1</td> <td>卓球</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バレーボール</td> <td>11</td> <td>硬式テニス</td> <td>2</td> <td>複合</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール</td> <td>5</td> <td>ソフトテニス</td> <td>2</td> <td>カヌー</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>サッカー</td> <td>7</td> <td>バドミントン</td> <td>3</td> <td>レスリング</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>空手道</td> <td>6</td> <td>少林寺拳法</td> <td>1</td> <td>スキー</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>陸上</td> <td>7</td> <td>新体操</td> <td>1</td> <td rowspan="2">合計</td> <td rowspan="2">66</td> </tr> <tr> <td>剣道</td> <td>4</td> <td>体操</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>							種目	団体数	種目	団体数	種目	団体数	野球	10	柔道	1	卓球	1	バレーボール	11	硬式テニス	2	複合	1	バスケットボール	5	ソフトテニス	2	カヌー	1	サッカー	7	バドミントン	3	レスリング	1	空手道	6	少林寺拳法	1	スキー	1	陸上	7	新体操	1	合計	66	剣道	4	体操	1
	種目	団体数	種目	団体数	種目	団体数																																																	
野球	10	柔道	1	卓球	1																																																		
バレーボール	11	硬式テニス	2	複合	1																																																		
バスケットボール	5	ソフトテニス	2	カヌー	1																																																		
サッカー	7	バドミントン	3	レスリング	1																																																		
空手道	6	少林寺拳法	1	スキー	1																																																		
陸上	7	新体操	1	合計	66																																																		
剣道	4	体操	1																																																				
		成果・課題 ○スポーツ団体の組織強化を支援することにより、スポーツ団体が実施する各種教室及び大会などを通して、幅広い年代層へスポーツに親しむ機会を提供することができた。 ○京丹後市体育協会の更なる組織強化、効果的な事業実施に向け、法人化等の検討を引き続き支援する必要がある。																																																					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	58,283千円	59,229千円	946千円	98.4%		
	目	03 体育施設費				課	生涯学習課	
	事	01 体育施設管理運営事業						
細事	01 体育施設管理運営事業							
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料	社会体育施設使用料	2,751千円		
目的	市民の身近なスポーツ活動の拠点施設として体育施設を管理することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図る。			使用料	公有財産使用料	155千円		
主要な事務・事業の概要			諸収入	自動販売機売上料	37千円			
			諸収入	旧宇川中学校施設光熱水費利用負担金	366千円			
			諸収入	旧大宮第三小学校施設光熱水費利用負担金	178千円			
			諸収入	市有建物損害共済金	27千円			
	<体育施設の維持管理経費>			<利用状況>				
	○需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料）	28,915千円	紅葉ヶ丘運動場（テニスコート）	367 件				
	○役務費（通信運搬費、し尿汲取手数料、火災保険料等）	1,763千円	大宮自然運動公園（グラウンド、テニスコート）	468 件				
	○委託料（運動公園管理、社会体育館管理、浄化槽維持管理等）	15,518千円	大宮社会体育館	919 件				
	○使用料及び賃借料（土地借上、仮設トイレ借上、AED賃借料）	679千円	網野グラウンド（グラウンド、屋内ゲートボール場）	499 件				
	○工事請負費（19件）	11,359千円	網野体育センター（体育室、柔・剣道室、テニスコート）	1,193 件				
○備品購入費（卓列り機1台）	49千円	丹後社会体育館	468 件					
<主な工事>			弥栄総合運動公園（体育館、グラウンド、屋根付ゲートボール場など）	1,540 件				
・五箇体育館キュービクル改修工事	594千円	久美浜中央運動公園（グラウンド、テニスコート、屋根付ゲートボール場）	1,031 件					
・大宮自然運動公園園路石材改修工事	864千円	その他体育施設（30施設）	4,058 件					
・大宮自然運動公園もくせい館屋根改修工事	1,253千円	合計（47施設）	10,543 件					
・網野体育センターバスケットゴール修繕工事	422千円							
・豊栄山村広場グラウンド復旧工事	4,690千円							
・黒部体育館前防犯照明設置工事	83千円							
・弥栄総合運動公園屋内ゲートボール場シート張替工事	660千円							
・久美浜中央運動公園屋内ゲートボール場ビニール戸取替工事	311千円							
・久美浜中央運動公園屋内ゲートボール場コバヤシ修繕工事	437千円							
・佐濃グラウンド・体育館キュービクル改修工事	1,134千円							
成果・課題			○施設の適切な維持管理を行うことで、市民スポーツ活動の普及・発展に寄与した。 ○平成29年の台風災害により利用停止となっていた豊栄山村広場グラウンドの復旧が完了し、利用を再開する環境が整った。 ○スポーツ活動拠点の効率的・効果的な管理運営を図るため、公共施設見直し計画等に基づき、管理形態の見直し等について検討していく必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	05 保健体育費	3,296千円	3,301千円	5千円	99.8%						
	目	03 体育施設費				課	生涯学習課					
	事	02 社会体育用学校開放施設管理運営事業										
細事	01 社会体育用学校開放施設管理運営事業											
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料	小学校施設使用料	1,046千円						
目的	地域住民にとって身近で利用しやすい学校体育施設を開放及び維持管理することにより、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって生活文化の向上に資する。			使用料	中学校施設使用料	650千円						
主要な事務・事業の概要	<利用状況>		○修繕料						1,415千円			
	小学校	体育館	施設数	4	2	4	2	2	3	17	・大宮中学校グラウンドナイター水銀灯修繕	63千円
			利用件数	1,563	653	1,203	301	281	786	4,787	・橋小学校グラウンドナイター器具修繕	227千円
	グラウンド	格技場	施設数	4	2	4	2	2	3	17	・弥栄小学校ナイター設備水銀球交換	398千円
			利用件数	617	200	521	218	301	142	1,999	・弥栄小学校グラウンド得点ボード修繕 ほか	727千円
	中学校	体育館	施設数	2	1	1	1	1	1	7	○工事請負費	1,761千円
			利用件数	583	277	171	50	257	119	1,457	・丹後小学校屋外運動場照明取替工事及び配線改修工事	
	グラウンド	格技場	施設数	1	1	1	2	1	1	7	○備品購入費（大宮南小学校体育館バレーボール支柱1組）	120千円
			利用件数	29	214	131	58	247	79	758		
	合計		施設数	54	利用件数	9,936	成果・課題			○社会体育用に開放する学校施設について、計画的な維持修繕に努め、地域住民のスポーツ・レクリエーション活動の場を提供することにより、市民が楽しみ共につくるスポーツのまちの推進に寄与した。 ○今後も市民にとって身近で利用しやすい施設として運営に努めていく必要がある。		



予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	9,152千円	9,153千円	1千円	99.9%		
	目	03 体育施設費				(参考)当初予算額		
	事	03 スポーツ施設整備基金				15,361千円		
細事	01 スポーツ施設整備基金	主な財源	府補	広域的スポーツ施設充実支援事業補助金(1/3)			9,152千円	
基本計画	29 効率的・効果的な行財政運営							
目的	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場のリニューアル事業の推進にあたり、京都府の補助金をスポーツ施設整備基金に積み立てるもの。							
主要な事務・事業の概要	○スポーツ施設整備基金積立金		9,152千円					
	(参考)基金の状況		単位:(千円)					
	平成30年度末 現在高	令和元年度中増減額			令和元年度末 現在高			
①	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	①-②+(③+④)				
560	0	0	9,152	9,712				
				成果・課題				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	10,160千円	10,227千円	67千円	99.3%		
	目	02 保健体育事業費				(参考)当初予算額		
	事	01 スポーツのまちづくり推進事業				10,227千円		
細事	02 スポーツイベント推進事業	主な財源	府補	きょうと地域連携交付金(スポーツイベント推進事業)			4,700千円	
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進							
目的	観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。							
主要な事務・事業の概要	<大会の実施状況等>							
	大会名	開催日	会場	参加者等	大会関係予算(委託料・負担金・補助金)執行内容			
	NISSIN Rally 2019	5/18, 19(土・日)	京丹後市内ほか	51台、102人	-			
	京丹後市ドラゴンカー選手権大会	8/4(日)	久美浜湾	84チーム、1,008人	実行委員会への補助金	1,800千円		
	丹後半島ラリー-2019	8/24, 25(土・日)	京丹後市内ほか	75台、150人	-			
	丹後100kmウルトラマラソン	9/15(日)	京丹後市内	3,105人	実行委員会への補助金	2,678千円		
					バス運転委託料	822千円		
	あみの八丁浜ロードレース大会	10/20(日)	網野町八丁浜周辺	500人	市体育協会への補助金	1,050千円		
	丹後大学駅伝(関西学生対校駅伝競走大会)	11/16(土)	京丹後市内ほか	22チーム、440人	後援会への負担金	900千円		
	久美浜湾一周駅伝競走大会	11/23(土・祝)	久美浜湾周辺	64チーム、384人	大会運営委託料	1,442千円		
合計				5,689人	8,692千円			
○委託料(大会運営委託料等)		2,264千円		成果・課題	○各種スポーツイベントの開催・支援により、出場者(全体で5,689人)のほか、応援者、関係者等含め約15,600人が参加し、地域における経済効果及び市の魅力発信につながった。 ○カーコース整備及びライフジャケットの購入を行い、カー大会の円滑かつ安心安全な運営に備えた。			
○負担金(丹後大学駅伝後援会への負担金)		900千円						
○補助金(実行委員会への補助金等)		5,528千円						
○久美浜湾カー競走場カーコース巻き取りドラム取付工事		715千円						
○ライフジャケット購入(100着)		626千円						
○その他経費(職員出張旅費、消耗品費、有料道路通行料)		127千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	5,462千円	170,914千円	165,452千円	3.1%		
	目	02 保健体育事業費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事	02 国際ｽﾍﾞｯｸﾞｽﾞﾝ推進事業				1,844千円		
	細事	01 オリﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸｽﾍﾟｼﾞｱﾙ推進事業						
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進					主な財源	府補 市債	きょうと地域連携交付金（オリﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸｽﾍﾟｼﾞｱﾙ推進事業） 社会体育施設整備事業債（合併特別債）
目的	東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業の実施により、スポーツツーリズムの推進、インバウンドの増加及びスポーツによる地域活性化を図る。							
主要な事務・事業の概要	〔（仮称）久美浜カヌーセンター整備〕		4,664千円	【外国語セミナー開催事業】				486千円
	○旅費、需用費、使用料及び賃借料（有料道路通行料）		17千円	○委託料（外国語セミナー開催、宿泊施設外国人受入セミナー開催）				
	○役務費（建築確認審査手数料）		150千円	【その他経費】				47千円
	○委託料（カヌーセンター改修工事実施設計業務）		4,497千円	○旅費（オリパラ関連意見交換会等）、有料道路通行料				
【ホストタウン推進事業】		176千円						
スペイン代表チームの視察受入れ（令和2年2月、代表コーチ1人）を行った。								
○旅費、需用費（消耗品費）		99千円						
○委託料（交流事業）、使用料及び賃借料（宿泊施設使用料等）		77千円						
【スポーツのバリアフリー講習会】		89千円						
○報償費（講師謝金）、需用費（食糧費）		62千円						
○委託料（会場設営）		27千円						
○概要日時：令和2年2月8日（土）13:30～15:00								
場所：アグリセンター大宮								
演題：「パラスポーツの魅力と可能性-共生社会の実現に向け-」								
講師：高橋 明 氏（大阪体育大学客員教授）								
参加者：54人								
			参考		繰越明許費を除いた最終予算額	5,962千円		
					実質的な予算執行率	91.6%		
			■令和2年度への繰越事業		164,952千円			
			（仮称）カヌーセンター整備事業		令和3年3月完了予定			
			・（仮称）久美浜カヌーセンター改修工事、監理業務委託等					
			成果・課題		○ホストタウン推進事業や、事前合宿地の誘致活動などを通して、スポーツを通じた交流を促進し、本市のスポーツ・観光情報を発信することができた。 ○スペイン及びポルトガルカヌーチームの当市でのオリンピック事前合宿が決定した。 ○バリアフリー講習会では、障害者スポーツ、共生社会の実現についての理解を深めるとともに、市民がスポーツに親しむ環境づくりのための契機となった。 ○継続的な事業の実施により、スポーツを通じたまちづくりを推進する必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	15,229千円	30,280千円	15,051千円	50.2%		
	目	02 保健体育事業費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事	02 国際ｽﾍﾞｯｸﾞｽﾞﾝ推進事業				30,280千円		
	細事	01 オリﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸｽﾍﾟｼﾞｱﾙ推進事業（繰越）						
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進					主な財源		
目的	東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業の実施により、スポーツツーリズムの推進、インバウンドの増加及びスポーツによる地域活性化を図る。							
主要な事務・事業の概要	【久美浜カヌー競技場1,000mコース整備】		13,145千円					
	○委託料（1,000mコース設計・設営準備業務）		2,695千円					
	○備品購入費（1,000mコース用資材購入）		10,450千円					
	コースワイヤー、フイ、アンカーセット、距離表示フイ、スリット板等（9レーン分）							
〔（仮称）久美浜カヌーセンター整備〕		2,084千円						
○委託料（カヌー艇庫整備基本設計業務）								
			成果・課題		オリンピック事前合宿やワールドマスターズゲームズ2021関西を控え、久美浜カヌー競技場の機能整備を推進した。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	7,161千円	7,220千円	59千円	(参考)当初予算額	99.1%					
	目	02 保健体育事業費					6,156千円					
	事	02 国際ｽﾎﾟｰﾂｲﾝﾀﾞｰ推進事業										
細事	02 ワールドマスターズゲームズ関西推進事業	府補	きょうと地域連携交付金(ワールドマスターズゲームズ開催推進事業)					2,000千円				
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源										
目的	ワールドマスターズゲームズ2021関西(WMG)の取組を通じて、本市の滞在型スポーツ観光の推進、障害者スポーツの基盤づくり及び地域の活性化を図る。											
主要な事務・事業の概要	<p>WMG大会競技運営に必要な備品を整備するとともに、プレ大会の開催、大会実施計画案の策定など、WMGの開催に向け、着実な準備を進めた。</p> <p>【久美浜湾カヌー競技場審判艇(カタマラン)設置】 4,096千円</p> <p>○備品購入費(カタマラン1艇、保管用備品) 4,026千円</p> <p>○消耗品費 70千円</p> <p>【WMG京丹后市実行委員会補助金】 2,507千円</p> <p>○WMG京丹后市実行委員会運営補助金 1,793千円</p> <p>京丹后市実施計画策定支援業務、臨時職員賃金、実行委員会委員旅費等</p> <p>OSUP全国大会(WMGプレ大会)開催補助金 714千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：7月21日(日)</li> <li>・参加者数：69人</li> <li>・会場：久美浜湾カヌー競技場</li> </ul>		<p>【WMG啓発事業】 119千円</p> <p>○印刷製本費、委託料(リーフレット20,800部作成) 100千円</p> <p>○普通旅費、有料道路通行料、駐車場使用料、関税(啓発イベントほか) 19千円</p> <p>【その他経費】 439千円</p> <p>○WMG京都府実行委員会負担金 200千円</p> <p>○旅費(組織委員会会議等)、有料道路通行料、駐車場使用料 239千円</p>									
	成果・課題			<p>OSUP全国大会(WMGプレ大会)の開催により、競技運営に必要な運営体制等について確認することができた。</p> <p>○WMGの取組を契機に、新たなカヌー全国大会(令和2年度より全日本カヌーマラソン選手権大会)を誘致することができた。</p> <p>○WMG大会の運営基盤体制の確立のため、本市実行委員会を設立し、大会実施計画案の策定を行った。</p> <p>○WMG大会開催を契機に継続的な大会誘致につなげ、スポーツを通じたまちづくりを進める必要がある。</p>								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	955千円	983千円	28千円	(参考)当初予算額	97.1%					
	目	02 保健体育事業費					0千円					
	事	02 国際ｽﾎﾟｰﾂｲﾝﾀﾞｰ推進事業										
細事	03 オリピック聖火リレー事業	府補	東京2020オリピック聖火リレー開催補助金(1/2)					423千円				
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源										
目的	東京2020オリンピック聖火リレーを実施することにより、大会の機運醸成、ホストタウン事業等の成功に資するとともに、スポーツ振興、地域活性化などスポーツによるまちづくりを推進する。											
主要な事務・事業の概要	<p>本市内での実施が決定した東京2020オリンピック聖火リレーの適切かつ安全安心な実施に向け、警備・運営計画を策定するなど、必要な準備を進めた。</p> <p>○需用費(消耗品費) 108千円</p> <p>広報用のぼりポール300本等</p> <p>○委託料 847千円</p> <p>京丹后市警備・運営計画策定支援業務</p> <p>【京丹后市内での聖火リレー実施予定内容】</p> <p>コース：浅茂川漁港(スタート)～八丁浜小浜キャンプ場付近(ゴール)</p> <p>走行距離：約2.2km</p> <p>※令和2年5月26日(火)に開催予定だったが、東京2020オリンピック・パラリンピックの延期に伴い、聖火リレーも延期となった(開催時期未定)。</p>		<p>東京2020オリピック聖火リレー開催補助金(1/2) 423千円</p>									
	成果・課題			<p>○警備・運営計画を策定するなど、聖火リレーの実施に向けた必要な準備を進めることができた。</p> <p>○今後、関係機関との情報共有と連絡調整に努め、新たに示される実施内容等に基づき、計画の見直しなど必要な準備を進める必要がある。</p>								